

XPERIA XZ

User Guide 取扱説明書 詳細版 Android 7.0 対応版



ごあいさつ

このたびは、「Xperia™ XZ」(以下、「本製品」または「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

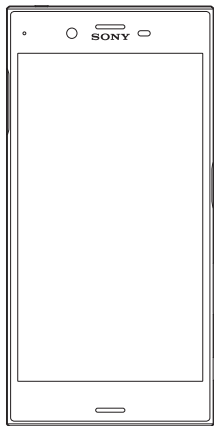
『取扱説明書(詳細版)Android 7.0 対応版』(本書)は、Android 7.0へのメジャーアップデート(OS更新)後の内容について記載しています。メジャーアップデート(OS更新)をされていない場合、本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』『Xperia™ XZのご利用にあたっての注意事項』およびauホームページに掲載の『取扱説明書(詳細版)』をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- Xperia™ XZ



- ソニーモバイルTVアンテナケーブル02(02SOHSA)



- 取扱説明書(Android 7.0 非対応版)
- Xperia™ XZのご利用にあたっての注意事項(Android 7.0 非対応版)
- 設定ガイド(Android 7.0 非対応版)

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- 卓上ホルダ
- USB Type-C™ ケーブル

memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』

本製品に付属する『設定ガイド』／『取扱説明書』では、メジャーアップデート(OS更新)前の主な機能の主な操作のみ説明しています。

Android 7.0へのメジャーアップデート(OS更新)後のさまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリやauホームページより『取扱説明書(詳細版)Android 7.0 対応版』(本書)および『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

■『取扱説明書』アプリ

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリを利用できます。

また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面で[☰]→[お客さまサポート]→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードして、インストールする必要があります。詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。
- Android 7.0へのメジャーアップデート(OS更新)後、Google Playからアプリをアップデートしてください。

■『取扱説明書(詳細版)』

Android 7.0へのメジャーアップデート(OS更新)後のさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書(詳細版)Android 7.0 対応版』(本書)は、auホームページでご確認できます。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website.

『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています。

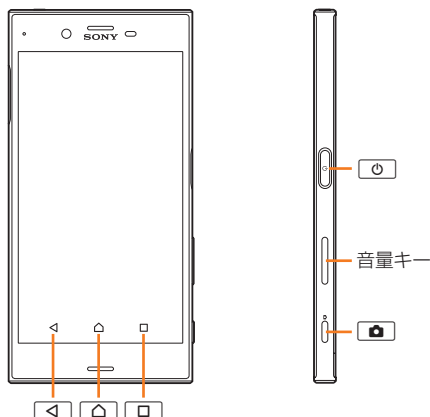
Download URL:

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー(キーアイコン)表示について

本書では、キー(キーアイコン)の図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどをタップ(▶P.24)する操作を、[(項目などの名称)]と省略して表記しています。
また、本書では縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
本書でのその他の操作については、「よく使う操作」(▶P.31)をご参照ください。
本書では、操作手順を次のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で [ホーム] → [設定] → [1] [4] [1] → [設定]	ホーム画面下部の [ホーム] をタップし、表示される画面で [設定] をタップします。続けて 1、4、1 をタップして、最後に [設定] をタップします。
ホーム画面で [設定] → [設定]	ホーム画面下部の [設定] をタップし、表示される画面で [設定] をタップします。
履歴画面 → 削除する履歴の [X]	履歴画面で削除する履歴の X をタップします。
画面表示中に [ホーム]	画面表示中に [ホーム] を押します。
テレビ視聴画面 → [戻る]	テレビ視聴画面で [戻る] をタップします。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書では、au Nano IC Card O4 を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
本書に記載されているイラスト・画面は、実際のイラスト・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- 本書では、本体カラー「Platinum」の表示を例に説明しています。
- 本書では、「microSD™ メモリカード(市販品)」「microSDHC™ メモリカード(市販品)」「microSDXC™ メモリカード(市販品)」の名称を「microSD メモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - ・故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。
「トラブル診断」を利用するには、ホーム画面で [設定] → [お客さまサポート] → [故障受付] → [トラブル診断] と操作します。
または、次のauホームページのauお客さまサポート「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/trouble/>
 - ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、LTE/WiMAX 2+/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
 - ・日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
 - ・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
 - ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
 - ・海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
 - ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品に登録された連絡先のデータやアルバムなどの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
 - ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・撮影などした静止画や動画のデータ、音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

■ お知らせ

- ・「取扱説明書」の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・「取扱説明書」の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ・「取扱説明書」の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
取扱説明書について	ii
本書の表記方法について	1
本製品のご利用について	1
目次	2
注意事項	7
安全上のご注意（必ずお守りください）	8
材質一覧	10
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
ご使用にあたっての注意事項	12
水に濡れたときの水抜きについて	13
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について	14
2.4GHz帯ご使用上の注意	14
5GHz帯ご使用上の注意	14
各種暗証番号／PINコードについて	14
PINコードについて	14
データ通信料についてのご注意	14
アプリケーションについて	15
マナーも携帯する	15
ご利用の準備	17
各部の名称と機能	18
au Nano IC Card O4について	19
au Nano IC Card O4を取り付ける／取り外す	19
au Nano IC Card O4を取り付ける	19
au Nano IC Card O4を取り外す	19
充電する	20
ACアダプタを使って充電する	20
電池の寿命を延ばすには（いたわり充電）	20
電源を入れる／切る	20
電源を入れる	20
電源を切る	20
再起動する	20
画面ロックを設定する	20
画面ロックを解除する	20
初期設定を行う	21
Googleアカウントをセットアップする	21
au IDの設定をする	21
基本操作	23
タッチパネルとキーアイコンの操作	24
タッチパネルの使いかた	24
キーアイコンの基本操作	24
ホーム画面とアプリ画面	24
ホーム画面を利用する	24
ホーム画面のメニューを利用する	25
ホーム画面のアイコンを移動する	25
ウィジェットを利用する	25
ショートカットを利用する	25
フォルダを利用する	25
シンプルホームに切り替える	26
短縮機能を利用する	26
シンプル設定を利用する	26
マイアプリにアプリを登録する	26
シンプルホーム画面のアプリを変更する	26
標準のホーム画面に切り替える	27
アプリ画面を利用する	27
アプリ画面を表示する	27
アプリを並べ替える	28
アプリをアンインストールする	28
フォルダを利用する	28
最近使用したアプリを表示する	28
本製品の状態を知る	29
アイコンの見かた	29
通知パネルについて	29
クイック設定パネルについて	30
通知LEDについて	30
本製品内やウェブサイトを検索する	30
音声で入力して検索する	30

検索の設定を行う	30
アプリの権限を設定する	30
よく使う操作	31
縦／横画面表示を自動で切り替える	31
マナーモードを設定する	31
マナーモード（バイブレーション）を設定する	31
マナーモード（ミュート）を設定する	31
メニューを表示する	31
設定を切り替える	31
データを複数選択する	31
表示されている画像を撮る	31
利用するアプリを選択する	31
分割画面を利用する	32
緊急省電力モードを利用する	32
指紋認証機能を利用する	32
指紋認証利用時のご注意	32
指紋センサー利用時のご注意	32
指紋を登録する	32
指紋認証を行う	32
文字入力	33
文字を入力する	33
POBox Plus 日本語入力 使い方ガイドを見る	33
キーボードを選択する	33
ソフトウェアキーボードについて	33
ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更	33
文字入力のしかた	33
フリック入力について	34
トグル入力について	34
テキストを編集する	34
連絡先を引用する	34
ユーザー辞書に登録する	34
文字入力の設定をする	34

電話 35

電話をかける	36
ポーズ（.）（:）を入力する	36
履歴を利用して電話をかける	36
ボイスパーティーで電話をかける	36
au電話から海外へかける（au国際電話サービス）	37
電話を受ける	37
かかってきた電話に出る	37
着信に伝言メモで応答する	37
着信を拒否する	37
着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する	38
通話履歴の電話番号を着信拒否に設定する	38
シンクコールについて	38
通話中に利用できる操作	38
シンクコールを設定する	38
伝言メモを利用する	38
ステータスバーから伝言メモを確認する	38
自分の電話番号を確認する	38

メール 39

メールについて	40
Eメールを利用する	40
Eメールの表示モードを切り替える	40
フォルダモードでの画面の見かた	40
会話モードでの画面の見かた	41
Eメールを送信する	42
宛先を追加・削除する	42
送信予約をする	42
Eメールにデータを添付する	42
D絵文字を利用する	42
コミコミを利用する	43
本文入力中にできること	43
フォルダモードで本文を装飾する	43
Eメールを受信する	43
添付データを受信・再生する	43
添付画像を保存する	44
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する	44
新着メールを問い合わせして受信する	44
Eメールを検索する	44
Eメールをフォルダモードで確認する	44
Eメール一覧画面でできること	45
Eメールを個別に操作する	45
Eメール詳細表示画面でできること	46

フォルダー一覧画面でできること	46	カメラをご利用になる前に	62
フォルダを作成／編集する	46	カメラを起動する	62
Eメールを会話モードで確認する	47	撮影画面の見かた	62
スレッド一覧画面でできること	47	カメラの設定をする	62
スレッド内容表示画面でできること	47	撮影モードを変更する	62
Eメールを個別に操作する	47	カメラアプリを利用する	63
Eメールを設定する	48	設定を変更する	63
表示に関する設定をする	48	静止画を撮影する	64
送信・作成に関する設定をする	49	動画を録画する	65
通知に関する設定をする	49	クイック起動の設定を変更する	65
個別の通知に関する設定をする	49	QR・バーコードリーダーを利用する	65
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする	50	アルバムを利用する	65
バックアップしたEメールを復元する	50	画像／動画を表示する	65
メールデータを復元する	50	画像／動画を共有する	65
まるごとバックアップデータを復元する	50	画像を再生する	65
迷惑メールフィルターを設定する	51	スライドショーを開始する	66
SMSを利用する	52	画像をトリミングする	66
SMSを送信する	52	画像を登録する	66
SMSを受信する	52	動画を再生する	66
SMSを返信／転送する	52	ミュージックを利用する	66
電話番号／メールアドレス／URLを利用する	52	楽曲データを再生する	66
SMSを保護／保護解除する	52	楽曲再生画面のメニューを利用する	66
SMSの電話番号を連絡先に登録する	52	楽曲を共有する	66
SMSを検索する	52	楽曲を着信音として使用する	66
SMSを削除する	52	プレイリストを再生する	66
SMSを設定する	53	テレビ	67
受信フィルターを設定する	53	テレビをご利用になる前に	67
PCメールを利用する	53	テレビの初期設定をする	67
PCメールのアカウントを設定する	53	テレビを見る	67
アカウントの設定を変更する	53	テレビを終了する	68
PCメールを送信する	54	データ放送を見る	68
PCメールを受信する	54	テレビの設定をする	68
PCメールを返信／転送する	54	テレビの操作メニューを利用する	68
PCメールを削除する	54	放送エリアを登録・変更する	68
Gmailを利用する	54	リモコン番号を変更する	68
Gmailを起動する	54	視聴中のテレビ番組を録画する	68
Gmailを送信する	54	録画したテレビ番組を再生する	68
Gmailを受信する	54	番組表を利用する	68
Gmailを返信／転送する	54	おサイフケータイ	69
インターネット	55	おサイフケータイとは	69
インターネットに接続する	56	おサイフケータイのご利用にあたって	69
データ通信を利用する	56	リーダー／ライターとデータをやりとりする	69
Chromeを利用する	56	おサイフケータイを設定する	69
ウェブページを表示する	56	おサイフケータイの機能をロックする	69
タブを利用する	56	Reader/Writer, P2P機能をオンにする	69
ウェブページ内のテキストを検索する	56	Android Beamでデータを送信／受信する	70
ウェブページ内のテキストをコピーする	57	NFCメニューを利用する	70
ウェブページ内の画像をダウンロードする	57	FeliCaに対応したサービスを利用する	70
リンクを操作する	57	時計を利用する	70
ブックマーク／履歴を利用する	57	アラームを設定する	70
ブックマークを開く	57	auサービスTOPを利用する	71
ブックマークに登録する	57	auスマートパスを利用する	71
履歴を確認する	57	安心アクセス for Android™を利用する	71
履歴を削除する	57	管理者情報を登録する	72
Chromeを設定する	57	管理者ページを利用する	72
ツール・アプリケーション	59	auお客さまサポートアプリを利用する	72
連絡先	60	auスマートサポートを利用する	72
連絡先を登録する	60	auスマートサポートでできること	72
登録した連絡先を修正する	60	Lookout for auを利用する	72
連絡先を利用する	60	位置検索をご利用いただくにあたって	72
連絡先から電話をかける	60	Lookout for auを設定する	72
連絡先からメールを送る	60	リモートサポートを利用する	73
連絡先を送信する	60	故障受付を利用する	73
連絡先の着信音を設定する	60	au Wi-Fi接続ツールを利用する	73
連絡先の画像を設定する	60	Androidアプリ	73
連絡先をリンクする	60	Google Playを利用する	73
連絡先をお気に入りに登録する	61	Google Playをご利用になる前に	73
連絡先を削除する	61	アプリを検索してインストールする	73
連絡先の表示を設定する	61	提供元不明のアプリをダウンロードする	73
連絡先の表示条件を変更する	61	アプリを管理する	74
連絡先をエクスポート／インポートする	61	アプリを強制終了する	74
エクスポートする	61	アプリをアンインストールする	74
インポートする	61	アプリを無効化する	74
カメラ	62	ファイル管理	75
		内部ストレージ	76

microSDメモ리카ードを利用する	76
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	76
microSDメモ리카ードを取り付ける	76
microSDメモ리카ードを取り外す	77
パソコンとデータのやりとりをする	77
USB Type-Cケーブルでパソコンと接続する	77
USB Type-Cケーブルを安全に取り外す	77
ファイルをコピーする	78
microSDメモ리카ードにコピーする	78
microSDメモ리카ードからコピーする	78
Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する	78
メディアサーバーを設定する	78
メモリを管理する	78
メモリの使用量を確認する	78
メモリをフォーマットする	78
データ通信	79
Bluetooth®機能	80
Bluetooth®機能使用時のご注意	80
無線LAN (Wi-Fi®) 機能との電波干渉について	80
Bluetooth®機能をオンにする	80
Bluetooth®機器を登録する	80
Bluetooth®機器と接続する	80
Bluetooth®機器の接続を解除する	80
Bluetooth®でデータを送受信する	80
Bluetooth®でデータを受信する	80
Bluetooth®でデータを送信する	80
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	81
無線LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにする	81
Wi-Fi®ネットワークに接続する	81
Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する	81
Wi-Fi®ネットワークを切断する	81
テザリング機能を利用する	81
テザリングについて	81
USBテザリング機能をオンにする	81
Wi-Fi®テザリング機能をオンにする	81
Wi-Fi®テザリングの設定を変更する	82
Bluetooth®テザリング機能をオンにする	82
機能設定	83
設定メニューを表示する	84
設定メニューを起動する	84
auの各サービスの設定をする	84
無線とネットワークの設定をする	85
データ使用に関する設定をする	85
機内モードをオンにする	85
VPNを利用する	85
テーマを設定する	85
画面の設定をする	86
ホワイトバランスを調整する	86
通知の設定をする	86
アプリの通知を設定する	86
通知の設定を変更する	86
音の設定をする	86
各種音量を調節する	86
アプリの設定をする	87
ホームアプリを切り替える	87
ストレージとメモリに関する設定をする	87
ストレージの使用状況を表示する	87
メモリの使用状況を確認する	87
バッテリーに関する設定をする	87
ロック画面とセキュリティの設定をする	88
画面ロックの解除方法を設定する	88
SIMカードロックを設定する	88
通話に関する設定をする	89
位置情報の設定をする	89
アカウントと同期の設定をする	89
自動で同期する	89
手動で同期する	89
同期を中止する	89
アカウントを追加する	89
アカウントを削除する	89
バックアップとリセットの設定をする	90
本製品をリセットする	90
Xperia™の紹介とヒントを確認する	90
日付と時刻の設定をする	90

言語と入力に関する設定をする	90
言語の表示を切り替える	90
ユーザー補助の設定をする	91
端末情報に関する設定をする	91

auのネットワークサービス・海外利用.....93

auのネットワークサービスを利用する	94
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）	94
着信お知らせサービスについて	94
着信転送サービスを利用する（標準サービス）	94
応答できない電話を転送する（無応答転送）	94
通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）	94
応答できない電話を転送する（圏外転送）	94
かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）	94
着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）	94
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）	95
電話番号を通知する	95
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）	95
番号通知リクエストサービスを開始する	95
番号通知リクエストサービスを停止する	95
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）	95
お留守番サービスEXについて	95
お留守番サービス総合案内（141）を利用する	95
応答できない電話を転送する（無応答転送）	95
通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）	95
応答できない電話を転送する（圏外転送）	96
かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）	96
電話をかけてきた方が伝言を録音する	96
ボイスメールを録音する	96
伝言お知らせについて	96
伝言・ボイスメールを聞く	96
応答メッセージの録音／確認／変更をする	96
伝言の蓄積を停止する（不在通知）	97
伝言の蓄積停止を解除する	97
お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）	97
英語ガイダンスへ切り替える	97
日本語ガイダンスへ切り替える	97
三者通話サービスを利用する（オプションサービス）	97
割込通話サービスを利用する（オプションサービス）	97
割込通話サービスを開始する	97
割込通話サービスを停止する	98
割込通話を受ける	98
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）	98
撃退する電話番号を登録する	98
登録した電話番号を全件削除する	98
通話明細計サービスを利用する（オプションサービス）	98
海外利用	99
au世界サービスについて	99
海外でご利用になるときは	99
海外利用に関する設定を行う	99
データ通信を利用する	99
海外でVoLTEを利用する	99
データサービス・メッセージサービスの通信料	99
渡航先で電話をかける	99
渡航先で電話を受ける	100
お問い合わせ方法	100
海外からのお問い合わせ	100
サービスエリアと海外での通話料	100
海外で安心してご利用いただくために	100
海外でのご利用上のご注意	101

付録・索引.....103

付録	104
ソフトウェアを更新する	104
ソフトウェアをダウンロードして更新する	104
最新のソフトウェアを自動ダウンロードする	104
パソコンに接続して更新する	104
故障とお考えになる前に	104
アフターサービスについて	105
SIMロック解除	106
周辺機器	106
主な仕様	107
携帯電話機の比吸収率（SAR）について	107
名前から引く索引	108
目的から引く索引	111

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR)	
Information	112
Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)	
.....	112
Guidelines for Safe and Efficient Use.....	112
FCC Statement for the USA.....	114
Declaration of Conformity for SOV34	114
VCCIについて	114
エンドユーザーライセンス契約	114
輸出管理規制	114
おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意	114
知的財産権について	115

注意事項

安全上のご注意(必ずお守りください)	8
材質一覧	10
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	14
各種暗証番号／PINコードについて	14
データ通信料についてのご注意	14
アプリケーションについて	15
マナーも携帯する	15

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う可能性が想定される内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} 」を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される内容です。

※1 重傷：失明・けが、やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、ソニーモバイルTVアンテナケーブル02、周辺機器共通

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水／防塵性能については、「防水／防塵性能に関するご注意」(▶P.12)をご参照ください。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については、「防水／防塵性能に関するご注意」(▶P.12)をご参照ください。
- 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については、「防水／防塵性能に関するご注意」(▶P.12)をご参照ください。
- 充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については、「防水／防塵性能に関するご注意」(▶P.12)をご参照ください。
- オプション品は、auが指定したものを使用してください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用中や充電中に、布団などでおったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ガンリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。ガンリンスタンド構内などおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除したうえで電源をお切りください。)

- 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
 - ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - ・本製品の電源を切る。上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプ・レータ設定中は特にご注意ください。落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。防水／防塵性能については、「防水／防塵性能に関するご注意」(▶P.12)をご参照ください。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や充電用機器の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。
- ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
- 自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
- 点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。
- 本製品のmicroSDメモリーカード／au Nano IC Card 04挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、microSDメモリーカードやau Nano IC Card 04の挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合、適度なボリュームに調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
- 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認のうえご使用ください。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

- ❗ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ❗ ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❗ 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ❗ ベットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
- ❗ ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❗ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- ❗ 内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❗ 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認のうえご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- ❗ 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.10)をご参照ください。
- ❗ 本製品の受話口／スピーカー部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。
- ❗ ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ ソニーモバイルTVアンテナケーブル02について

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ ソニーモバイルTVアンテナケーブル02の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.10)をご参照ください。

■ 充電用機器について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ 指定の充電用機器(別売)のケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 指定の充電用機器(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 共通DCアダプタ03(別売)はマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。
- ❗ コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 指定の充電用機器(別売)のケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

- ❗ 指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- ❗ 本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❗ 本製品または充電用機器(別売)が濡れている状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
本製品は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本製品やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱・焼損・火災・やけど・故障の原因となります。
- ❗ 濡れた手で指定の充電用機器(別売)のケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタ(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用する火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ(別売):AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ(別売):AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)
- ❗ 共通DCアダプタ03(別売)のヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

- ❗ 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 本製品に充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❗ 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❗ 使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❗ 水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au Nano IC Card 04について

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ au Nano IC Card 04を取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- ❗ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ❗ 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ❗ 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ❗ 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース(フレーム)	ナイロン樹脂(ガラス入り)	塗装処理
外装ケース(ヘッドセット接続端子)	ナイロン樹脂(ガラス入り)	—
外装ケース(裏面)、音量キー、カメラキー	アルミニウム合金	アルマイト
外装ケース(裏面下部、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口のカバー)	ポリカーボネート樹脂	塗装処理
外装パネル(上面、下面)	PET樹脂	UVモールド処理
透明板(ディスプレイ、カメラレンズ)	強化ガラス	耐指紋コート
透明板(フラッシュ／フライトライト、レーザーAFセンサー、RGB-IRセンサー)	ポリカーボネート樹脂＋アクリル樹脂複合材	ハードコート＋印刷
電源キー	IC＋エポキシ樹脂	塗装処理＋印刷
受話口／スピーカー、スピーカー	PET樹脂	塗装処理
カメラリング(裏面)	ステンレス	PVD処理
マークシール	PET樹脂	—
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口の防水パッキン	シリコンゴム	—
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4のトレイ	ポリアセタール	—

■ ソニーモバイルTVアンテナケーブル02

使用箇所	使用材料	表面処理
接続プラグ(金属部分)	黄銅	金メッキ
接続プラグ(ボディー)、ケーブル、ヘッドセット接続端子(ボディー)	エラストマー樹脂	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card O4、ソニーモバイルTVアンテナケーブル02、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかけられないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口のカバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままmicroSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口のカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、周囲温度36℃～40℃、湿度86%～90%であれば一時的な使用は可能です。)
 - ・ Xperia™ XZ本体
 - ・ au Nano IC Card O4(Xperia™ XZ本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中やテレビ視聴中または充電中など、ご使用状況によっては本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。

- 充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。

- カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。故障の原因となります。

- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。

- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

- ソニーモバイルTVアンテナケーブル02などを持って、本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明など、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「技術マーク(㊿)」が本製品本体内で確認できるようになっております。確認方法：ホーム画面で[☺]→[設定]→[端末情報]→[認証]。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴がつくことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 近接／照度センサーを指でふさいだり、近接／照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に近接／照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 近接／照度センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常にかえ、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。

- 通常はmicroSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口のカバーを閉めた状態で使用してください。カバーを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

- ヘッドセット接続端子、USB Type-C接続端子、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card O4挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー、送話口(マイク)、スピーカー、セカンドマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ ディスプレイ(タッチパネル)について

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づくと、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。



- 夏期、閉めきった自動車(車内)に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合がありますため、使用前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて影れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)のケーブルをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器(別売)のプラグやコネクタとケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04にシールなどを貼り付けしないでください。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などををするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

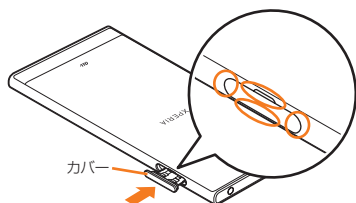
防水／防塵性能に関するご注意

本製品は、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5相当^{*1}、IPX8相当^{*2}の防水性能およびIP6X相当^{*3}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

^{*1} IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
^{*2} IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
^{*3} IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーをしっかり閉じた状態にしてください。完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのmicroSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー、送話口(マイク)、スピーカー、セカンドマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口／スピーカー、送話口(マイク)、スピーカー、セカンドマイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーについて**
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーの閉じかた**
矢印の方向へトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認してください。



- 水以外が付着した場合**
万一、水以外(海水・洗剤・アルコール・ジュースなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
やや弱め的水流(6リットル／分未満)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
汚れた場合、ブラシなどは使用せず、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

■ 水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ ゴムパッキンについて

microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバー周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。

防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 耐熱性について

熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■ 衝撃について

本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口／スピーカー、送話口(マイク)、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、USB Type-C接続端子などをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず次の部分の水抜きをしてください。

- ・受話口／スピーカー
- ・送話口(マイク)
- ・スピーカー
- ・セカンドマイク
- ・ヘッドセット接続端子
- ・USB Type-C接続端子
- ・電源キー／画面ロックキー／指紋センサー
- ・音量キー／ズームキー
- ・カメラキー
- ・microSDメモリカード／au Nano IC Card 04挿入口のカバー

そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

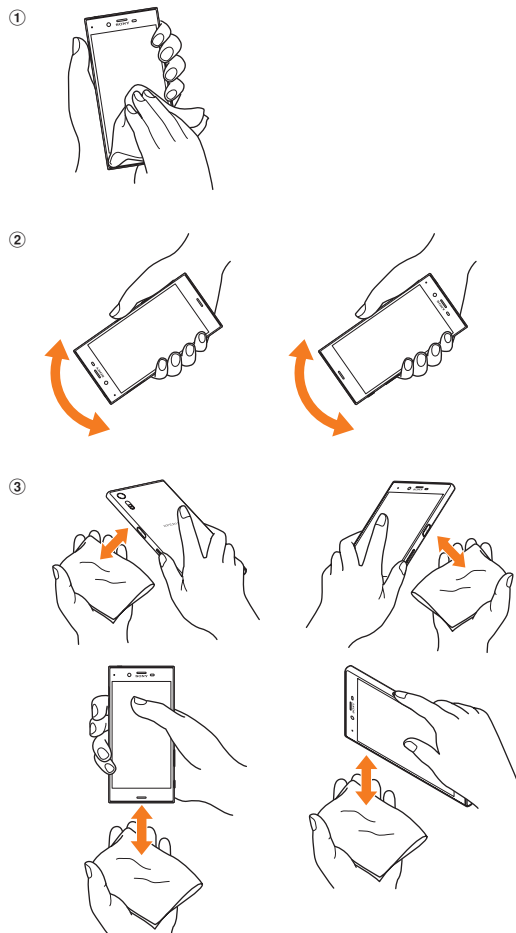
① 本体に付着した水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。

② 本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振り(左図)、上下の向きを変え、再度20回程度振ってください(右図)。

※ 本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

③ 本製品内部より出てきた水分を乾いた布などで拭き取ってください。

※ 布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。



※ 上下の向きを変えて拭き取ってください。

④ 乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させてください。

※ 乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。
- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
 - 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。
- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

● Bluetooth®機能:2.4FH4/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH4は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

● 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

- 2.4GHz全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
W52 W53 W56

各種暗証番号／PINコードについて

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	スワイプ

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234 なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● ロックNo.(NFC／おサイフケータイ ロック)

使用例	「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

- 第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます(▶P.88「SIMカードロックを設定する」)。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「SIMカードロック設定」で入力が必要な設定に変更できます。
 - なお、SIMカードロック設定を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
 - 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。
 - お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「SIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

memo

◎ PINコードは「データの初期化」(▶P.90)を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください(▶P.88「PINコードを変更する」)。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiPもしくはお客様センターまでお問い合わせください。

データ通信料についてのご注意

- ◎ 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
 - ◎ 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
- ※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「取扱説明書」に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビなどを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

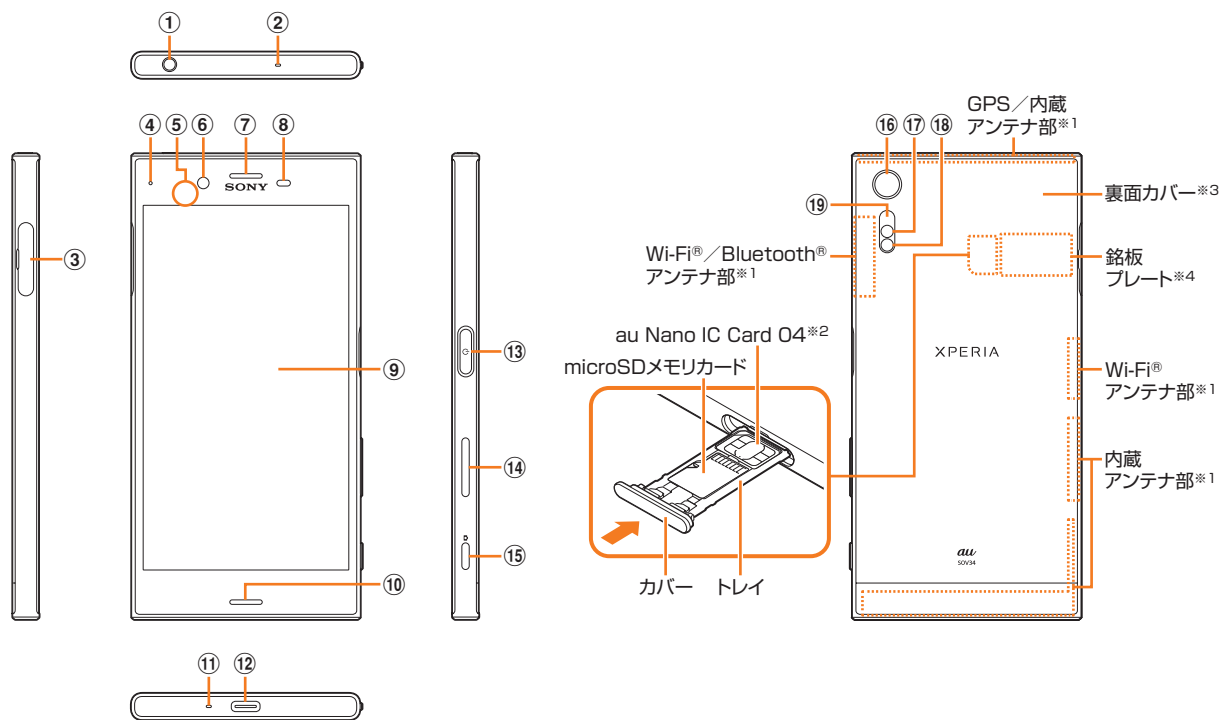
■ 周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」を設定する、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能.....	18
au Nano IC Card 04について	19
au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す	19
充電する	20
電源を入れる／切る	20
初期設定を行う	21

各部の名称と機能



※1 アンテナは内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。
 ※2 au Nano IC Card O4の取り扱いについては、「au Nano IC Card O4について」(P.19)をご参照ください。
 ※3 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。
 ※4 CEマーク、FCC ID、IMEI情報などを印刷したシールが貼られています。シールをはがしたり、銘板プレートを取り外したりしないでください。

① ヘッドセット接続端子

4極ヘッドセットについてはCTIA規格に準拠したものに对应しております。

② セカンドマイク

通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。針など先のとがったものでつかないでください。故障の原因となります。

③ microSDメモリカード／au Nano IC Card O4挿入口

④ 通知LED

充電状態や不在着信、メールの受信をお知らせします。

⑤ NFC／おサイフケータイ かざし位置

お買い上げ時は、Nマークのシールが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合ははがしてご利用ください。

⑥ フロントカメラ

⑦ 受話口／スピーカー

通話中の相手の方の声などが聞こえます。

⑧ 近接／照度センサー

タッチパネルのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止したり、画面の明るさを自動制御したりします。指などでふさがないようにご注意ください。

⑨ ディスプレイ(タッチパネル)

⑩ スピーカー

⑪ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

⑫ USB Type-C接続端子

充電時などに使用します。

⑬ 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー

電源オン／オフに使用します。また、画面のバックライトを消灯して画面ロックをかけたり、画面のバックライトを点灯させてロック画面を表示したりします。指紋を登録している場合は、指紋認証で画面ロックを解除します。

⑭ 音量キー／ズームキー

⑮ カメラキー

1秒以上長押しすると、カメラが起動します。静止画・動画の撮影時にシャッターとして使用します。

⑯ カメラレンズ

⑰ RGB-IRセンサー

撮影時に撮影環境の光源の成分を検知して自動でホワイトバランスを調整します。

⑱ フラッシュ／フライトライト

撮影時にフラッシュ／フライトライトを点灯させ、撮影対象を明るくします。

⑲ レーザーAFセンサー

撮影時に被写体の距離を検知して自動でピントを合わせます。

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。



memo

- ◎ au Nano IC Card 04を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au Nano IC Card 04のIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au Nano IC Card 04を正しく取り付けられない場合やau Nano IC Card 04に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、が表示されます。

- ・ 電話をかける*1／受ける
 - ・ SMSの送受信
 - ・ Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
 - ・ PINコード設定
 - ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

*1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外でGSM／UMTS／LTEネットワークを利用中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

■ PINコードによる制限設定

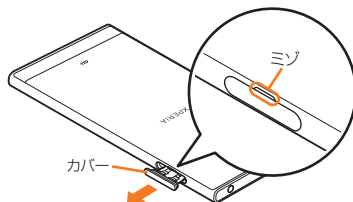
au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロック設定により他人の使用を制限できます(▶P.88「SIMカードロックを設定する」)。

au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す

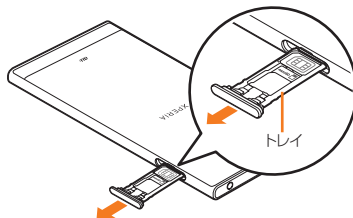
au Nano IC Card 04の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

- 1 ミゾに指先(爪)をかけて、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを矢印の方向に引き出す



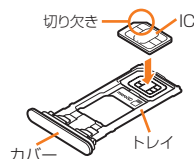
- 2 本体からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



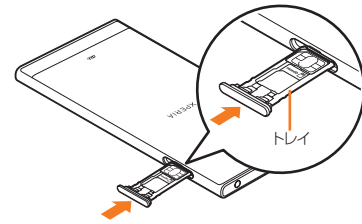
- 3 au Nano IC Card 04のIC(金属)部分を上にしてトレイにはめ込む

切り欠きの方向にご確認ください。

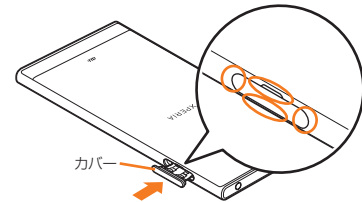
au Nano IC Card 04がトレイから浮かないように、確実ににはめ込んでください。



- 4 本製品を水平にして、トレイごと本体に差し込んでまっすぐ押し込む
トレイの差し込む方向にご確認ください。



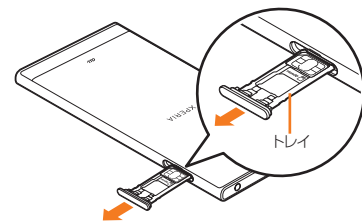
- 5 トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認する



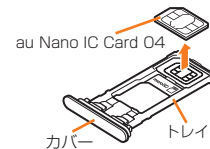
au Nano IC Card 04を取り外す

- 1 ミゾに指先(爪)をかけて、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを引き出す

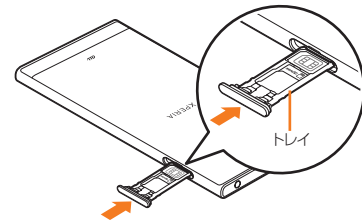
- 2 本体からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



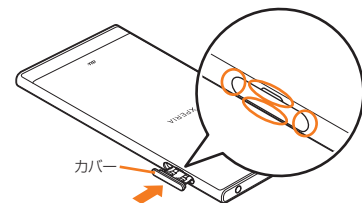
- 3 トレイからau Nano IC Card 04を取り出す



- 4 本体にトレイを差し込んでまっすぐ押し込む
トレイの差し込む方向にご確認ください。



- 5 トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認する



充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。充電してからお使いください。

memo

- ◎ 充電には指定の充電用機器（別売）をお使いください（▶P.106「周辺機器」）。接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- ◎ 指定の充電用機器（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ◎ 電源オンの状態で充電を開始すると充電の開始音が鳴り、通知LEDが充電状態に応じて点灯します（▶P.30「通知LEDについて」）。電池残量は、ホーム画面上部のステータスバーで確認するか、設定メニュー画面から確認します（▶P.91「機器の状態」）。
- ◎ 電源オフの状態で「」を押した際に、通知LEDが赤色で数回点滅したり、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示される場合は電池残量が十分ではありません。本製品を充電してください。
- ◎ 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが充電状況をお知らせする画面が起動します。このため、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
- ◎ 充電中に本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 本製品の温度が上昇すると、通知LEDが消灯する（充電が停止する）、または充電が完了しない場合があります。その場合は、本製品の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ◎ 内蔵電池は、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.8）をよくお読みになってお取り扱いください。
- ◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電すると、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ アプリや機能などのご利用状況により、使用時間が短くなることがあります。

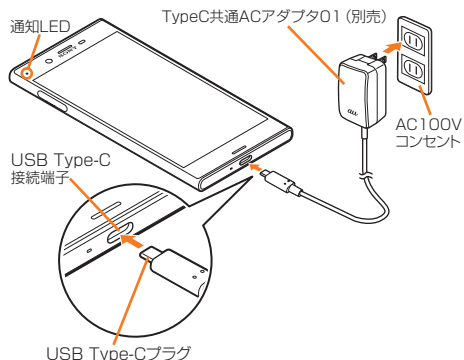
ACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ01（別売）を接続して充電する方法を説明します。お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

1 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む

2 TypeC共通ACアダプタ01（別売）のUSB Type-Cプラグを本製品のUSB Type-C接続端子にまっすぐに差し込む

充電の開始音が鳴り、本製品の通知LEDが点灯します（▶P.30「通知LEDについて」）。



3 充電が完了したら、TypeC共通ACアダプタ01（別売）のUSB Type-Cプラグを本製品から取り外す

4 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントから取り外す

電池の寿命を延ばすには（いたわり充電）

いたわり充電とは、お客様の充電の習慣（充電用機器（別売）に長く接続している時間帯）を学習して充電速度を調節し、電池の性能をより良い状態に保ち、電池の寿命を延ばすための機能です。

■「いたわり充電」機能を開始する

学習した充電の習慣から、充電用機器（別売）が取り外される時刻を予想し、その時刻に満充電になるように充電速度を調節します。いたわり充電で充電を開始後、満充電になる前にいったん充電を停止した状態にします。その後、満充電の予定時刻の前に充電を再開し、満充電予定時刻に満充電になるよう充電します。

■通常の充電に切り替える

- ホーム画面で「」→「設定」→「バッテリー」→「いたわり充電」→「」と操作し、いたわり充電をオフにします。
- いたわり充電を一時的に中断して通常の充電に切り替えるには、ステータスバーを下にスライド→「いたわり充電中」と操作します。

memo

- ◎ 習慣の学習の完了には7日以上かかる場合があります。
- ◎ 充電の習慣に規則性を見つけれない場合は学習が完了しないため、いたわり充電は開始されず、通常の充電となります。
- ◎ いたわり充電中に充電用機器（別売）を取り外すと、満充電されない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （1秒以上長押し）

本製品が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。画面ロックを解除してください（▶P.20「画面ロックを解除する」）。

memo

- ◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ◎ 電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（▶P.21「初期設定を行う」）。
- ◎ SIMカードロック／画面ロックをかけている場合はロックを解除してください（▶P.88「画面ロックを解除する」▶P.88「SIMカードロックを設定する」）。

電源を切る

1 （1秒以上長押し）

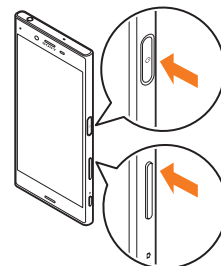
2 [電源を切る]

memo

- ◎ （1秒以上長押し）→「電源を切る」をロングタッチ→[OK]と操作すると、本製品を再起動してセーフモードで起動することができます。セーフモードについては、「本製品の動作が不安定」（▶P.105）をご参照ください。

■強制終了する

1 と音量キーの上を同時に約8秒間押し、連続して3回振動した後に離す



再起動する

1 （1秒以上長押し）

2 [再起動]

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。

また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックがかかります。

1 画面表示中に

memo

- ◎ 「スリープ」（▶P.86）で画面のバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、を押して画面のバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 ロック画面で画面を上／左にスワイプ（フリック）

に触れても画面ロックを解除できます。

memo

- ◎ ロック画面で「」をスワイプ（フリック）すると「音声検索」アプリ、「」をスワイプ（フリック）すると「カメラ」アプリが起動します。ロック画面から起動するカメラの設定を変更するには、「クイック起動の設定を変更する」（▶P.65）をご参照ください。
- ◎ 画面ロックの解除方法を設定／変更するには、「画面ロックの解除方法を設定する」（▶P.88）をご参照ください。

初期設定を行う

電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って、各機能やサービスなどの設定を行ってください。初期設定について詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

1 【開始する】

「日本語」をタップすると言語を変更できます。
「視覚補助」をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
重要な情報の設定画面が表示されます。

2 匿名データ／統計情報の収集について確認→チェックを入れる／外す→【次へ】

セットアップ方法の選択画面が表示されます。

3 【新規としてセットアップ】

インターネット接続の設定画面が表示されます。

4 【すべてのWi-Fiネットワークを表示】／【セットアップ時にモバイルネットワークを使用する】

「すべてのWi-Fiネットワークを表示」を選択した場合は、Wi-Fi®接続の設定画面が表示され、Wi-Fi®ネットワークへの接続設定を行うことができます。
Wi-Fi®ネットワークへの接続設定を終了するか、「セットアップ時にモバイルネットワークを使用する」を選択すると、Googleアカウントの設定画面が表示されます。

5 画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定

指紋によるロック解除の設定画面が表示されます。画面の指示に従って指紋の設定を行うか、設定をスキップすると、Xperia™ サービスの設定画面が表示されます。

6 【Googleでサインイン】→画面の指示に従って操作→【次へ】

サインインしない場合は、[後で行う]→[スキップ]と操作します。
位置情報取得の高速化の設定画面が表示されます。

7 「位置情報についての同意」にチェックを入れる／外す→【次へ】

セットアップ完了画面が表示されます。

8 【終了】

auかんたん設定画面が表示され、auの便利な機能やサービスを設定できます。

9 【次へ】

au ID設定画面が表示されます。「au IDを設定する」を選択して「次へ」をタップすると、画面の指示に従ってau IDを設定できます。

10 【終了】

アップデート画面が表示されます。

11 「アップデートする」／「アップデートしない」を選択→【次へ】

初期設定の利用規約画面が表示されます。「同意しない」を選択した場合は、手順18へ進みます。

12 「同意する」を選択→【次へ】→【同意する】

自動お預かり設定画面が表示されます。

13 「利用する」／「利用しない」を選択→【次へ】

ホーム画面設定画面が表示されます。

14 「利用する」／「利用しない」を選択→【次へ】

歩きスマホ注意アプリを利用するかどうかの画面が表示されます。

15 「利用する」／「利用しない」を選択→【次へ】

Lookout for auを利用するかどうかの画面が表示されます。

16 「利用する」／「利用しない」を選択→【次へ】

データを戻す画面が表示されます。

17 戻すデータにチェックを入れる→【次へ】

おすすめアプリ画面が表示されます。

18 インストールするアプリにチェックを入れる→【次へ】

登録完了画面が表示されます。

19 【終了する】

ホーム画面が表示されます。

memo

◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

◎ 後から言語を変更することもできます(▶P.90「言語の表示を切り替える」)。また、auのサービスなどを設定する場合は、ホーム画面で[]→[設定]→[au設定メニュー]→[auかんたん設定]と操作します。

◎ オンラインサービスの設定を行う場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください。

Googleアカウントをセットアップする

本製品にGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを起動したときなどに表示されます。

Googleアカウントの設定について詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→メールアドレスまたは電話番号を入力／または新しいアカウントを作成

Googleアカウントをすでにお持ちの場合はGmailのメールアドレスまたは電話番号を入力して「次へ」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

Googleアカウントをお持ちではない場合は「または新しいアカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ Googleアカウントは、ホーム画面で[]→[設定]→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]→[Google]と操作しても設定できます。

◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面で[]

2 画面上部のアドレスバーをタップ→「http://www.google.co.jp」を入力→ソフトウェアキーボードの[実行]

3 【ログイン】→画面の指示に従って操作

au IDの設定をする

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

au IDの設定について詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

1 ホーム画面で[]→【お客さまサポート】→【au ID 設定】

2 【au IDの設定・保存】

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。

au IDをお持ちではない場合は、新規登録を行います。

基本操作

タッチパネルとキーアイコンの操作.....	24
タッチパネルの使いかた	24
キーアイコンの基本操作	24
ホーム画面とアプリ画面	24
ホーム画面を利用する	24
ホーム画面のメニューを利用する	25
シンプルホームに切り替える	26
アプリ画面を利用する	27
本製品の状態を知る	29
本製品内やウェブサイトを検索する	30
アプリの権限を設定する	30
よく使う操作	31
縦／横画面表示を自動で切り替える	31
マナーモードを設定する	31
メニューを表示する	31
設定を切り替える	31
データを複数選択する	31
表示されている画像を撮る	31
利用するアプリを選択する	31
分割画面を利用する	32
緊急省電力モードを利用する	32
指紋認証機能を利用する	32
指紋を登録する	32
指紋認証を行う	32
文字入力	33
文字を入力する	33
ソフトウェアキーボードについて	33
文字入力のしかた	33
テキストを編集する	34
連絡先を引用する	34
ユーザー辞書に登録する	34
文字入力の設定をする	34

タッチパネルとキーアイコンの操作

本製品は、タッチパネルと画面下部のキーアイコンを使って操作します。

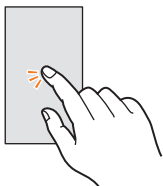
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作

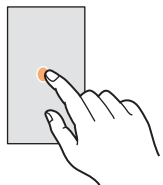
■ タップ／ダブルタップ

アイコンや項目などに指で軽く触れ、すぐに離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



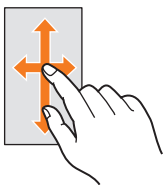
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



■ スライド

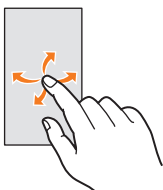
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■ スワイプ(フリック)

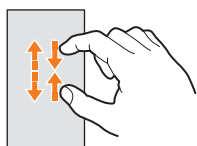
画面を指ですばやく上下または左右にはうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはうように指を動かしてください。



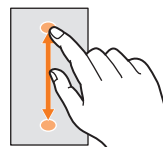
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



キーアイコンの基本操作

画面下部の◀、◻、◻の主な操作は次の通りです。



キーアイコン	説明
◀	戻る 1つ前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、メニュー、通知パネルなどを閉じます。
◻	ホーム ホーム画面を表示します。 ロングタッチすると「Google」アプリを起動できます。
◻	タスク 最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動したり終了したりできます(▶P.28「最近使用したアプリを表示する」)。 また、分割画面を利用することもできます(▶P.32「分割画面を利用する」)。

ホーム画面とアプリ画面

ホーム画面とアプリ画面から、本製品のさまざまな操作ができます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数のページで構成されています。◻をタップすると、いつでもホーム画面を表示することができます。



- ① Google検索
- ② ウィジェット
- ③ ショートカット(アプリ)
- ④ ホーム画面位置
複数のページのうち現在の表示位置を示します。左右にスライドまたはフリックすると、隣り合ったページに移動できます。
「Google Now™」(▶P.25)をオンに設定している場合、一番左には「G」が表示されます。
- ⑤ 壁紙
- ⑥ フォルダ(Google、基本機能)
- ⑦ アプリキー
タップしたときにアプリのおすすめ情報を提供するためのデータ収集に関する確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- ◎ 複数のページのうち、操作上の開始画面となるページを変更するには、変更したいページに切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ→画面左上に表示される[✖]と操作します。ただし、「Google Now™」(▶P.25)をオンに設定している場合は、開始画面を変更できません。
- ◎ ホーム画面上のアイコンがない部分を下にスワイプ(フリック)すると、アプリの検索画面が表示されます。
- ◎ ホーム画面のページを追加するには、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ→ホーム画面を左右にフリック→[✖]と操作します。
- ◎ ホーム画面のページを削除するには、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ→画面右上に表示される[✖]と操作します。ホーム画面のページにショートカットやウィジェットなどを追加している場合は、[✖]→[削除]と操作します。

ホーム画面のメニューを利用する

ホーム画面では、壁紙やテーマを変更したり、連絡先などのショートカットやウィジェットを追加したりできます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

ホーム画面でピンチイン(▶P.24)しても表示されます。

2	ウィジェット	ウィジェットや連絡先などのショートカットを追加します。 ▶P.25「ウィジェットを追加する」 ▶P.25「ショートカットを追加する」
壁紙	アルバム	アルバムから画像を選択して、壁紙に設定します。 ・画像の範囲はドラッグなどでトリミング枠を調整します。
	ライブ壁紙	ライブ壁紙からコンテンツを選択して、壁紙に設定します。
	Photos	写真から画像を選択して、壁紙に設定します。
	(Xperia™の壁紙)	画像を選択して、壁紙に設定します。 ・「Photos」「ライブ壁紙」の右横に表示されている画像が「Xperia™の壁紙」になります。
テーマ		ホーム画面やロック画面の壁紙などを統一したイメージに設定したり、テーマをダウンロードすることができます。 ▶P.85「テーマを設定する」
設定	自動回転	「機器が回転したときの表示」(▶P.31)を「画面の表示も回転」に設定しているとき、本製品の向きに合わせて、ホーム画面やアプリ画面を縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	アイコンサイズ	ホーム画面やアプリ画面のアイコンサイズを設定します。
	アイコンの見た目	アイコンのデザインを変更します。
	ドックに名前を表示	ホーム画面下のドックエリア(アプリキーの左右両側にあるエリア)に配置したショートカットなどの名前を表示するかどうかを設定します。
	自動的にアイコンを隙間なく配置	ホーム画面に配列されているショートカットなどを、自動的に隙間なく配置するかどうかを設定します。
	画面切り替え	ホーム画面のページを切り替えたときの画面切り替えの種類を設定します。
	アプリのおすすめ情報	アプリの検索画面にアプリのおすすめ情報を表示するかどうかを設定します。 アプリの検索画面は、アプリ画面の1枚目のページを右にフリックすると表示されます。
	Google Now™	ホーム画面にGoogle Now画面を追加するかどうかを設定します。
	ホーム画面にアイコンを追加	アプリ画面のアイコンをロングタッチするだけでホーム画面にショートカットを追加できるようにするかどうかを設定します。
	ホーム画面のアイコン	ホーム画面に重複したアプリのショートカットの追加を許可するかどうかを設定します。
	ダブルタップしてスリープ	ホーム画面やアプリ画面でアイコンのない部分をダブルタップしたときにスリープモードにするかどうかを設定します。
	ライセンス	ライセンスを表示します。
	ホームバージョン	アプリのバージョンが表示されます。

ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する場所までドラッグ

ウィジェットを利用する

■ ウィジェットを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

ホーム画面でピンチイン(▶P.24)しても表示されます。

2 [ウィジェット]→ウィジェットを選択

設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

2 画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までウィジェットをドラッグ

memo

◎アプリをインストールすると、ウィジェットの一覧に新しいウィジェットが追加される場合があります。

◎追加したウィジェットに枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。

ショートカットを利用する

■ ショートカットを追加する

■ メニューから連絡先などのショートカットを追加する場合

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

ホーム画面でピンチイン(▶P.24)しても表示されます。

2 [ウィジェット]

3 [ショートカット]→ショートカットを選択

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ アプリ画面からアプリのショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で[☰]

2 追加するアイコンをロングタッチ

フォルダ内のアイコンは、フォルダの外までドラッグします。

3 画面上部に表示される「ホーム画面に追加」までアイコンをドラッグ

ホーム画面が表示されたら、ドラッグしたままショートカットを置く場所まで移動できます。

memo

◎「ホーム画面にアイコンを追加」(▶P.25)をオンに設定している場合は、アプリ画面で追加するアイコンをロングタッチするだけで、ホーム画面にアプリのショートカットを追加できます。

◎「ホーム画面のアイコン」(▶P.25)をオンに設定している場合は、ホーム画面に追加したアプリのショートカットが重複すると、最初に追加していたショートカットが自動的に削除されます。

■ ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

2 画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までショートカットをドラッグ

フォルダを利用する

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

2 アイコンを別のアイコンの上までドラッグ

■ フォルダにアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをフォルダの上までドラッグ

■ フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

2 画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までフォルダをドラッグ

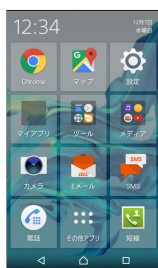
3 [削除]

フォルダ内のショートカットなども削除されます。

シンプルホームに切り替える

シンプルホームに設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。文字サイズが大きくなり、短縮機能を使って電話をかけたり、メールを送信したりできます。

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[アプリ]
- 2 []→[ホームアプリ]→[シンプルホーム]→[OK]
- 3 [OK]



《シンプルホーム画面》

シンプルホーム画面のアプリ

アプリ		ページ
Chrome		P.56
マップ		P.27
設定		P.26
マイアプリ		P.26
ツール	カレンダー	P.27
	時計	P.70
	電卓	P.27
	おサイフケータイ	P.69
	auお客さまサポート	P.72
	サービスTOP	P.71
	Playストア	P.73
メディア	ミュージック	P.66
	アルバム	P.65
	テレビ	P.67
	YouTube	P.28
カメラ		P.62
Eメール		P.40
SMS		P.52
電話		P.36
その他アプリ	「au ID 設定」などのアプリの一覧が表示されます。	
短縮		P.26

memo

◎シンプルホーム画面上の「Eメール」/「SMS」/「電話」アプリには、未読メールや不在着信などの件数が数字で表示されます。

短縮機能を利用する

よく電話やメールをする連絡先を「短縮」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先を登録する

シンプルホーム画面で[その他アプリ]→[連絡先]と操作し、あらかじめ「連絡先」アプリに電話番号やメールアドレスを登録してください。連絡先の登録方法については「連絡先を登録する」(▶P.60)をご参照ください。

- 1 シンプルホーム画面で[短縮]→[OK]

- 2 登録する連絡先を選択

シンプルホーム画面の「短縮」などの名称は、「連絡先」アプリに登録されている名前に変更されます。

memo

◎登録した連絡先を変更/削除/編集するには、シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[メニュー]→[登録先を変更]/[登録先を解除]/[登録先を編集]と操作します。

電話をかける

- 1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[電話をかける]

選択した連絡先に発信されます。
通話中の操作方法については「通話中に利用できる操作」(▶P.36)をご参照ください。

メッセージを送信する

- 1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[メッセージを送る]
メッセージの送信方法については「SMSを送信する」(▶P.52)をご参照ください。

メールを送信する

- 1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[メールを送る]
Eメールの送信方法については「Eメールを送信する」(▶P.42)をご参照ください。
Gmailの送信方法については「Gmailを送信する」(▶P.54)をご参照ください。
PCメール(Eメール()の送信方法については「PCメールを送信する」(▶P.54)をご参照ください。

シンプル設定を利用する

基本的な設定を変更できます。

- 1 シンプルホーム画面で[設定]

シンプルホーム画面に戻るには [] をタップします。

シンプル設定メニューの項目一覧

項目	設定内容
プロフィール	自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。
画面設定	壁紙変更 ホーム画面やロック画面の壁紙を変更します。
	テーマ ホーム画面やロック画面の壁紙などを統一したイメージに設定したり、テーマをダウンロードすることができます。 ▶P.85「テーマを設定する」
	画面の明るさ 画面の明るさレベルを調整します。
	画面の自動回転 本製品の向きに合わせて、縦/横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	フォントサイズ 「連絡先」アプリなどに表示される文字サイズを設定します。
	消灯時間変更 画面のバックライトが消灯するまでの時間(ディスプレイが暗くなるまでの時間)を設定します。
	ロック画面設定 画面ロックの解除方法を設定します。 ▶P.88「画面ロックの解除方法を設定する」
音設定	マナーモード切替 マナーモードを設定します。
	着信音変更 着信音を設定します。
	操作時バイブレーション 特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本製品を振動させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音 メニューを選択したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション 着信時に本製品を振動させるかどうかを設定します。
ホームカスタマイズ	アプリの変更 シンプルホーム画面に表示するアプリの種類や位置を変更します。 ▶P.26「シンプルホーム画面のアプリを変更する」
	アプリの並べ替え
	初期化
詳細設定	標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します。 ▶P.84「設定メニュー項目一覧」
ホーム切替	標準のホーム画面に切り替えます。

マイアプリにアプリを登録する

「マイアプリ」フォルダに使用頻度の高いアプリなどを登録しておくと、簡単に起動することができます。

- 1 シンプルホーム画面で[マイアプリ]→[編集]→[OK]

- 2 登録するアプリにチェックを入れる→[完了]

シンプルホーム画面に戻るには [] をタップします。

memo

◎「マイアプリ」フォルダに登録したアプリを削除するには、手順2で削除したいアプリのチェックを外す→[完了]と操作します。

シンプルホーム画面のアプリを変更する

- 1 シンプルホーム画面で[設定]→[ホームカスタマイズ]

- 2 [アプリの変更]/[アプリの並べ替え]

- 3 変更したいアプリを選択→表示したいアプリを選択/移動先を選択
グレー表示されているアプリは変更できません。

- 4 [OK]

シンプルホーム画面に戻るには [] をタップします。

◎手順2で[初期化]→[OK]と操作すると、初期状態に戻ります。ただし、短縮に登録した連絡先や、「マイアプリ」フォルダに登録したアプリは初期化されません。

標準のホーム画面に切り替える

シンプルホームから標準のホーム画面に切り替えます。

1 シンプルホーム画面で[設定]→[ホーム切替]→[OK]

標準のホーム画面が表示されます。

アプリ画面を利用する

アプリ画面からさまざまな機能呼び出すことができます。本製品にインストールしたアプリのアイコンも表示されます。

- 機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリ画面を表示する

1 ホーム画面で[☰]

アプリのおすすめ情報を提供するためのデータ収集に関する確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

左右にスライドまたはフリックすると、アプリ画面を切り替えられます。

アプリ画面のアプリ検索バーをタップするか、画面を下にフリックすると、アプリの検索画面が表示されます。

アプリ画面の1枚目のページを右にフリックしても、アプリの検索画面を表示できます。

アプリ画面を閉じるには、[◀]または[▶]をタップします。

アプリの種類(50音順)

アプリ	概要	ページ
アルバム	静止画や動画を再生できます。	P.65
安心アクセス ^{*1}	お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.71
うたパス ^{*2}	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など2000以上のチャンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。	—
おサイフケータイ ^{*3}	おサイフケータイ対応サービスを利用できます。	P.69
音声検索 ^{*4}	Google音声検索を利用できます。	P.30
音声レコーダー ^{*5}	音声や音楽などを高音質で録音できます。	—
カメラ	静止画や動画を撮影できます。	P.62
カレンダー ^{*4}	予定やリマインダーなどを登録して管理できます。	—
ゲームギフト ^{*2*8}	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、様々なお得を提供するアプリです。	—
故障受付 ^{*1}	スマートフォンの調子が悪いときのトラブル診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。	P.73
サービスTOP ^{*2}	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼンテーションや、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。	P.71
スケッチ ^{*5}	画面に触れて絵やイラストを作成したり、写真を読み込んで加工できるアプリです。また、作成したスケッチを公開したり、他のユーザーとスケッチを共有したりできます。	—
スプレッドシート ^{*4}	スプレッドシートの作成・編集・共有や、Excelファイルの表示・編集・保存ができます。	—
スポットリスト	連絡先にあるレストランなどの電話番号に、写真や地図などのスポット情報を追加します。	—
スライド ^{*4}	プレゼンテーションの作成・編集・共有や、PowerPointファイルの表示・編集・保存ができます。	—
世界データ定額 ^{*1}	世界各国で使えるデータ定額サービスの初期設定が安心、簡単にできます。	P.99
設定	本製品の各種設定ができます。	P.84
ダウンロード ^{*5}	ダウンロードの一覧を表示できます。	—
データお預かり ^{*1}	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、microSDメモリーカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	—
デジラアプリ ^{*1}	データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフトをおねだりすることもできます。	—

アプリ	概要	ページ
テレビ	テレビを視聴できます。	P.67
天気 ^{*5}	天気や気温、湿度などを確認できます。	—
電子書籍 Reader by Sony ^{*6*8}	ソニーのeBookストア「Reader Store」で書籍などを購入できます。	—
電卓 ^{*5}	四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。	—
電話	電話の発信／着信ができます。	P.36
ドキュメント ^{*4}	ドキュメントの作成・編集・共有や、Wordファイルの表示・編集・保存ができます。	—
時計 ^{*5}	アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。	P.70
ドライブ ^{*4}	Googleドライブに保存したファイルを閲覧・管理・共有できます。	—
取扱説明書 ^{*1*8}	本製品の取扱説明書を表示します。	—
ナビウォーク ^{*2*8}	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	—
ニュース ^{*6}	最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。	—
ニュースパス ^{*2}	たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。	—
ハンガアウト ^{*4}	写真や絵文字などを使ってメッセージを送受信できます。音声通話やビデオ通話もできます。	—
ビデオ ^{*8}	「Video & TV SideView」アプリをダウンロードします。インストール後に選択すると「Video & TV SideView」アプリが起動し、内部ストレージ／microSDメモリーカードに保存した動画を再生できます。また、テレビ番組表を見たり、本製品をソニー製テレビなどのリモコンとして利用したりできます。	—
ビデオパス ^{*2}	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	—
フォト ^{*4}	写真や動画を再生できます。Googleアカウントにバックアップすることもできます。	—
ブックパス ^{*2}	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
マップ ^{*4}	現在地の表示、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	—
ミュージック	内部ストレージやmicroSDメモリーカードに保存した音楽データを再生できます。	P.66
リモートサポート ^{*1}	スマートフォンの操作で困ったとき、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.73
連絡先	友人や家族の連絡先を管理できます。	P.60
auお客さまサポート ^{*1}	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.72
au災害対策 ^{*1}	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報、洪水情報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用できます。	—
auショッピングモール ^{*3}	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買い物が楽しめるau公式のショッピングアプリです。	—
auスマートパス ^{*2}	「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。	P.71
auテレビ.Gガイド ^{*2}	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビ連携や遠隔録画予約機能をご利用いただけます。	P.68
au ID 設定 ^{*1}	au IDを設定できます。	P.21
au Market ^{*2}	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	—
au WALLET ^{*3}	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認ができ、利用履歴は家計簿のようにグラフ化された画面で確認できます。	—
au WALLET Market ^{*3}	日々の生活に役立つ「ちょっといいもの」を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。	—
au Wi-Fi接続ツール ^{*1}	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi [®] 機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。	P.73
Chrome	Chromeでウェブページを閲覧できます。	P.56

アプリ	概要	ページ
Disney pass ^{*2}	ディズニーの壁紙、きせかえ、動画、音楽等のコンテンツが使い放題の月額サービス。au限定のコンテンツやお得な会員特典もあります。その他にも、au限定デザインのカバーとおそろいで楽しめる「限定カバー&コンテンツセット」もご用意。カバーに同梱のディズニーパス・カードからご登録いただくと、ディズニーパスが約2か月間無料で楽しめます。	—
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールを送受信できます。	P.40
Eメール	PCメールを利用できます。複数のアカウントを使用できます。	P.53
Facebook ^{*7}	友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。	—
Gmail ^{*4}	Gmail(@gmail.com)やGmail以外のEメールを利用できます。	P.54
Google ^{*4}	キーワードから本製品内やウェブページを対象に検索できます。	P.30
Instagram ^{*7*8}	日常の風景から歴史的な出来事まで世界で起っているあらゆる瞬間をモバイルで撮影・自由に編集し、家族や友達、そして世界中の利用者と簡単に共有することができるサービスです。	—
Lifelog ^{*6}	歩数や消費カロリーなど、日々のさまざまな活動を記録できます。本製品での撮影や音楽視聴なども記録されます。	—
Lookout for au ^{*1}	端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。	P.72
Messenger ^{*7*8}	友達や知り合いとスピーディーにメッセージのやりとりやグループチャットができる無料アプリです。	—
mora ^{*6}	ソニーの高品質音楽ダウンロードストアから音楽、ミュージックビデオを購入できます。	—
Movie Creator ^{*6}	撮影した写真や動画から自動でハイライトムービーを作成します。写真や動画を選んで手動で作成することもできます。ハイライトムービーはビデオファイルとして保存することで、他の人と共有することができます。	—
NFCメニュー ^{*5}	NFCサービスに対応したアプリの一覧表示やNFCロックなど、各種設定を行うことができます。	P.70
Playストア	Google Playからさまざまなアプリをダウンロード・購入できます。	P.73
Playムービー&TV ^{*4}	Google Playの映画などをレンタル・購入できます。	—
Player(LISMO) ^{*2}	「うたパス」アプリをより便利にお楽しみいただくための音楽アプリです。	—
Play Music ^{*4}	Play Musicで音楽の再生、保存、共有ができます。	—
PlayStation	PlayStation™に接続して、PlayStationを操作できます。	—
RealTimes for au ^{*2}	端末内に保存している動画や写真をもとに、イベントごとに自動作成されるダイジェスト映像を楽しめます。家族や友人とのプライベート映像をアドレス帳電話番号で安心して共有(送受信)できます。	—
SATCH ^{*5}	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。	P.65
SMS	電話番号を宛先としてメールを送受信できます。	P.52
Twitter ^{*7}	Twitterは多くの人々となつなったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。	—
What's New ^{*6}	音楽や動画などの最新情報やアプリの更新情報を確認できます。	—
Xperia™ Lounge Japan ^{*6}	ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するアプリです。	—
YouTube ^{*4}	YouTubeで動画を再生できます。	—

^{*1} 「お客さまサポート」フォルダ内に格納されています。
^{*2} 「auサービス」フォルダ内に格納されています。
^{*3} 「お買いもの」フォルダ内に格納されています。
^{*4} 「Google」フォルダ内に格納されています。
^{*5} 「ツール」フォルダ内に格納されています。
^{*6} 「Sony Entertainment」フォルダ内に格納されています。
^{*7} 「SNS」フォルダ内に格納されています。
^{*8} 簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

memo

- ◎「取扱説明書」アプリでは、本製品のさまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてインストールしてください。
- ◎「データの初期化」(▶P.90)を行っても、本製品にプリインストールされているアプリはアンインストールされません。

アプリを並べ替える

アプリ画面に表示されるアプリアイコンを並べ替えます。

1 アプリ画面で[]→[アプリの並べ替え]

2	カスタム	個別に指定して並べ替えます。アプリアイコンをロングタッチして、並べ替える場所までドラッグします。
	よく使うアプリ順	使用頻度順に並べ替えます。
	名前順	名前順に並べ替えます。
	日付順	インストールした日付順に並べ替えます。

memo

- ◎「カスタム」でアプリアイコンを一番右のアプリ画面の右端までドラッグすると、アプリ画面を追加できます。
- ◎[]→[設定]と操作すると、ホーム画面の設定を変更できます(▶P.25「ホーム画面のメニューを利用する」)。

アプリをアンインストールする

- ・アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- ・アプリによってはアンインストールできない場合があります。

1 アプリ画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

アプリ画面でピンチイン(▶P.24)、または[]→[アプリの管理]と操作しても表示できます。フォルダ内のアプリをアンインストールする場合はフォルダをタップします。

2 「」の付いたアプリをタップ

「」の付いたアプリのみアンインストールできます。

3 [OK]

アプリをアンインストールできない場合は「無効」と表示され、アプリを無効化することができます(▶P.74「アプリを無効化する」)。

memo

- ◎本製品にプリインストールされているアプリは、アンインストールできない場合があります。
- ◎アプリを管理する画面からもアンインストールできます。詳しくは、「アプリをアンインストールする」(▶P.74)をご参照ください。

フォルダを利用する

アプリ画面に表示されるアプリアイコンをフォルダに入れて管理することができます。

- ・アプリアイコンの並び順を「カスタム」に設定している場合のみ、フォルダを利用できます。

■ フォルダを追加する

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ

2 アプリアイコンを別のアプリアイコンの上までドラッグ

■ フォルダにアプリアイコンを移動する

1 アプリ画面で移動するアプリアイコンをロングタッチ

2 アプリアイコンをフォルダの上までドラッグ

■ フォルダ名を変更する

1 アプリ画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→[完了]

最近使用したアプリを表示する

最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの起動や切り替え、終了ができます。

1

アプリがサムネイル表示されます。

memo

- ◎サムネイルをタップすると、アプリの起動や切り替えができます。ただし、表示されているサムネイルによっては、アプリを起動できない場合があります。
- ◎アプリのサムネイルを削除するには、削除するサムネイルを左右にフリックします。画面右上に表示される「すべて削除」をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
- ◎アプリのサムネイルを削除すると、アプリを終了できます。
- ◎「画面のピン留め」(▶P.88)をオンに設定している場合は、直前に表示していたアプリのサムネイルに📌が表示され、タップすると画面をピン留めできます。ピン留めすると表示中のアプリ以外は使用できなくなります。ピン留めを解除するには画面の指示に従って操作してください。

本製品の状態を知る

ステータスバーは、本製品の画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	伝言メモあり
	着信中／通話中／発信中
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	新着SMSあり／着信お知らせサービスの伝言お知らせ・着信お知らせあり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth®通信でデータなどの受信通知あり
	スクリーンショットあり
	カレンダーの予定通知あり
	ストップウォッチ計測中／タイマー使用中
	アラームのスヌーズ中／鳴動中
	楽曲をミュージックで再生中
	テレビ視聴中*1／視聴予約の通知あり
	テレビ録画中*1／録画予約の通知あり
	NFC／おサイフケータイ ロック設定中
	本製品をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
	アップデート通知あり
	インストール完了
	USB機器を接続中
	Wi-Fi®オープンネットワーク利用可能
	モバイルデータ通信無効
	ソフトウェア更新通知あり
	ソフトウェア更新ダウンロード中
	ソフトウェア更新ダウンロード完了
	microSDメモリカードの検出／マウント中
	STAMINA®モード設定中
	いたわり充電中
	電池残量が少ない状態(30%以下)
	エラーメッセージ／注意メッセージ
	同期に問題あり
	緊急速報メールあり
	本製品のメモリの空き容量低下
	microSDメモリカードへのデータ転送の通知あり(内部ストレージの空き容量低下)
	表示しきれない通知あり
	USBテザリングをオンに設定中
	Bluetooth®テザリングをオンに設定中
	2つ以上のテザリングをオンに設定中
	スクリーンミラーリング接続中

*1 ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
	時刻	P.90
	電池の状態 100% 充電中 電池残量が少ない状態 充電が必要な状態	—
	電波状態 レベル4 圏外	—
	4G(LTE／WiMAX 2+)データ通信状態*1 4G(LTE／WiMAX 2+)使用可能 4G(LTE／WiMAX 2+)データの送信およびダウンロード中	—
	海外でGSM／UMTS／LTEネットワーク通信状態 海外でGSM／UMTS／LTEネットワーク使用可能 海外でGSM／UMTS／LTEネットワークの送信およびダウンロード中	—
	マナーモード(バイブレーション)設定中	P.31
	マナーモード(ミュート)設定中／通知の鳴動制限機能*2を「アラームのみ」または「重要な通知のみ」に設定中	P.31
	通知の鳴動制限機能*2を「サイレント」に設定中	—
	マイクオフに設定中	P.36
	ハンズフリーで通話中(スピーカーオン)	P.36
	NFCのReader/Writer, P2P機能をオンに設定中	P.69
	Wi-Fi®接続中	P.81
	Wi-Fi®通信中	—
	インターネット利用不可のWi-Fi®ネットワークに接続中	—
	Wi-Fi®テザリングをオンに設定中	P.81
	Bluetooth®機能をオンに設定中	P.80
	Bluetooth®機器と接続中	—
	機内モード設定中	P.85
	アラーム設定あり	P.70
	GPS測位中	P.89
	VPN接続中	P.85
	データセーバー設定中	P.85
	PINロック解除コードロック中、またはau Nano IC Card 04 が未挿入	P.14, P.19

*1 「LTE」[WiMAX 2+]の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。

回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

*2 クイック設定パネル(▶P.30)のクイック設定ツールから設定できます。ご利用になる場合は、あらかじめ「編集」をタップして「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定してください。

memo

◎「システムアイコン」(▶P.86)でステータスバーに表示するアイコンを選択できます。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、通知アイコンの詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にスライド



① クイック設定ツール

クイック設定ツール(▶P.30)の一部が表示されます。タップして各機能のオン／オフを設定できます。

② 通知

通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。ただし、通知内容によっては削除できない場合があります。通知を左右にドラッグして表示される「⚙」をタップするか、通知をロングタッチすると、通知設定を変更できます。

③ クイック設定パネルを開く

クイック設定パネル(▶P.30)を開きます。

④ 通知を開く／閉じる

表示しきれない通知内容や操作メニューを開きます。ただし、通知によっては表示されない場合や、タップしても通知が開かない場合があります。アイコンが表示されていない場合でも、通知を下にドラッグするか、通知上でピンチアウト(▶P.24)すると、通知を開ける場合があります。

⑤ 操作メニュー

通知を開くと「発信」や「削除」などの操作メニューが表示される場合があります。
通知によっては、操作メニューの項目をタップして、通知パネル上でメッセージ(SMS)の返信などの操作ができる場合があります。

⑥ すべて削除

通知パネル内の表示をすべて削除します。通知内容によっては削除できない場合があります。

memo

- ◎通知パネルを閉じるには、**[◀]**をタップするか、通知パネルを上にはスライドします。
- ◎ステータスバーに通知アイコンが表示されていない場合でも、本製品の状態を示す通知が表示されることがあります。
- ◎ロック画面で下にスワイプ(フリック)しても通知を確認できます(画面ロックの設定後に発生した新着通知や一部の通知は、操作をしなくても表示されます)。「ロック画面の通知」(▶P.86)でロック画面に通知を表示させないように設定したり、「ロック画面における通知表示の維持」(▶P.86)でロック画面に通知を表示させ続けるように設定したりすることもできます。

クイック設定パネルについて

機能のオン/オフなどを設定できます。

1 2本の指でステータスバーを下にスライド



① 設定

設定メニューを表示します(▶P.84)。

② クイック設定パネルを閉じる

クイック設定パネルを閉じて、通知パネルを表示します。

③ クイック設定ツール

タップして各機能のオン/オフなどを設定できます。

④ 現在表示位置

クイック設定ツールのページ枚数と現在表示位置を示します。クイック設定ツールを左右にフリックするとページを切り替えられます。

⑤ 編集

編集画面を表示して、クイック設定ツールの追加や削除、並び順の変更ができます。
編集画面で**[⚙]**→**[リセット]**と操作すると、初期状態に戻します。

memo

- ◎クイック設定ツールをロングタッチすると、各項目の設定画面などが表示されます。
- ◎通知パネルを下にスライドしたり、ロック画面でステータスバーを下にスライドしても、クイック設定パネルを表示できます。
- ◎クイック設定パネルを閉じるには、**[◀]**をタップするか、クイック設定パネルを上にはスライドします。

通知LEDについて

通知LEDの点灯/点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示します。
橙の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示します。
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示します。
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示します。
白の点滅	不在着信、新着Gmail、新着SMSがあることを示します。 ^{※1}

※1 画面のバックライトが消灯中に点滅します。

memo

- ◎電源オフの状態では**[⏻]**を押した際に通知LEDが赤色で数回点滅する場合は、電池残量が十分ではありません。
- ◎電源オフの状態で充電を開始すると通知LEDが赤く点灯しますが、充電状況をお知らせする画面が起動すると、電池残量を示す色で通知LEDが点灯します。

本製品内やウェブサイトを検索する

1 ホーム画面でGoogle検索をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。
フィードの説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

検索候補が入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から検索候補を選択/ソフトウェアキーボードの**[Q]**

memo

- ◎手順2でアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。
- ◎ホーム画面で**[🔍]**→画面上部のアプリ検索バーをタップ→検索したいアプリの名前を入力すると、本製品内のアプリを検索できます。

音声で入力して検索する

1 ホーム画面でGoogle検索の**[🔍]**

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

3 一覧表示から項目を選択

検索の設定を行う

検索言語や、本製品内での検索対象などを設定できます。

1 ホーム画面で**[Google]**→**[Google]**

2 **[≡]**→**[設定]**

3 項目を選択

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可しない」/「許可」をタップしてください。

例:「ミュージック」アプリを初めて起動した場合

1 ホーム画面で**[🔍]**→**[ミュージック]**

確認画面が表示されます。

2 **[許可しない]** / **[許可]**

memo

- ◎許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎権限の設定を変更するには、ホーム画面で**[🔍]**→**[設定]**→**[アプリ]**→設定を変更するアプリをタップ→**[許可]**→変更する権限の**[🔍]** / **[🔍]**と操作します。
- ◎アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ◎本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

よく使う操作

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦／横画面表示を自動で切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替えることができます。

1 ホーム画面で[]→[設定]→[画面設定]

2 [機器が回転したときの表示]

3 [画面の表示も回転]

本製品の向きを変えても縦画面表示のままにする場合は「画面の表示は縦向きのまま」を選択します。

memo

- ◎表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎地面に対して水平に近い状態では、自動で縦／横画面表示が切り替わらない場合があります。

マナーモードを設定する

- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラーム、動画・音楽などの音声は消音されません。
- マナーモード設定中に音量キーの上を押して音量を上げたり、マナーモード(バイブレーション)設定中に「音設定」の「着信音の音量」(▶P.86)の音量を調節したりすると、マナーモードは解除されます。
- 音量調節バーの「」をタップすると、メディアの音量やアラームの音量を調節できます。ただし、アラームの音量は「時計」アプリの設定が優先されます。

マナーモード(バイブレーション)を設定する

1 音量キーの上または下を押す

2 []

音量調節バーのアイコンが (白色)に変わります。

マナーモード(ミュート)を設定する

1 音量キーの上または下を押す

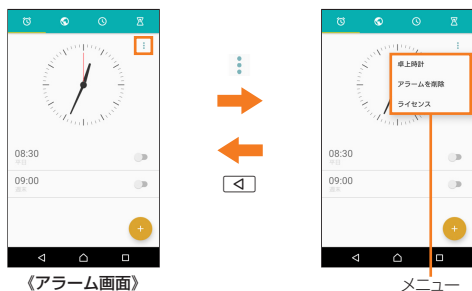
2 []→音量キーの下を押す

音量調節バーのアイコンが (グレー)に変わります。
音量調節バーの「今すぐ終了」をタップすると、マナーモード(ミュート)が解除されます。
クイック設定パネル(▶P.30)でクイック設定ツールの通知の鳴動制限機能を「アラームのみ」に設定しても、マナーモード(ミュート)を設定できます。通知の鳴動制限機能をご利用になる場合は、あらかじめ「編集」をタップして「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定してください。

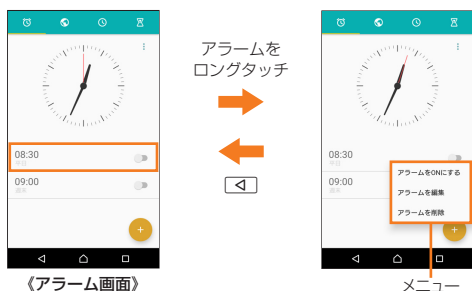
メニューを表示する

メニューを表示する方法は、オプションメニューアイコン()をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：アラーム画面で「」をタップする場合



例：アラーム画面でアラームをロングタッチする場合



memo

◎アプリ／機能によっては、メニューの表示方法が異なる場合があります。

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンなどが表示されているときは、タップして設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
	オンの状態です。
	オフの状態です。

データを複数選択する

データの削除や共有などをする際、データをロングタッチしたりオプションメニューなどから操作項目を選択すると、複数のデータをまとめて選択できる場合があります。

複数選択を行うには、選択するデータをタップしてハイライト表示させるか、チェックボックスにチェックを入れます。

- 選択を解除するには、ハイライト表示した／チェックボックスにチェックを入れたデータをもう一度タップします。

表示されている画像を撮る

現在表示されている画面を撮影できます(スクリーンショット)。

- テレビなど、画像の保存が禁止されているアプリでは撮影できません。
- 撮影した静止画は「アルバム」「スケッチ」「フォト」「RealTimes for au」の各アプリで確認することができます。

1 スクリーンショットを撮影する画面で と音量キーの下を同時に1秒以上長押し

スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

memo

- ◎ (1秒以上長押し)→[スクリーンショット]と操作しても、スクリーンショットを撮影できます。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなどに、複数のアプリを利用できる場合はアプリを選択する画面が表示されます。

例：連絡先からメールを送信するアプリを選択する場合

1 ホーム画面で[]→[連絡先]→連絡先を選択

2 メールアドレスを選択

アプリを選択する画面が表示されます。

3 アプリを選択→[今回のみ]／[常時]

- 利用するアプリを毎回確認する場合は「今回のみ」、常に同じアプリを利用する場合は「常時」を選択します。「常時」を選択すると、次回に同じ操作を行ったときにアプリを選択する画面は表示されません。
- 以前に同じ操作で「今回のみ」を選択した場合は、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリを使用」欄からアプリを選択してください。

memo

- ◎利用中の操作によっては、アプリを選択する画面で「今回のみ」／「常時」が表示されず、利用するアプリを毎回選択する必要があります。
- ◎「常時」に設定したアプリを解除するには、ホーム画面で[]→[設定]→[アプリ]→設定を解除するアプリをタップ→[標準で開く]→[標準設定をクリア]と操作します。

分割画面を利用する

画面を上下に分割して2つのアプリを同時に表示し操作できます。

- ・表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- ・分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1

アプリがサムネイル表示されます。

2 表示するアプリのサムネイルをロングタッチ→画面上部に表示される「分割画面を使用するにはここにドラッグします」までドラッグ

画面上部に「アプリで分割画面がサポートされていません」と表示された場合は、分割画面に表示できません。

3 画面下側から表示するアプリのサムネイルをタップ

アプリがサムネイル表示されていない場合は、をタップして表示するアプリを起動してください。

memo

- ◎ 分割画面のアプリは、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- ◎ 画面下側(横画面表示の場合は右側)に表示したアプリは切り替えができます。アプリを切り替えるには、をタップしてアプリのサムネイルを選択するか、をタップして表示するアプリを起動します。
- ◎ 分割画面の中央に表示される仕切り線のを上下にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。
- ◎ を画面上部または下部(横画面表示の場合は左端または右端)までドラッグするか、をロングタッチすると、分割画面を終了できます。
- ◎ 画面下部にが表示されているときは、分割画面が継続されています。全画面表示された場合は、をタップすると分割画面に戻ります。

緊急省電力モードを利用する

災害などの緊急時に機能を制限して消費電力を抑えることができます。

1 (1秒以上長押し)

2 [緊急省電力モード]→[注意事項]→注意事項を確認→[閉じる]

3 「注意事項を確認しました」にチェックを入れる→[有効にする]

本製品が再起動します。

memo

- ◎ 緊急省電力モードを解除するには、 (1秒以上長押し)→[緊急省電力モード]→[解除する]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[緊急省電力モードON]→[解除する]と操作します。緊急省電力モードが解除され、本製品が再起動します。
- ◎ 緊急省電力モード中に利用できるアプリなどの詳細については、ホーム画面で→[設定]→[バッテリー]→[緊急省電力モード]→[注意事項]→[利用可能なアプリ]と操作してご確認ください。
- また、緊急省電力モード利用中は、ホーム画面で→[緊急省電力モードについて]→[利用可能なアプリ]と操作してください。
- ◎ 緊急省電力モードの設定/解除を行うと、ホーム画面上のウィジェットの再設定が必要になる場合があります。

指紋認証機能を利用する

本製品には指紋センサー()が搭載されており、に登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証利用時のご注意

- ・指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- ・認証性能(指で指紋センサー()に正しく触れた際に指紋が認証される性能)は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、認証性能が改善されることがあります。
 - ・お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
 - ・指に汗や脂(ハンドクリームなど)が多く付着している
 - ・泥や油などで指が汚れている
 - ・手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - ・指が極端に乾燥している
 - ・太ったりやせたりして指紋が変化した
 - ・指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - ・登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本製品を使用したこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ・ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- ・指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ・指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック画面とセキュリティ]→[指紋設定]

指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋設定画面が表示されます。

2 [次へ]

以降は画面の指示に従って操作してください。登録が終了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示され、「他の指紋を追加」をタップすると他の指紋を登録できます。

- ・画面ロックの解除方法を設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。設定した解除方法は、指紋認証を利用できないときに使用できます。
- ・画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は設定した解除方法を入力し、画面の指示に従って操作してください。

memo

- ◎ 指紋設定画面では、次の操作ができます。
 - ・指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ→名前を入力→[OK]と操作します。
 - ・指紋を削除するには、登録した指紋をタップ→[削除]→[削除]と操作します。
 - ・他の指紋を登録するには、「指紋を追加」をタップします。

指紋認証を行う

1 ロック画面表示中に

登録した指でに触れます。
ロック画面で画面を上/左にスワイプ(フリック)すると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

memo

- ◎ 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、画面を上/左にスワイプ(フリック)して設定した画面ロックの解除方法を入力してください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

memo

- ◎ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示されている「」をタップします。
- ◎文字入力画面でテキストをロングタッチするとルーベが表示され、テキストを拡大表示できます。

POBox Plus 日本語入力 使い方ガイドを見る

本製品の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Plus」に設定されています。「POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド」では、POBox Plusを詳しく解説しています。

1 文字入力画面→クイックツールバーの「」

クイックツールバーについては、「文字入力のしかた」(▶P.33)をご参照ください。

2 【使い方ガイド】

キーボードを選択する

文字入力時に利用するキーボードを切り替えます。

1 文字入力中に画面右下の「」

キーボードの変更画面が表示されます。

2 利用するキーボードを選択

memo

- ◎キーボードの変更画面に利用するキーボードが表示されない場合は、ホーム画面で「」→「設定」→「言語と入力」→「画面上のキーボード」→「キーボードを管理」→利用するキーボードの「」と操作します。

ソフトウェアキーボードについて

POBox Plusでは、次のソフトウェアキーボードを使用できます。

- ・文字入力のしかたについては、「文字入力のしかた」(▶P.33)をご参照ください。

デンキー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択します(トグル入力)。フリック入力もできます。
PCキーボード	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力もできます。

memo

- ◎ソフトウェアキーボードを使用するほかに、手書き入力や音声入力などで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更

ツール一覧を表示すると、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、プラグインアプリ(拡張機能)の利用、設定の変更などができます。

1 文字入力画面→クイックツールバーの「」

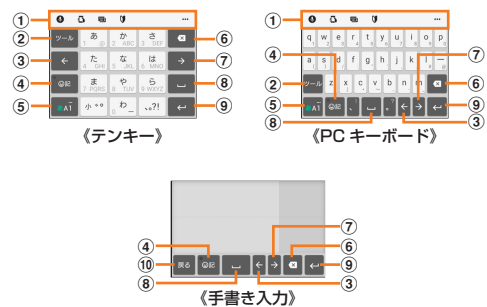
クイックツールバーについては、「文字入力のしかた」(▶P.33)をご参照ください。

2

キーレイアウト	ソフトウェアキーボード(デンキー／PCキーボード)を文字種ごとに設定します。
PCキーに切り替え／デンキーに切り替え	PCキーボード／デンキーに切り替えます。
片手キーボード	片手で入力できるキーボードサイズに変更します。
ユーザー辞書	▶P.34「ユーザー辞書に登録する」
設定	POBox Plusの設定を変更できます。
キセカエ	ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。
使い方ガイド	▶P.33「POBox Plus 日本語入力 使い方ガイドを見る」
かんたんメニュー	使い方ガイド: 「POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド」を表示します(▶P.33)。 かんたんキーボード: 見やすいデザインのソフトウェアキーボードに変更します。 元のキーボードに戻す: ソフトウェアキーボードの設定やデザインなどを初期状態に戻します。
手書き入力	手書き入力に切り替えます。
Google音声入力	Google音声入力に切り替えます。
Webからアプリ追加	ウェブサイトからプラグインアプリ(拡張機能)をダウンロードできます。
連絡先引用2.3	▶P.34「連絡先を引用する」

文字入力のしかた

ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力したい語句をタップすると、次々に文章を入力できます。



① クイックツールバー

よく使う機能のショートカットが表示されます。「」をタップすると、ツール一覧を表示します(▶P.33)。

クイックツールバーが表示されていない場合は、「」をタップします(「」が表示されていない場合は、「」／「」をタップして文字種を「ひらがな漢字」に切り替え则表示されます)。

②

クイックツールバーの表示／非表示を切り替えます。

デンキーで入力時に表示され、同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

数字入力時に表示され、半角／全角を切り替えます。

PCキーボードで英字入力時に表示され、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。

③

カーソルを左へ移動します。

④

記号、顔文字などの一覧の非表示／表示を切り替えます。

ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リストを切り替えます。

⑤

「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種を切り替えます。

「」ロングタッチ

ツール一覧を表示します(▶P.33)。

⑥

カーソル位置の前の文字を削除します。

- ⑦ カーソルを右へ移動します。
未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します(手書き入力を除く)。
- ⑧ スペースを入力します。
 ひらがな漢字入力時に、候補リスト内の語句をハイライト表示して選択します。
- ⑨ 改行します。
 ※ 1
変換確定前に表示され、文字を確定します。
※ 1 一部の画面では、 や 、、、 などが表示されます。
- ⑩ テンキー／PCキーボードに戻ります。

memo

- 候補リスト内の「」をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、「」または「」をタップします。
- 変換確定後に変換前の表示に戻すには、つながり予測候補などに表示される「」をタップします(手書き入力を除く)。
- 手書き入力では、次の点に注意してください。
 - ・濁点や半濁点は入力画面の中央より上側に入力
 - ・句読点や小文字は入力画面の中央より下側に入力
- 手書き入力では、次の操作ができます。
 - ・入力した文字の左上に表示されるアイコンをタップすると、入力文字に対する候補が表示されます。水色の文字が認識されている文字になり、候補リストの下に文字の種類別に色分けで表示されます。
 - ・入力した文字の右上に表示される「」をタップすると、入力した文字を削除できます。
 - ・2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、が表示されます。「」をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合できます。1文字の漢字が2文字として認識された場合などは、この操作で結合してください。

フリック入力について

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

例: 「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



トグル入力について

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。
同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、タップしたキーの色が戻るのを待ってから(約1秒)、次の文字を入力します(すぐに次の文字を入力したい場合は、「」をタップするとキーの色が戻ります)。キーの色が戻っている状態で「」をタップすると、直前に入力した文字と同じ文字が入力されます。

例: 「ああ」と入力する場合

1 「あ」を1回タップ→(キーの色が戻るまで)約1秒待つ

2 「あ」を5回タップ

または

1 「あ」を1回タップ→(すぐに)「」

2 「あ」を5回タップ

memo

- テンキーで「フリック入力」と「トグル入力」の入力方式を切り替えるには、文字入力画面→クイックツールバーの「」→[設定]→[キーボードと入力操作]→[入力操作]と操作し、項目を選択します。

テキストを編集する

文字入力中に編集したい文字をダブルタップしたり、ウェブページなどでコピーしたいテキストをロングタッチまたはダブルタップすると、選択した文字列の周辺に編集メニューが表示され、文字のコピー、切り取り、貼り付けなどの操作が行えます。

例: 文字入力中に入力した文字を切り取り／コピーして貼り付ける場合

1 文字入力を確定した後に編集したい文字をダブルタップ

2 「」／「」をドラッグして切り取り／コピーする範囲を選択

「」→[すべて選択]と操作すると、入力した文字列全体を選択できます。

3 [切り取り]／[コピー]

4 貼り付ける位置でロングタッチ→[貼り付け]

テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップし、「」→[貼り付け]と操作します。

memo

- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、編集メニューの表示が異なる場合があります。

連絡先を引用する

連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

1 文字入力画面→クイックツールバーの「」

クイックツールバーについては、「文字入力のしかた」(▶P.33)をご参照ください。

2 [連絡先引用2.3]→[連絡先]タブをタップ

3 引用する連絡先を選択

4 引用する項目にチェックを入れる→[OK]

引用した情報が表示されない場合は、文字入力欄をタップすると表示されます。

memo

- 「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先、および自分の連絡先が表示されます。

ユーザー辞書に登録する

あらかじめユーザー辞書に語句を登録しておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面→クイックツールバーの「」

クイックツールバーについては、「文字入力のしかた」(▶P.33)をご参照ください。

2 [ユーザー辞書]

3 []

4 「読み」の入力欄に読みを入力

5 「語句」の入力欄に語句を入力

6 [OK]

memo

- 登録した語句を削除する場合は、手順3で削除する語句にチェックを入れる→「」→[削除]と操作します。

文字入力の設定をする

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で「」→[設定]→[言語と入力]

2 [画面上のキーボード]→キーボードを選択

各入力方法の設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

紹介画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- POBox Plusで文字を入力している場合は、文字入力画面→クイックツールバーの「」→[設定]と操作しても、POBox Plusの設定画面が表示されます。
- キーボードが表示されない場合は、手順2で[画面上のキーボード]→[キーボードを管理]→利用するキーボードの「」と操作します。

電話をかける36

電話を受ける37

シンクコールについて38

伝言メモを利用する38

自分の電話番号を確認する38

電話をかける

1 ホーム画面で[📞]→[🌐]

電話番号入力画面が表示されます。
電話番号が未入力の状態で[📞]をタップすると、通話履歴の最後に発信した電話番号が入力されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴と部分的に一致する電話番号が表示されます。
✖：入力した数字を1桁削除
✕（ロングタッチ）：すべての数字を削除
[📞]→「メッセージを送信」をタップするとSMS作成画面が表示されます。
「新しい連絡先を作成」または「連絡先に追加」をタップすると連絡先に番号を登録できます。

3 [📞]→通話→[📞]

通話中に音量キーを押すと、通話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。

memo

◎ 発信中／通話中に顔などによって画面をおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎ 送話口（マイク）をおおっても、相手に声が伝わりますのでご注意ください。相手にこちらの声を聞こえないようにするには、「ミュート」をタップしてマイクをオフにします。

電話番号入力画面のメニューを利用する

1 ホーム画面で[📞]→[🌐]→電話番号を入力→[:]

2秒間の停止を追加※1	電話番号の後ろに「.」を追加します。「.」の後ろに入力した番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
待機を追加※1	電話番号の後ろに「,」を追加します。「,」の後ろに入力した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。
プレフィックスを追加	プレフィックス番号を追加します。

※1 電話番号が入力されている場合にのみ表示されます。

通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
	シンクコールの操作メニューを表示／非表示にします。 ・通話相手がシンク機能を利用できる場合にが表示されます。
	通話を終了します。
音声出力先	ハンズフリーで通話できます。 タップするとスピーカーから相手の声が聞こえるようになります。再度タップすると元に戻ります。
ミュート	マイクをオフにします。 タップすると相手にこちらの声が聞こえなくなります。再度タップすると聞こえるようになります。
ダイヤルキー	プッシュ信号を送信します。
通話を保留	通話を保留／保留を解除します。
通話を追加	別の相手に電話をかけます。

ポーズ(,) (;)を入力する

電話番号の後ろにポーズと番号を入力して電話をかけ、プッシュ信号として送信できます。

1 ホーム画面で[📞]→[🌐]→電話番号を入力

2 [:]→[2秒間の停止を追加]／[待機を追加]→番号を入力

「.」と番号を入力して電話をかけた場合は、電話がつながって約2秒後に、入力した番号がプッシュ信号として送信されます。
「,」と番号を入力して電話をかけた場合は、電話がつながると入力した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけいない場合があります。
- ◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否設定がオンの状態で緊急通報をかけると、着信拒否設定は自動的にオフになります。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面で[📞]→[📞]タブをタップ

最近の通話履歴が表示されます。

- 👉：発信
- 👈：着信
- 👉👈：不在着信
- 📞：シンクコール対応の連絡先

同じ連絡先に対して連続した4件以上の通話履歴がある場合は件数が表示されます。
通話履歴をタップ→[通話詳細]と操作すると通話詳細画面が表示されます。

2 電話をかける通話履歴の[📞]

選択した連絡先に発信されます。
・通話履歴をタップして表示されたメニューで、SMSの作成や連絡先への登録などの操作を行うことができます。

memo

- ◎ 通話履歴を「不在着信」「着信」「発信」に分類して表示するには、ホーム画面で[📞]→[:]→[通話履歴]と操作します。
- ◎ 通話履歴を削除するには、ホーム画面で[📞]→[📞]タブをタップ→通話履歴をタップ→[通話詳細]→[📞]と操作します。
- ◎ すべての通話履歴を削除するには、ホーム画面で[📞]→[:]→[通話履歴]→[📞]→[通話履歴を削除]→[OK]と操作します。
- ◎ 通話履歴をロングタッチすると番号のコピーや、その番号からの着信およびSMSを拒否する設定などができます。

ボイスパーティーで電話をかける

複数人（自分を含め最大30人）で同時に通話できます。

1 ホーム画面で[📞]→[:]→[ボイスパーティー]

ボイスパーティー履歴が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 [⊕]

履歴をタップすると、同じメンバーにボイスパーティーで発信します。

3 メンバーの追加方法を選択

「連絡先から選択」をタップしてメンバーを選択した場合は「

4 [📞]→通話→[📞]

通話中にメンバーをタップすると、選択したメンバーのみ通話を終了するなどの操作ができます。



memo

- ◎ボイスパーティーを利用するにはお申し込みが必要です。
- ◎発信者には通話先に応じた通話料(人数分)が課金されます。
- ◎発信先として、緊急通報番号(110、119、118)や時報(117)などの特番は対象外です。
- ◎「発信者番号通知」の設定がオフの場合は、ボイスパーティーでの発信はできません。
- ◎発信後、どの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーは終了されます。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時に利用することはできません。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティー中に割込着信を利用することはできません。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティー中にプッシュ信号を送信することはできません。
- ◎着信者がお留守サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加することはできません。
- ◎auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモでの応答はせず、着信が終了します。
- ◎着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセス番号「010」を入力

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の例外があります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→



memo

- ◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
 - ◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
 - ◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
 - ◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話からは 局番なしの157番(通話料無料)
一般電話からは **☎0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

かかってきた電話に出る

■ バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に表示された操作メニューで[受話]／[スピーカー受話]

「スピーカー受話」をタップするとハンズフリー通話になります。
「表示している画面のまま受話する」(▶P.38)が「OFF」の場合は、着信中に「応答」をタップします。

2 通話→[終話]

■ バックライト消灯中やロック画面表示中に着信した場合

1 着信画面でを右にドラッグ

■ 電話がかかってきた場合の表示について

初期状態では、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。連絡先に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がない場合は、理由が表示されます。

「非通知」「公衆電話」「通知不可能※1」

※1 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

- ◎LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ通信」(▶P.85)をオフにご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎電話に出なかったときはステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと着信のあった時間や電話番号、または連絡先に登録されている名前が表示されます。
- ◎不在着信が1件のときは、通知パネルから相手に電話をかけたりメッセージを送信したりできます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎着信時に音量キーまたはを押すと、着信音やバイブレータを消すことができます。

を押して画面のバックライトが消灯した場合は、再度押すと点灯します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- ◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
 - ◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が一時的に停止します。
 - ◎連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。
 - ◎相手が電話番号を通知しない場合は、非通知などの理由が表示されます。
- 着信中にシンクコールの操作メニューが表示されない場合は
- ◎本体メモリの空き容量が少ない状態では、着信時にシンクコールの操作メニューが表示されないことがあります。その場合は、通知パネルから着信応答を行うか、不要なアプリをアンインストールしてメモリの空き容量を増やしてください。また、メモリ負荷の高いアプリ等を長時間使用する場合は、事前にシンクコール設定で「表示している画面のまま受話する」(▶P.38)を「OFF」にしておくことをおすすめします。

着信に伝言メモで応答する

■ バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信中にステータスバーを下にスライド→電話の通知をタップ

「表示している画面のまま受話する」(▶P.38)が「OFF」の場合は、通知パネルの上部をタップします。

2 [着信オプション]→[伝言メモを起動]

■ バックライト消灯中やロック画面表示中に着信した場合

1 [着信オプション]→[伝言メモを起動]



memo

- ◎伝言メモが録音されると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライド→伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリストが表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 伝言メモを削除するには、伝言メモリストをタップ→と操作します。

着信を拒否する

着信拒否の操作をすると電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

■ バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

1 着信中に[拒否]

着信音が止まって電話が切れます。

■ バックライト消灯中やロック画面表示中に着信した場合

1 着信画面でを左にドラッグ

着信音が止まって電話が切れます。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

■ バックライト点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合

- 1 **着信中にステータスバーを下にスライド→電話の通知をタップ**
「表示している画面のまま受話する」(▶P.38)が「OFF」の場合は、通知パネルの上部をタップします。
- 2 **[着信オプション]→送信したいメッセージをタップ**
「新規メッセージ作成」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

■ バックライト消灯中やロック画面表示中に着信した場合

- 1 **[着信オプション]→送信したいメッセージをタップ**
「新規メッセージ作成」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo

◎メッセージを編集／追加する場合は、ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[応答拒否メッセージ]→既存のメッセージまたは空欄を選択して編集→[OK]と操作します。

通話履歴の電話番号を着信拒否に設定する

通話履歴の電話番号を着信拒否に設定し、電話やメッセージ(SMS)を拒否することができます。

- 1 ホーム画面で[]→[]タブをタップ
- 2 **通話履歴をロングタッチ→[番号を拒否設定]→[追加]**
 - 拒否設定を解除するには、手順2で通話履歴をロングタッチ→[番号の拒否設定を解除]→[拒否設定を解除]と操作します。

memo

◎拒否設定した電話番号を確認するには、ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[着信拒否設定]→[番号指定拒否]と操作します。

シンクコールについて

操作画面のまま、通話することができます。さらに、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用して、通話相手と表示中のスマホの画面、カメラで映している映像、お互いの位置情報、手書きの文字や絵をリアルタイムで共有する機能です。

通話中に利用できる操作

通話中に/が表示されている場合は、タップして操作メニューの表示／非表示を切り替えられます。シンクコールの操作メニューでは、次の操作ができます。

- 通話相手がシンク機能を利用できる場合にが表示されます。
- 利用方法については、ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[シンクコール設定]→[シンクコールについて]と操作して使用方法をご参照ください。

操作	説明
スピーカーON／スピーカーOFF	ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
終話	通話を終了します。
画面シンク※1	通話中に画面を相手に送信します。
カメラシンク※1	カメラで写している映像を相手に送信します。
位置シンク※1	お互いの位置情報を地図上に表示します。
手書きシンク※1	画面上で手書きの文字を共有します。
メディア	利用中の他の機能の音量を調節します。
通話	通話中の音量を調節します。
	▶P.38[シンクコールを設定する]
×	操作メニューを閉じます。

※1 通話相手がシンク機能を利用できる場合のみ操作できます。

・「画面シンク」「カメラシンク」「位置シンク」「手書きシンク」を終了する場合は[]→[シンク終了]と操作します。

シンクコールを設定する

1 ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[シンクコール設定]

2	シンクコールについて	シンクコールの使用方法を表示します。
	シンクコールを有効にする	シンクコールを利用するかどうかを設定します。
	表示している画面のまま受話する	「受話」をタップして着信に回答した際に、操作中の画面表示を継続するかどうかを設定します。「OFF」に設定した場合は、電話画面を表示します。
	手書きシンクの自動保存	手書きシンクを利用して終了した際に、手書きシンクした画像を自動でデータフォルダへ保存するかどうかを設定します。
	通話終了後のお知らせ	通話相手がシンク機能を利用可能な場合、通話終了後にお知らせを表示します(通話相手が連絡先に登録されている場合のみ)。
	利用規約	シンクコールの利用規約を表示します。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
	バージョン情報	シンクコールアプリのバージョンを確認します。

3 [閉じる]

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面で[]→[設定]

2 [通話設定]→[伝言メモ]

説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップします。

3	伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
	応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
	ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
	応答メッセージ	応答メッセージを日本語や英語に切り替えたり、録音をします。録音する場合は「応答メッセージの新規作成」をタップして、表示される画面の指示に従って操作してください。
	伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

memo

◎録音された伝言メモを削除するには、ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[伝言メモ]→[伝言メモリスト]→伝言メモをロングタッチ→[削除]／[すべて削除]→[OK]と操作します。

ステータスバーから伝言メモを確認する

伝言メモが録音されると、ステータスバーにが表示されます。

1 ステータスバーを下にスライド→伝言メモの通知をタップ

伝言メモリストが表示され、録音された伝言メモを確認できます。

- 伝言メモをタップ→[]と操作すると、伝言メモを削除できます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で[]→[連絡先]

連絡先一覧画面が表示され、自分の電話番号が確認できます。

メールについて.....	40
Eメールを利用する	40
Eメールの表示モードを切り替える.....	40
Eメールを送信する.....	42
Eメールを受信する.....	43
新着メールを問い合わせて受信する.....	44
Eメールを検索する.....	44
Eメールをフォルダモードで確認する.....	44
Eメールを会話モードで確認する.....	47
Eメールを設定する.....	48
バックアップしたEメールを復元する.....	50
迷惑メールフィルターを設定する.....	51
SMSを利用する.....	52
SMSを送信する.....	52
SMSを受信する.....	52
SMSを返信／転送する.....	52
SMSを保護／保護解除する.....	52
SMSの電話番号を連絡先に登録する.....	52
SMSを検索する.....	52
SMSを削除する.....	52
SMSを設定する.....	53
PCメールを利用する	53
PCメールのアカウントを設定する.....	53
PCメールを送信する.....	54
PCメールを受信する.....	54
PCメールを返信／転送する.....	54
PCメールを削除する.....	54
Gmailを利用する	54
Gmailを起動する.....	54
Gmailを送信する.....	54
Gmailを受信する.....	54
Gmailを返信／転送する.....	54

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.40)。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話の間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.52)。

■ PCメール

「Eメール」アプリを利用して、Exchange ActiveSyncアカウントや一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます(▶P.53)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます(▶P.54)。

Eメールを利用する

- ・Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。
- ・Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ◎ ホーム画面で[設定]→[アプリ]→[Eメール]→[ストレージ]と操作し、「アップデータの削除」や「データを削除」を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

- ◎ 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。
- Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- ◎ 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- ◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.50)をご参照ください。
- ◎ Eメールの文字サイズは変更できます。ホーム画面で[設定]→[画面設定]→[フォントサイズ]と操作して、文字サイズを選択してください。
- ◎ アプリが使用する各機能に対し、アクセス権限の許可操作が必要となりました。ファイル添付、ファイル保存、バックアップ/復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ(Eメールに必要な許可のお願い)が表示される場合には、「許可」をお願いします。

Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと、相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[切替]

2 [切替]

表示モードが切り替わります。



《フォルダモード》

《会話モード》

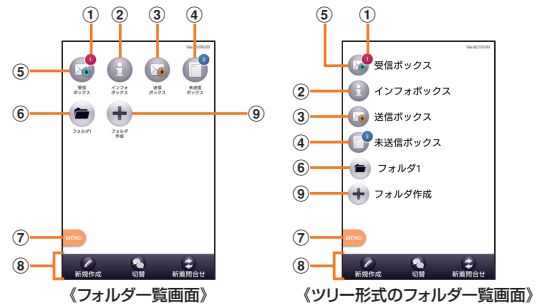
memo

◎ 本書では、フォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダ一覧画面》

《ツリー形式のフォルダ一覧画面》

- 1 フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- 2 インフォボックス
- 3 送信ボックス
- 4 未送信ボックス
- 5 受信ボックス
- 6 作成したフォルダ
- 7 メニューボタン
- 8 アクションバー
- 9 フォルダ作成

■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

- 1 ● : 未読のEメール

- 2 件名

- 3 宛先/差出人の名前またはメールアドレス

● : 連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合

● : 連絡先未登録のアドレスと送受信した場合

※ ●や●の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.48)で変更することができます。「●」をタップすると背景色を変更することができます。背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.48)で戻すことができます。

メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前/写真が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

連絡先に登録されていない場合、差出人名称も設定されていない場合は、メールアドレスが表示されます。

※ 連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

- 4 メニューボタン

- 5 2行表示/本文プレビュー表示切替ボタン

- 6 フラグ設定Eメール一覧表示ボタン

一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示できます。

⑦ アイコン

- ✉: 返信したEメール
- ➡: 転送したEメール
- ✉➡: 返信／転送したEメール
- 📎: 添付データあり
- 🔒: 保護されたEメール
- 📌: フラグ設定Eメール
- 📌: フラグ未設定Eメール
- ⚠: 送信に失敗したEメール
- 🕒: 送信予約Eメール
- 🔄: 自動再送信Eメール

⑧ アクションバー

⑨ 受信／送信切替スライダ

フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

memo

○ 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



- ① **Sub**: 件名
- ② **受信メール**
 - From: 差出人の名前またはメールアドレス
 - To / CC: 宛先の名前またはメールアドレス
- 送信メール**
 - To / CC / BCC: 宛先の名前またはメールアドレス
- ③ **通常添付**
 - 📎: 通常添付 (保存失敗)
 - 📎: インライン添付
 - 📎: 未受信の添付データ
- ④ **本文表示エリア**

本文表示エリアで、ピンチ (▶P.24) すると、本文表示を拡大／縮小することができます。
- ⑤ **前のEメール／次のEメールを表示**
- ⑥ **詳細情報の表示／非表示**
- ⑦ **アイコン**
 - ⚠: 送信に失敗したEメール
 - ✉: 返信したEメール
 - ➡: 転送したEメール
 - ✉➡: 返信／転送したEメール
 - 👤: 複数の宛先あり
 - BCC: Bccの宛先で受信したEメール
 - 🕒: 送信予約Eメール
 - 🔄: 自動再送信Eメール
 - 🔒: 保護されたEメール
 - 📌: フラグ設定Eメール
- ⑧ **メニューボタン**
- ⑨ **アクションバー**

■ 会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



① すべて表示／お気に入り表示切替タブ

すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② スレッド

👤: 連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合

👤: 連絡先未登録のアドレスと送受信した場合

※ 👤 や 👤 の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」 (▶P.48) で変更することができます。「👤」をタップすると背景色を変更することができます。背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」 (▶P.48) で戻すことができます。

③ (赤色): 新着Eメールあり

● (青色): 未読Eメールあり

④ メニューボタン

⑤ インフォボックス

インフォボックスメールを表示できます。

※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

⑥ ★ (黄色): お気に入り

★ (灰色): お気に入り解除

⑦ アクションバー

■ スレッド内容表示画面の見かた



- ① **スレッド名称 (相手先)**

連絡先未登録の場合は、Eメールアドレスが表示されます。
- ② **受信したEメール**
- ③ **続き表示ボタン**

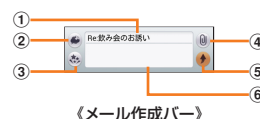
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは「🔼」をタップします。
- ④ **🕒: 送信予約Eメール**
- 🔄: 自動再送信Eメール**
- ⑤ **メニューボタン**
- ⑥ **宛先一覧表示ボタン**

送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
- ⑦ **アイコン**

「Eメール詳細表示画面の見かた」 (▶P.41) の⑦をご参照ください。
- ⑧ **詳細表示ボタン**

Eメール詳細表示画面を表示します。
・ Eメールをロングタッチ→[詳細表示] と操作してもEメール詳細表示画面を表示できます。
- ⑨ **送信したEメールや送信予約中のEメール**
- ⑩ **メール作成バー**

■ メール作成バーの見かた



- ① **件名入力欄**

「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
- ② **コミコミボタン**

コミコミアプリの添付画像を登録するときに使用します。
- ③ **D絵文字ボタン**

デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
- ④ **添付ボタン**

データを添付するときに使用します。
- ⑤ **送信ボタン**

メール送信を実行します。
- ⑥ **本文入力欄**

メールの本文を入力します。

Eメールを送信する

■フォルダモードでEメールを送信する場合

1 ホーム画面で[📧]

2 [新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

3 [📧]

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

4	アドレス帳引用	連絡先のメールアドレスを宛先に入力します。
	アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
	メール受信履歴引用／メール送信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 メールアドレスにチェックを入れる→[選択] ・[📧]→[削除]→メールアドレスにチェックを入れる→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
	プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
	貼り付け※1	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合にのみ表示されます。

5 [件名を入力]→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 [完了]→[送信]→[送信]

■会話モードでEメールを送信する場合

1 スレッド一覧画面→[新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信の場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、手順4へ進みます。

2 [📧]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.42)の「フォルダモードでEメールを送信する場合」の手順4をご参照ください。

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

4 [件名を入力]→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 [📧]→[送信]

memo

- ◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
- ◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「ー(長音)」「・(濁点)」、「」は入力できません。
- ◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- ◎ 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ◎ また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- ◎ 「送信時確認表示」(▶P.49)は非表示に設定することもできます。
- ◎ フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- ◎ あらかじめ「自動再送信」(▶P.49)をオンにすると、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また「送信予約」をタップすると、日時指定送信、あるいは本製品が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の[📧]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.42)の「フォルダモードでEメールを送信する場合」の手順4へ進みます。「宛先を追加」/「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレス入力欄の[✕]→[削除]／[OK]

memo

- ◎ フォルダモードでは入力済みのアドレスの「📧」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■フォルダモードで送信予約する場合

1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を選択→[設定]

4 送信する時間を選択→[設定]

未送信ボックスに📧が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [📧]→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を選択→[設定]

4 送信する時間を選択→[設定]

スレッド内容表示画面に📧が付いた送信予定のEメールが表示されます。

memo

- ◎ Eメールの自動送信は20件まで設定できます。
- ◎ 送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更したりしようとすると、いったん送信予約は解除されます。
- ◎ 電波状況などにより、指定した日時に送信できない場合があります。
- ◎ 指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- ◎ 日時指定したメールが海外で送信された場合、料金が高額となることがありますのでご注意ください。
- ◎ 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信が圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→[添付する]

会話モードではスレッド内容表示画面で「📎」をタップします。

2	ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
	ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
	カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
	カメラ(動画)	動画を録画して添付します。
	ストレージ	ファイル種別を選択して内部ストレージまたはmicroSDメモリーカードのデータを添付します。
	その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

memo

- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- ◎ 1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際は、静止画データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合は、「画像サイズをケータイ用に変更」にチェックを入れてください。
- ◎ 受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
- ◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- ◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの[✕]→[削除]と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で「📎」をタップします。

2 [D絵文字を探す]

3	メニューリストから探す	au Webポータルのメニューリストに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
	お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [ストレージ]

■D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定]→[編集]

3 「三」を移動したい位置までドラッグ→[完了]

- 追加したカテゴリは「削除」により削除ができます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめau Marketから対応するアプリをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→[コミコミ]

会話モードではスレッド内容表示画面で「」をタップします。コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面／会話モードのスレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→

2	削除	Eメールを削除します。 ・会話モードのときのみ選択できます。
	検索	▶P.44「Eメールを検索する」 ・会話モードのときのみ選択できます。
	送信予約	▶P.42「送信予約をする」 ・会話モードのときのみ選択できます。
	アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
	プロフィール引用	本製品に登録されている自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
	挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.49）。
	装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾してメールを作成することができます。

■本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→「」／「」で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4	文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
	文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
	文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
	背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
	挿入	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存された画像やアルバムの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

- ◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.42)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎手順4で「」→「装飾全解除」→「解除」と操作すると、装飾を解除できます。
- ◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示されます。
- ◎会話モードでは、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau Marketから対応するアプリをダウンロードしてください。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

- Eメールの受信が完了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知も「基本通知設定」(▶P.49)または「個別通知設定」(▶P.49)でオフにすることができます。
- ・端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
 - ・ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます（初期状態ではオフに設定されています）。



《通知ポップアップ》

- ・ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ステータスバーに名前、メールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。
新着Eメールがあるフォルダには（赤色）と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには（青色）と件数が表示されます。

3 [受信ボックス]／フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- ◎Eメールやその他の機能を実行中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合、以降の内容は削除されます。
- ◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細表示画面を表示

2 添付データをタップ→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。受信完了後、もう一度添付データをタップ→「表示」と操作してください。

memo

- ◎通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類の、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージまたはmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

選択した画像が内部ストレージ、またはmicroSDメモリカードに取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに保存されます。

memo

◎ 添付画像を保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.43)。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URL を利用する

1 Eメール詳細表示画面／会話モードのスレッド内容表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のメールアドレスをタップ

3	Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。
	アドレス帳登録	選択したメールアドレスを連絡先に登録します。
	アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
	振分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 [新規振分けフォルダ作成]／[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→[保存] ・ ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 ・ 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.46「フォルダを作成／編集する」
	拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.51「迷惑メールフィルターを設定する」
	迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

※ 機能や条件により選択できる項目は異なります。

■ 件名をコピーする場合

2 Eメール詳細表示画面で件名をタップ→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3	音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
	特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
	特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
	au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 ・ au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
	SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.52「SMSを送信する」
	アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
	電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3	開く	選択したURLのページを表示します。
	URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎ 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

1 ホーム画面で[📧]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎ 会話モードではスレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせで受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で[🔍]

2 [🔍]→[検索]／[全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [🔍]／ソフトウェアキーボードの[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎ 「🔍」をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[📧]

フォルダ一覧画面が表示されます。
受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、受信メール一覧画面で新着メールを確認すると青丸に変わります。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。
[返信]: 返信のEメールを作成
[転送]: 転送のEメールを作成
[保護]／[保護解除]: Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]: Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
🔍: 前のEメールを表示
🔍: 次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]／フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。
[再送信]: 同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]: コピーして編集
[保護]／[保護解除]: Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]: Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
🔍: 前のEメールを表示
🔍: 次のEメールを表示

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

2【未送信ボックス】

未送信メール一覧画面が表示されます。
送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールをタップした場合は、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
[送信]:宛先が入力されているEメールを送信
[編集]:Eメールを編集
[コピー編集]:保護されたEメールをコピーして編集
[保護]/[保護解除]:Eメールを保護/保護解除
[フラグ]/[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける/フラグを解除
👉:前のEメールを表示
👈:次のEメールを表示

memo

- ◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- ◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメールは削除されません。
- ◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態では受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面/送信メール一覧画面/未送信メール一覧画面/検索結果一覧画面→[🔍]

2 削除	Eメールを削除します。 削除するEメールにチェックを入れる→[削除]→[削除] ・「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 ・保護されたEメールは選択できません。
検索	▶P.44「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 移動するEメールにチェックを入れる→[移動]→移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.46)。 ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
保護/解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 保護/解除するEメールにチェックを入れる→[保護]/[解除] ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,750件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 フラグを付ける/外すEメールにチェックを入れる→[つける]/[解除] ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。
フォルダ編集	表示中の受信ボックス/フォルダを編集します。 ▶P.46「フォルダを作成/編集する」

※画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面/送信メール一覧画面/未送信メール一覧画面/検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ

2 返信	Eメールに返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 ・宛先には、差出人/返信先のメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 ・宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
保護/保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ/フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認・編集します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.46)。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.51「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面→[]

2	削除	Eメールを削除します。
	転送	転送するEメールを作成します。 - 送信メール作成画面が表示されます。 - 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 - 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 あらかじめフォルダを作成してください(▶P.46)。
	本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップ、または「◀」／「▶」でカーソルを移動→[選択開始]→「◀」／「▶」で選択範囲を指定→[コピー] - Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 - 本文選択画面をダブルタップ→「●」／「●」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 - 絵文字やインライン画像もコピーできます。 - 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
	迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
	送信予約情報	送信予約日時を確認・編集します。
	送信予約解除	送信予約を解除します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 [ISO-2022-JP]「Shift_JIS」[UTF-8]「EUC-JP」[ASCII] 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。

※ 画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

フォルダー一覧画面でできること

1 フォルダー一覧画面→[]

2	全検索	▶P.44「Eメールを検索する」
	フォルダ編集	▶P.46「フォルダを作成／編集する」
	フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを入れる→[削除]→[削除] - ロックされたフォルダは選択できません。 - フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
	再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
	同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

memo

同期設定について

- タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末(ローカル)」から「メールサーバ」に変更となります。
- 同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
- その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダー一覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 []

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 []→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

memo

○ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダー一覧画面→[]→[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振り分け条件を設定する場合

2 [振り分け条件追加]→[]

3	メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。 メールアドレスを入力→[OK]→[保存] 「[]」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、メールアドレスを登録できます。
	ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。 ドメインを入力→[OK]→[保存] 「[]」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
	件名	件名を振り分け条件に登録します。 件名を入力→[OK]→[保存] 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※ 1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→[保存]

memo

- 振り分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- 「振り分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「[]」をタップして、条件を編集したり、削除したりすることができます。
- 振り分けの対象となるメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>...>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知LEDの色を設定できます。

1 フォルダー一覧画面→[]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダを選択

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3	着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット		Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音		端末本体にプリセットされている、またはアプリを利用して着信音、通知音を設定します。
	ストレージから探す		microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他		他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
LED		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDの色を設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯		Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」	

4 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「プライバシー設定」でフォルダロック解除のパスワードを設定してください(▶P.48)。

1 フォルダー一覧画面→[]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダを選択

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダー一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する場所までドラッグ



memo

◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で[]→[切替]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。
新着Eメールがあるスレッドには●(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには●(青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→[]

2	削除	選択したスレッドをすべて削除します。 削除するスレッドにチェックを入れる→[削除]→[削除] ・スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・「全選択」ですべてのスレッドを選択することもできます。 ・スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
全検索		▶P.44「Eメールを検索する」
件名を表示／件名を非表示		件名の表示／非表示を設定します。
同期設定		タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→[]

2	削除	Eメールを削除します。
検索		▶P.44「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 - 送信メール作成画面が表示されます。 - 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 - 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面で[]

2 []→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

表示設定	▶P.48「表示に関する設定をする」	
送信・作成設定	▶P.49「送信・作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.49「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.49「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問にチェックを入れる→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK] ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット] ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 パスワードを入力→[OK] ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能の有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.50「バックアップしたEメールを復元する」	
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定	改善情報送信設定	EメールアプリやEメールサービスの品質の維持・向上のために、Eメール送受信時の品質／電波状況、絵文字などのコンテンツ利用状況の取得・収集に関する設定を行います。 [改善情報送信設定]→[設定する]／[設定しない]→[完了]
	auアプリサイドメニュー連携設定	サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。 また、当該設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。 [auアプリサイドメニュー連携設定]→[設定する]／[設定しない]→[完了]
プライバシーポリシー	プライバシーポリシー(個人情報保護方針)について表示します。	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[表示設定]

アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。	
マガジンビュー	マガジンビューを使用するかどうかを設定します。	
外部画像表示アドレス	外部のWebサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面)／背景画像(横画面)	背景画像を設定します。 [設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]
	フォルダ表示形式	フォルダ一覧の表示形式をグリッド表示かツリー表示に切り替えます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

2	返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 [設定する]→返信先のメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]
	差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 [設定する]→差出人名称を入力→[OK]
	冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 [設定する]→冒頭文(全角833/半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・冒頭文には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
	署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 [設定する]→署名(全角833/半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・署名には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
	返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、チェックを入れてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
	送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
	自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
	宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]

2	着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット		Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音		端末本体にプリセットされている、またはアプリを利用して着信音、通知音を設定します。
	通知音		
	ストレージから探す		microSDメモリーカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他		他のアプリを利用して着信音を設定します。
	バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]/パターンを選択→[OK]
	LED		Eメール受信時の通知LEDの色を設定します。 [OFF]/パターンを選択→[OK]
	着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
	ステータスバー通知		Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」
	送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
	通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」
	メール受信時の画面点灯		Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」
	電源キー押下による着信音鳴動停止		着信音鳴動中に [🔇] を押したときに、画面の点灯または消灯を契機に、鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用]/[メール受信履歴引用]/[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択

「メール受信履歴引用」/「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを入れる→[選択]と操作します。

4	着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット		Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音		端末本体にプリセットされている、またはアプリを利用して着信音、通知音を設定します。
	通知音		
	ストレージから探す		microSDメモリーカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他		他のアプリを利用して着信音を設定します。
	バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]/パターンを選択→[OK]
	LED		Eメール受信時の通知LEDの色を設定します。 [OFF]/パターンを選択→[OK]
	着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
	通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」
	メール受信時の画面点灯		Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.43「Eメールを受信する」

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 ホーム画面で[]→[]→[アドレス変更／フィルター設定]

2 Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. [承諾する] 3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK] ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「-」「_」「.」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「-」「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	オススメの設定はこちら ▶P.51「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信] ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返ることがありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

バックアップしたEメールを復元する

過去にご利用の製品でバックアップしたメールアドレスは本製品へ読み込むことができます。

メールアドレスを復元する

バックアップしたメールアドレス(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [メールアドレス復元]

3 復元するメール種別を選択→[OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎バックアップしたメールアドレスを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールアドレスを復元します。

◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

まるとバックアップデータを復元する

まると復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールアドレス(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まると復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

■復元前にメールアドレスがない場合

4 [OK]

■復元前にメールアドレスをバックアップする場合

4 [バックアップ]→[OK]

シークレット機能を有効にしてメールアドレスバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

6 バックアップするフォルダにチェックを入れる→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

7 [OK]→[OK]→[OK]

■復元前にメールアドレスをバックアップしない場合

4 [まると復元]→[OK]→[OK]

memo

◎まると復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 ホーム画面で[]→[]→[アドレス変更／フィルター設定]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オスのメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はこちら」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 アドレス帳受信設定へ:「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者毎にメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制:メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制:送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制:メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制:本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制:添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 拒否通知メール返信設定:迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※ 以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[☎]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [✚]

SMS作成画面が表示されます。

・過去に送受信した相手先にSMSを送信する場合はスレッドをタップしてSMSを送信することができます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[☎]をタップすると、連絡先から相手先を選択することもできます。

・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。「0」「1」「0」+国番号+相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※ 連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると送信結果を確認できます。

memo

◎メッセージ作成中に[☎]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。

◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。

また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに[!]が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了するとポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で[☎]→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには●が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。

◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎スレッド内容表示画面で[☎]をタップすると相手先に電話をかけることができます。

◎受信したSMSの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。「閉じる」をタップするとメッセージを破棄します。

◎本体メモリ(内部ストレージ)が不足した場合、SMSを正しく受信できません。

◎データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面で[☎]→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[☎]をタップすると、連絡先から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 アプリを選択

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 本文中のメールアドレスをタップ

3 アプリを選択→メールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには🔒が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [☎]→[アドレス帳への登録]→[OK]

連絡先の登録画面が表示されます。「新しい連絡先を作成」または追加する連絡先をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」(▶P.60)の手順3以降をご参照ください。

・スレッド一覧画面で登録する相手先の[☎]→[はい]と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[🔍]→[メッセージの検索]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 ソフトウェアキーボードの[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面で[☎]→[SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [E]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 削除するスレッドをタップ

4 [E]→[削除]

■すべてのスレッドを削除する場合

2 [E]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面で[E]→[SMS]

2 [E]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレーション、LEDもOFFになります。 [差出人・本文] / [差出人] / [通知のみ] / [OFF]→[OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF] / [プリセットから選択] / [ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択→[OK]
LED	SMS受信時に通知LEDを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 [特大] / [大] / [中] / [小] / [極小]→[OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20 / 半角45文字まで)を入力→[設定]
受信フィルター	▶P.53「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに[✓]を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト] / [ブラック] / [ピンク] / [グリーン] / [ブルー] / [オレンジ]→[OK]

memo

◎SMS設定メニュー→[E]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 [指定番号を入力]→登録する電話番号を入力→[追加] ・[E]をタップすると、連絡先から宛先を選択して入力できます。 ・スレッド内容表示画面→[E]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録することができます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

PCメールを利用する

パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、メールを送受信できます。

PCメールのアカウントを設定する

PCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- PCメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプ(遠隔操作でデータを消去)を設定していると、本製品内のデータが消去されることがあります。

1 ホーム画面で[E]→[Eメール(E)]

「Eメールへようこそ」画面が表示された場合は、「開始する」をタップしてください。

2 PCメールのメールアドレスを入力→[次へ]→パスワードを入力→[次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウントのタイプを選択してアカウントを手動で設定します。

3 画面の指示に従って必要な項目を設定→[次へ]をタップして各設定を完了する

4 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力→[設定完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

- ◎「あなたの名前」はメールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名称です。
- ◎複数のアカウントを設定するには、受信トレイ画面→[E]→[設定]→[アカウントを追加]と操作します。
- ◎複数のPCメールアカウントを設定している場合、[E]→[Eメール(E)]→[統合受信トレイ]と操作すると、すべてのアカウントの受信メールが全アカウントの「受信トレイ」に表示されます。

アカウントの設定を変更する

例: IMAPに対応したメールアカウントを設定する場合

1 受信トレイ画面→[E]→[設定]

2 設定を変更するアカウントをタップ

3

通知		新着メールの通知や通知音、バイブレーション* ¹ 、通知LEDの設定をします。
同期設定	確認頻度* ²	新着メールの自動受信の有無や間隔を設定します。
	同期するEメールの期間	メールサーバーと同期する期間を設定します。
	自動ダウンロード	無線LAN(Wi-Fi®)接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
	プリダウンロードの制限	PCメールを開く前に、本文全体をダウンロードするかどうかを設定します。
全般設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
	受信サーバー設定	ユーザー名やパスワードなどメールサーバーの設定をします。
	送信サーバー設定	
	署名	署名を変更したり、署名を挿入するかどうかを設定したりします。
	クイック返信	メール作成時によく使用する文章を登録します。
	セキュリティ	証明書を選択したり、デジタル署名や暗号化を設定します。
	一時ファイル	一時ファイルを削除します。
	アカウントの削除	アカウントを削除します。

^{*1} マナーモード(ミュート)設定中は、メールを受信しても振動しません。

^{*2} 「確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかることがあります。

memo

- ◎設定できる項目は、アカウントの種類により異なる場合があります。
- ◎手順2でアカウントの下部に表示される設定項目では、「Eメール」アプリ全体の設定を変更できません。

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面→

→と操作して、別のアカウントから送信することもできます。

2 [宛先]→宛先のメールアドレスを入力

Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、連絡先アプリで一致する連絡先がリスト表示されます。
複数の宛先を入力する場合は、半角カンマまたは半角スペースで区切って追加します。

- ・→「Ccを表示」／「Bccを表示」にチェックを入れるとCcやBcc欄を追加できます。

3 [件名]→件名を入力

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

5

memo

- ◎ 添付ファイルを追加するには、「」をタップし、添付ファイルを選択します。
- ◎ メール作成中に別の画面に切り替えると、自動的に下書き保存します。
- ◎ PCメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信に必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- ◎ PCメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのメール受信を拒否する設定を行っている場合、メールを受信できません。

PCメールを受信する

1 受信トレイ画面→→[更新]

複数のPCメールアカウントを設定している場合は、→と操作し、受信するPCメールのアカウント名をタップします。

2 メールをタップ

メールの内容が表示されます。

memo

- ◎ PCメールのアカウント設定で「通知」をオンにしている場合、新しいメールの受信をお知らせするがステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にスライドして受信したメールを確認できます。
- ◎ PCメールのアカウント設定で「確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信を利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかることがあります。
- ◎ 受信したメールのメールアドレスをタップすると、連絡先に登録することができます。
- ◎ 受信トレイ画面やメール詳細画面で「」／「」をタップすると、スターに色が付き、メールが「スター付き」フィルターに追加されます。「スター付き」フィルターを確認するには、受信トレイ画面→→「フィルター」の→「スター付き」と操作します。

■ 添付ファイルを保存する

1 受信トレイ画面→添付ファイル付きのメールをタップ

2 保存するファイルの[保存]→保存先を選択→[保存]

「表示」や「再生」をタップして添付ファイルを表示したり、再生することもできます。
添付ファイルがダウンロードされていない場合は、「読み込み」をタップします。

PCメールを返信／転送する

1 受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールをタップ

2 [返信]／[全員に返信]／[転送]

転送する場合は、転送先のメールアドレスを入力します。

3 本文入力欄をタップ→本文を入力

4

memo

- ◎ 元のメールの内容の引用を削除するには、「本文を引用」のチェックを外します。
- ◎ メールを転送すると、元のメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、「」をタップします。

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面→削除するメールをタップ

2

「Eメール」アプリ全体の設定で「削除確認」がオンになっている場合は、／→「削除」と操作します。

memo

- ◎ 複数のメールを削除するには、受信トレイ画面→削除するメールをロングタッチ→削除するメールにチェックを入れる→と操作します。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。
- ・ Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、「アカウントが同期していません」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ・ Gmail受信トレイ画面でをタップするとメニュー項目が表示され、設定やヘルプなどの操作が行えます。
- ・ PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイ画面が表示されます。

Gmailを送信する

1 Gmail受信トレイ画面→

2 [To]→宛先を入力

3 [件名]→件名を入力

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

5

Gmailを受信する

1 Gmail受信トレイ画面→画面を下にスライド

2 メールをタップ

メールの内容が表示されます。

memo

- ◎ 受信トレイを自動更新する設定にしている場合、新しいメールの受信をお知らせするがステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にスライドして受信したメールを確認できます。

Gmailを返信／転送する

1 Gmail受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールをタップ

■ 返信する場合

2 [返信]／[全員に返信]

3 本文入力欄をタップ→本文を入力

4

■ 転送する場合

2 [転送]

3 [To]→宛先を入力

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

5

memo

- ◎ メール本文が長く、「返信」「全員に返信」「転送」が表示されていない場合は、文末まで画面を上へスライドします。

インターネット

インターネットに接続する	56
データ通信を利用する	56
Chromeを利用する	56
ウェブページを表示する	56
ブックマーク／履歴を利用する	57
Chromeを設定する	57

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.56「データ通信を利用する」)
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.81「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]→[高度な設定]→[LTE NET for DATA接続]の[]→[OK]と操作してください。

memo

◎LTEフラットなどのデータ通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

auお客さまサポート
<https://cs.kddi.com/>

※ 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

Chromeを利用する

Chromeを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で[]

初めて利用するときは、利用規約などの内容を確認し、[同意して続行]→必要に応じてChromeの設定を行ってください。

2 画面上部のアドレスバーをタップ

アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

3 URLまたは検索する文字を入力

入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

4 一覧表示から項目を選択

入力した文字を直接検索するには、ソフトウェアキーボードの「[実行]」をタップします。

memo

◎手順3でアドレスバーに🔍が表示されているときは、タップして検索語句を音声で入力すると、ウェブページを検索できます。

◎前のページに戻るには[戻る]をタップします。

タブを利用する

ウェブページを表示中に新しいタブを開き、複数のタブを表示することができます。

新しいタブを開く

1 ウェブページ→[:]→[新しいタブ]

アイコンが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。新しいタブが開きます。

2 ウェブページを表示

アドレス入力欄の横に表示されているアイコン内の数字は、開いているタブの件数です。

タブを切り替える

1 [2]

現在開いているタブがサムネイルで一覧表示されます。

2 表示するタブをタップ

memo

◎手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

タブを閉じる

1 [1]→閉じるタブの[×]

閉じるタブを左右にフリックしてもタブを閉じることができます。

memo

◎手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

ウェブページ内のテキストを検索する

1 ウェブページ→[:]→[ページ内検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する文字を入力

文字を入力すると、一致する文字がハイライト表示されます。「^」「\$」「>」「<」をタップすると、前後の一致項目に移動します。

memo

◎検索バーを閉じるには「[×]」をタップします。

ウェブページ内のテキストをコピーする

- 1 ウェブページ→コピーするテキストをロングタッチ
- 2 「」/「」をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択
選択されたテキストはハイライト表示されます。
- 3 [コピー]



◎コピーしたテキストは、他のアプリでも利用できます。貼り付け先のテキストボックスをロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
◎テキストを選択できないウェブページもあります。

ウェブページ内の画像をダウンロードする

- 1 ウェブページ→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ
- 2 [画像をダウンロード]
ダウンロードした画像は、「アルバム」/「ダウンロード」アプリなどから確認できます。

リンクを操作する

- 1 ウェブページ→リンクをロングタッチ
メニュー項目が表示され、リンクのダウンロードやURLのコピーなどが行えます。



◎リンクやウェブページによってはメニューが表示されなかったり、ダウンロードなどができなかったりする場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

ブックマークを開く

- 1 ウェブページ→[]→[ブックマーク]
ブックマーク画面が表示されます。
- 2 開くブックマークをタップ

ブックマークに登録する

- 1 ブックマークに登録するウェブページを表示
- 2 []→[☆]



◎ブックマーク画面で「」をタップするか、ブックマークをロングタッチすると、編集や削除などの操作が行えます。

履歴を確認する

- 1 ウェブページ→[]→[履歴]
履歴画面が表示されます。
- 2 確認するURLをタップ

履歴を削除する

- 1 履歴画面→削除する履歴の[×]



◎履歴をすべて削除するには、履歴画面→[閲覧履歴データの消去...]→削除する期間を選択→「閲覧履歴」にチェックが入っているかを確認→[データを消去]と操作します。

Chromeを設定する

検索エンジンやプライバシーの設定などを行うことができます。

- 1 ウェブページ→[]→[設定]
Chrome設定画面が表示されます。
- 2 必要に応じて設定を変更

ツール・アプリケーション

連絡先.....	60	Lookout for auを利用する	72
連絡先を登録する	60	リモートサポートを利用する	73
連絡先を利用する	60	故障受付を利用する	73
連絡先の表示を設定する	61	au Wi-Fi接続ツールを利用する	73
連絡先をエクスポート／インポートする	61	Androidアプリ	73
カメラ.....	62	Google Playを利用する	73
カメラをご利用になる前に.....	62	提供元不明のアプリをダウンロードする	73
カメラを起動する	62	アプリを管理する.....	74
カメラの設定をする	62		
静止画を撮影する	64		
動画を録画する	65		
クイック起動の設定を変更する	65		
QR・バーコードリーダーを利用する	65		
アルバムを利用する	65		
画像／動画を表示する	65		
画像を再生する	65		
動画を再生する	66		
ミュージックを利用する	66		
楽曲データを再生する	66		
テレビ.....	67		
テレビをご利用になる前に.....	67		
テレビの初期設定をする	67		
テレビを見る	67		
テレビの設定をする	68		
視聴中のテレビ番組を録画する	68		
番組表を利用する	68		
おサイフケータイ	69		
おサイフケータイとは	69		
おサイフケータイを設定する	69		
NFCメニューを利用する.....	70		
FeliCaに対応したサービスを利用する	70		
時計を利用する	70		
auサービスTOPを利用する	71		
auスマートパスを利用する.....	71		
安心アクセス for Android™を利用する	71		
auお客さまサポートアプリを利用する	72		
auスマートサポートを利用する.....	72		

連絡先

連絡先を登録する

- 1 ホーム画面で[連絡先]→[連絡先]
連絡先一覧画面が表示されます。
- 2 [Google]→[本体連絡先]
連絡先の編集画面が表示されます。
Googleアカウントを設定していない場合は「OK」をタップするか、「新しいアカウントを追加」をタップし画面の指示に従ってアカウントを追加してください。
- 3 名前を入力
▼をタップすると、姓、名などを入力する欄が表示されます。
- 4 必要に応じて他の項目を入力
電話番号やメールアドレスなどを設定できます。
「他の項目」をタップして項目を増やすことができます。
- 5 [保存]

memo

- ◎あらかじめ新規登録時のアカウントを設定しておくことができます。連絡先一覧画面→[設定]→[設定]→[新しい連絡先の標準アカウント]と操作してアカウントを選択します。
- ◎「グループ」の情報があるアカウントの場合、グループの新規作成やグループへの連絡先の登録や解除などができます。

登録した連絡先を修正する

- 1 連絡先一覧画面→編集する連絡先をタップ
連絡先詳細画面が表示されます。
- 2 [編集]
- 3 項目を選択して編集
- 4 [保存]

memo

- ◎「ふりがな(姓/名)」を登録した場合、連絡先一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。
- ◎連絡先に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎「アカウントと同期」(▶P.89)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

連絡先を利用する

登録した連絡先から電話をかけたり、メールを送信したりできます。

■ 連絡先画面



- 1 検索アイコン
入力した文字で始まる連絡先を表示します。
- 2 緊急情報
緊急時のための医療情報や、身内などの連絡先を登録できます。
- 3 オプションメニューアイコン
- 4 画面切替タブ
- 5 自分の連絡先
- 6 連絡先に登録された名前
- 7 シンクコールアイコン
「シンクコール」(▶P.38)に対応している連絡先や電話番号に表示されます。
- 8 スクロールバー
名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。
- 9 新しい連絡先の追加アイコン
- 10 お気に入りアイコン
- 11 編集アイコン
- 12 一覧画面へ戻る

13 登録内容

memo

◎詳細画面の表示やアイコンは、登録したアカウントによって異なる場合があります。

連絡先から電話をかける

- 1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ
- 2 [電話]／電話番号をタップ

連絡先からメールを送る

- 1 連絡先一覧画面→メールを送る連絡先をタップ
- 2 [メール]／[メール]／メールアドレスをタップ
「[メール]」をタップするとSMSを作成できます。
「[メール]」／メールアドレスをタップするとメールを作成できます。

連絡先を送信する

登録した連絡先や自分の連絡先の情報を、Bluetooth®機能やメール添付などを利用して送信できます。

- 1 連絡先一覧画面→連絡先をロングタッチ
- 2 送信する連絡先にチェックを入れる
- 3 [共有]→[共有]
- 4 送信方法を選択

memo

◎連絡先の送信が可能なアプリをダウンロードした場合、手順4で[共有]→[共有]と操作すると連絡先の送信方法として表示されますが、送信方法によっては正しく動作しないことがあります。

連絡先の着信音を設定する

- 1 連絡先一覧画面→編集する連絡先をタップ
- 2 [着信音]→[着信音を設定]
- 3 着信音を選択→[完了]
着信音を選択すると、選択した音が再生されます。
「[着信音]」をタップすると、設定されている以外の音も着信音に設定できます。

連絡先の画像を設定する

- 1 連絡先一覧画面→編集する連絡先をタップ
- 2 [画像]
- 3 [カメラ]
連絡先によっては画像などの表示が異なる場合があります。
- 4 設定方法を選択→画像を設定
- 5 [保存]

連絡先をリンクする

複数の連絡先を統合して1つにリンクさせて、まとめることができます。

- 1 連絡先一覧画面→リンクさせる連絡先をタップ
- 2 [リンク]→[連絡先をリンク]
- 3 リンクさせる連絡先をタップ

memo

◎リンクを解除するには、連絡先一覧画面→リンクを解除する連絡先をタップ→[リンク解除]→[リンク解除]と操作します。

連絡先をお気に入り登録する

1 連絡先一覧画面→お気に入りに登録する連絡先をタップ

2 [☆]

☆に変わります。



◎お気に入りから削除するには、手順2で[☆]をタップします。

お気に入り一覧を表示する

お気に入りに登録している連絡先の一覧を表示します。

1 連絡先一覧画面→「お気に入り」タブをタップ

連絡先をタップすると、連絡先詳細画面が表示されます。

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→削除する連絡先をロングタッチ

2 削除する連絡先にチェックを入れる

3 [⋮]→[連絡先を削除]→[削除]



◎登録内容を確認してから削除する場合は、連絡先一覧画面→削除する連絡先をタップ→[⋮]→[連絡先を削除]→[削除]と操作します。

連絡先の表示を設定する

連絡先の表示条件を変更する

連絡先の表示条件を設定したり、アカウントごとの連絡先の表示／非表示を設定したりできます。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[表示する連絡先]

連絡先をエクスポート／インポートする

・連絡先によっては、データの一部がエクスポート／インポートされない場合があります。

エクスポートする

すべての連絡先をmicroSDメモ리카ードまたは内部ストレージへエクスポート(バックアップ)します。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[インポート／エクスポート]

2 [SDカードや内部ストレージにエクスポート(.vcf形式)]→保存場所とファイル名を指定→[保存]



◎すべての連絡先をBluetooth®やメールなどで送信する場合は、手順2で[すべての連絡先を共有]→表示を確認してステータスバーを下にスライド→[連絡先のエクスポートの完了]の通知をタップ→画面の指示に従って操作します。

インポートする

au Nano IC Card 04やmicroSDメモ리카ード、内部ストレージに保存されている連絡先をインポート(読み込み)します。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[インポート／エクスポート]

2 [SDカードや内部ストレージからインポート(.vcf形式)]／[SIMカードからインポート]

3 [本体連絡先]／[Google]

Googleアカウントを設定していない場合は手順4へ進みます。この場合は、「本体連絡先」に保存されます。

4 インポートするvCardファイルを選択

ファイルの中に複数の連絡先がある場合は、すべて一度にインポートされます。手順2で「SIMカードからインポート」を選択した場合は、連絡先を選択します。複数の連絡先をすべてインポートする場合は、[⋮]→[すべてインポート]と操作します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
- また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、画像がブレる原因となります。
- ・「サウンドフォト」を撮影する場合や動画を録画する場合は、送話口(マイク)を指などでおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口(マイク)の音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピン트가ずれる場合があります。ピン트가ずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピン트가合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
 - ・電球などの発光している被写体
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・本製品の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。録画中に停止した場合、録画した動画は保存されます。
- ・お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
- なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ・撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

カメラを起動する

- ・撮影データをmicroSDメモリーカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDメモリーカードを取り付けて、保存先を変更してください(▶P.63)。

1 ホーム画面で[📷]

撮影画面が表示されます。

- ・クイック起動でカメラを起動する場合は、[📷]を1秒以上長押しするか、ロック画面で[📷]をスワイプ(フリック)します。
 - ・ズームするには「音量キー設定」(▶P.63)を「ズーム」に設定して音量キーを操作するか、画面をピンチ(▶P.24)します。
- カメラを終了するには[🔍]をタップします。

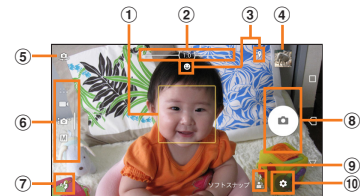
memo

- ◎撮影モードを「ARエフェクト」や「スイングパノラマ」などに設定している場合やフロントカメラでの撮影時は、ズームを使用できません。
- ◎撮影画面で約3分間(「クイック起動」で起動した場合は約30秒間)何も操作しないと、カメラが終了します。

クイック起動について

- ◎[📷]を1秒以上長押ししたり、ロック画面で[📷]をスワイプ(フリック)してカメラを起動することを「クイック起動」といいます。
- ◎クイック起動時の動作は変更できます(▶P.65)。
- ◎クイック起動でカメラを起動したときの撮影モードは、自動的に「プレミアムおまかせオート」または「ビデオ」になります。

撮影画面の見かた



《撮影画面》

- ① オートフォーカス枠
- ② ズームインジケータ
 - ・インジケータに表示される倍率で撮影されます。
- ③ ステータスアイコン表示エリア
 - スマイルシャッターや位置情報の保存(ジオタグ)を設定した場合のアイコンや、温度が上昇している場合などの本製品の状態を表すアイコンが表示されます。
- ④ サムネイル表示
 - 撮影した静止画／動画がサムネイル表示されます。
 - サムネイルをタップすると、撮影した静止画の再生画面(▶P.65)や動画のプレビュー画面が表示されます。
- ⑤ フロントカメラ切り替えアイコン
- ⑥ 現在の撮影モード(▶P.62)
- ⑦ フラッシュ設定アイコン
- ⑧ 撮影ボタン
 - 動画撮影中は一時停止／停止ボタンが表示されます。
 - 設定によっては、セルフタイマーやタッチ撮影のアイコンが表示されます。
- ⑨ シーン／コンディション認識アイコン
 - 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」の場合、または「ビデオ」の「シーンセレクト」を「自動」に設定している場合は、カメラが判断したシーンを検出してアイコンを表示します。
 - また、カメラが移動している状態(👤)、カメラが固定されている状態(📷)、被写体が動いている状態(👤)を検出して、アイコンを表示します。
- ⑩ オプションメニューアイコン
 - タップすると設定項目を表示します(▶P.63)。

memo

- ◎「ARエフェクト」などのカメラアプリをお使いの場合は、表示や操作が異なります。
- ◎「プレミアムおまかせオート」では、状況によっては、シーンが正しく認識されない場合があります。

カメラの設定をする

撮影モードを変更する

「プレミアムおまかせオート」「マニュアル」「ビデオ」「カメラアプリ」を切り替えて利用できます。

1 ホーム画面で[📷]

2 画面をスワイプ(フリック)

横画面では上下に、縦画面では左右にスワイプ(フリック)します。

カメラアプリについては「カメラアプリを利用する」(▶P.63)をご参照ください。

撮影モードと解像度／ビデオ解像度

撮影モード	解像度(縦横比)／ビデオ解像度
プレミアムおまかせオート	23MP(4:3) 20MP(16:9) 8MP(4:3) 8MP(16:9)
マニュアル	23MP(4:3) 20MP(16:9) 8MP(4:3) 8MP(16:9) 3MP(4:3) 2MP(16:9)
ビデオ	フルHD(30fps/60fps) HD VGA

カメラアプリを利用する

カメラアプリを利用して、さまざまな写真や動画を撮影できます。

1 ホーム画面で[📷]

2 画面をスワイプ(フリック)してカメラアプリ一覧を表示

横画面では下に、縦画面では左にスワイプ(フリック)します。

3 アプリを選択

カメラアプリを切り替えるには、撮影画面右下(縦画面の場合は左下)のカメラアプリのアイコンをタップします。

memo

- カメラアプリをダウンロードするには、ホーム画面で[📷]→画面をスワイプ(フリック)してカメラアプリ一覧を表示→[+]追加をタップします。
- 「ARエフェクト」「+追加」などでダウンロードしたアプリは内部ストレージに保存されます。
- アプリによっては「サウンドフォト」で撮影した画像の音声を再生できない場合があります。
- 「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」「タイムシフト連写」の撮影データをmicroSDメモリーカードに保存する場合は、高速書き込みが可能なmicroSDメモリーカード(スピードクラス10またはUHSスピードクラス1)の使用をおすすめします。
- カメラの機能について詳しくは次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/myxperia/howtoxperia/camera/>

■ スイングパノラマ撮影のご注意

- ・スイングパノラマの撮影画面は、横画面のみに対応しています。
- ・以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
 - ・動きのある被写体があるとき
 - ・主要被写体とカメラの距離が近すぎるとき
 - ・空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体があるとき
 - ・大きな被写体があるとき
 - ・波や滝など、常に模様に変化する被写体があるとき
- ・複数の画像を合成するため、つなぎ目になめらかに記録できない場合があります。
- ・暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- ・蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- ・スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。

設定を変更する

- ・表示される設定項目は、撮影モードやカメラアプリによって異なります。

1 ホーム画面で[📷]

2 [⚙️]→設定項目を選択

「その他の設定」をタップすると、その他の項目や共通設定の項目が表示されます。カメラアプリによっては撮影画面で[⚙️]をタップして設定します。

3 設定を変更

■ オプションメニュー項目

設定項目	説明
セルフタイマー (写真撮影時のみ)	セルフタイマーの秒数を設定します。 シャッターアイコンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。光量が少ない撮影状況での静止画撮影時は、手ブレが起こりやすくなります。手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。
色合い・明るさ (「プレミアムおまかせオート」 「ビデオ」設定時)	明るさと色合いを調整します。撮影画面に表示されたバーまたはマーカーをドラッグして調整します。 撮影画面で[⚙️]をタップするか設定項目の「色合い・明るさをリセット」をタップすると、設定をリセットできます。
ISO (「マニュアル」設定時のみ)	ISO感度を設定します。 ・ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。 ・ISO感度を下げると、ノイズを目立たせずに撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなる場合があります。
HDR (「マニュアル」設定時のみ)	逆光などの明暗に差のある状況でも、見た目に近い自然な印象で撮影できるようにするかどうかを設定します。 ・「HDR」をオンに設定すると、「ISO」は「自動」に設定されます。

設定項目	説明
シーンセレクション (「ビデオ」設定時)	撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 ・ビデオ解像度が「フルHD(30fps)」のときのみ設定できます。 ・シーンセレクションを「自動」以外のシーンに設定すると、「追尾フォーカス」は設定できません。 「AUTO」自動 「SON」OFF「📷」ソフトスナップ「🌄」風景「🌃」夜景「🏖️」ビーチ「❄️」スノー「🏈」スポーツ「🎉」パーティー
解像度	静止画の解像度を設定します。 ・撮影モードが「マニュアル」の場合、「23MP」「20MP」に設定すると、「シーンセレクション」を設定できません。
ビデオ解像度 (「ビデオ」設定時のみ)	動画の解像度を設定します。
追尾フォーカス	撮影画面で被写体をタップすると、被写体が動いてもピントを合わせます。
測光 (「マニュアル」設定時のみ)	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 顔 :顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。 マルチ :画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって露出を調整します。 中央 :撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。 スポット :撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。 タップ :タップした箇所を測光して露出を調整します。
自動撮影／自動撮影(録画中)	アイコンやキーを操作しなくても、自動で撮影する機能を設定します。 スマイルシャッター :被写体が笑った瞬間を撮影します。動画撮影中は笑った瞬間の静止画を撮影します。 ハンドシャッター(フロントカメラでの写真撮影時のみ) :カメラに手のひらを向けることで自動的に撮影できます(▶P.64)。
タッチで合わせる (「プレミアムおまかせオート」 設定時のみ)	画面をタップした場所に合わせる機能を設定します。 フォーカスのみ :フォーカスを合わせます。 フォーカスと明るさ :フォーカスと明るさを合わせます。
電子式手ブレ補正 (「ビデオ」4Kビデオ設定時)	撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。 インテリジェントアクティブ(「ビデオ」設定時のみ) :ズームや、歩きながらの撮影時などの手ブレを軽減します。 スタンダード :通常撮影時の手ブレを軽減します。
美肌効果 (フロントカメラでの写真撮影時のみ)	人物の肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。
位置情報を保存	静止画／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ(ジオタグ)を付けるかどうかを設定します。 ・あらかじめ位置情報の設定を有効にする必要があります。位置情報の詳細については、「位置情報の設定をする」(▶P.89)をご参照ください。 ・オンに設定すると、撮影画面に📍が表示されているときに位置情報が付加されます。 ・位置情報取得中は📍が表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、位置情報は付加されません。
タッチ撮影	撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。 「フロントカメラのみ」に設定すると、フロントカメラに切り替えたときは自動的にタッチ撮影が「ON」になります。 ・タッチ撮影時は、撮影画面内の中央にピントが合います。
グリッドライン	撮影画面に目安となるグリッドを表示するかどうかを設定します。
静止画オートレビュー	撮影した直後にレビューを表示する時間を設定します。 「フロントカメラのみ」に設定すると、フロントカメラで撮影したときのみレビューを表示します。
音量キー設定	音量キーに割り当てる機能を設定します。 ズーム :ズームを調整します。 音量 :音量を調節します(▶P.86)。 シャッター :静止画を撮影、動画を録画開始／録画終了します。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を設定します。

設定項目	説明
クイック起動	クイック起動利用時の動作を設定します。
ヘルプ	カメラ機能のヘルプを表示します。
プレビュー	静止画を撮影した直後にプレビューを表示する時間や、編集画面を表示するかどうかを設定します。
縦横比 (「スタイルポートレート」設定時のみ)	裏面のカメラで撮影する場合に、写真の縦横比を設定します。
リアカバーをダブルタップして写真撮影 (「スタイルポートレート」設定時のみ)	フロントカメラでの撮影時に、裏面カバーをダブルタップすることで撮影するかどうかを設定します。
記録ファイル方式 (「4Kビデオ」設定時のみ)	ファイル方式を「H.264」「H.265」から選択できます。

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 設定項目アイコン

設定項目	説明
フラッシュ	「 自動」「 強制発光」「 赤目軽減」「 OFF」「 照明」
シーンセレクション (「マニュアル」設定時)	「」をタップして撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 ・シーンセレクションを設定すると、「ISO」「HDR」「ホワイトバランス」などは設定できません。 「 OFF」「 美肌」「 ソフトスナップ」「 人物ブレ軽減」「 風景」「 逆光補正HDR」「 夜景&人物」「 夜景」「 手持ち夜景」「 高感度」「 料理」「 ペット」「 ビーチ」「 スノー」「 パーティー」「 スポーツ」「 ドキュメント」「 打ち上げ花火」
ホワイトバランス (「マニュアル」「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」設定時)	周囲の光源に合わせて設定します。 「」→「WB」と操作して設定します。 「 AUTO」「 Auto (自動)」「 燐(電球)」「 蛍光灯」「 太陽光」「 (曇り)」
明るさ(EV補正) (「マニュアル」「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」設定時)	明るさを調整します。 「」→「EV」→バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。
シャッタースピード (「マニュアル」設定時のみ)	被写体の動く速度などに合わせてシャッタースピードを設定します。 「」→「SS」→バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。
フォーカス (「マニュアル」設定時のみ)	被写体からの距離に合わせて設定します。 「」→「フォーカス」→バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。
照明	暗い場所や逆光での動画撮影時に、フラッシュを使用して撮影するかどうかを設定します。 「 ON」「 OFF」
セルフタイマー (フロントカメラでの写真撮影時のみ)	「」をタップしてセルフタイマーの秒数を設定します。タップするたびに3秒→10秒→OFFの順に切り替わります。「スタイルポートレート」に設定している場合は、10秒/2秒/0.5秒/OFFを選択できます。 撮影ボタンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。 セルフポートレートを撮影する場合や、集合写真を撮る時などに使用します。 手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。
エフェクトの切り替え (「クリエイティブエフェクト」設定時のみ)	「」をタップしてエフェクトの種類を切り替えます。
撮影方向 (スイングパノラマ設定時のみ)	スイングパノラマの撮影方向を設定します。 「 右」「 左」「 下」「 上」
マジックビーム (「スタイルポートレート」設定時のみ)	スタイルポートレートの撮影時に、人物の瞳にかけるエフェクトを設定します。 「」(OFF)をタップしてパターンを選択します。解除するときは「」(ON)をタップして「」(なし)をタップします。
縦横比 (「スタイルポートレート」設定時のみ)	写真の縦横比を設定します。 「 16:9」「 4:3」「 1:1」

静止画を撮影する

■ 撮影ボタンをタップして撮影する

1 ホーム画面で「」

2 画面をスワイプ(フリック)して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示

カメラアプリを利用する場合はカメラアプリ一覧でアプリを選択します。

3 撮影ボタン「」をタップ

■ 画面をタップして撮影する

・「タッチ撮影」(▶P.63)を「ON」に設定する必要があります。

1 ホーム画面で「」

2 画面をスワイプ(フリック)して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示

3 撮影画面をタップ

■ カメラキーを押して撮影する

1 ホーム画面で「」

2 画面をスワイプ(フリック)して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示

3 を押す

を半押しするとピントを合わせて固定することができます(オートフォーカスロック)。オートフォーカス枠が青色に変わったら、そのまま を止まるまでしっかり押すと静止画が撮影されます。
追尾フォーカス枠が表示されている場合は、被写体を追尾してフォーカスを合わせます。

■ 音量キーで撮影する

・「音量キー設定」(▶P.63)を「シャッター」に設定する必要があります。

1 ホーム画面で「」

2 画面をスワイプ(フリック)して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示

カメラアプリを利用する場合はカメラアプリ一覧でアプリを選択します。

3 音量キーを押す

■ 「ハンドシャッター」で撮影する

フロントカメラで撮影する際に、撮影画面に手のひらを向けることで自動的に撮影することができます。アイコンをタップするなどの操作をせずに自分撮りができます。

・「自動撮影」(▶P.63)を「ハンドシャッター」に設定する必要があります。

1 ホーム画面で「」

2 画面をスワイプ(フリック)して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示

3 フロントカメラに切り替えてカメラに手のひらを向ける

- ・「」をタップしてセルフタイマーを設定できます。
- ・手のひらマークが現れると撮影されます。

memo

- ◎「スイングパノラマ」「サウンドフォト」などで「タッチ撮影」をする場合は、各アプリで「タッチ撮影」をオンに設定します。
- ◎「サウンドフォト」での撮影時は、送話口(マイク)を指などでふさがないようにしてください。
- ◎オートフォーカス枠が表示されなかったときは、ピントが合わなかった可能性があります。
- オートフォーカス枠の移動操作について
- ◎撮影画面をタップした箇所にオートフォーカス枠を移動できます。
- 追尾フォーカスについて
- ◎「追尾フォーカス」(▶P.63)をオンに設定している場合は、撮影画面をタップすると追尾フォーカス枠が表示され、被写体を追尾しながらフォーカスを合わせます。
- 顔検出オートフォーカスについて
- ◎被写体の顔を検出すると、顔の位置にオートフォーカス枠を表示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、そのうち1つをオートフォーカスの対象に選択します。選択された顔のオートフォーカス枠は黄色で表示され、自動的にピントが合わせられます。オートフォーカス枠をタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

動画を録画する

■ 撮影ボタンをタップして録画する

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 画面をスワイプ(フリック)して「ビデオ」撮影画面を表示
カメラアプリを利用する場合はカメラアプリ一覧でアプリを選択します。
- 3 撮影ボタン([📷])をタップ
録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。
- 4 撮影ボタン([📷])をタップ
録画終了音が鳴り、録画が終了します。
・「ビデオ」に設定している場合は、一時停止／撮影開始アイコン([⏸]／[📷])をタップすると録画を一時停止／再開できます。

■ 画面をタップして録画する

- ・「タッチ撮影」(▶P.63)を「ON」に設定する必要があります。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 画面をスワイプ(フリック)して「ビデオ」撮影画面を表示
- 3 撮影画面をタップ
録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。
- 4 撮影画面をタップ
録画終了音が鳴り、録画が終了します。

■ カメラキーを押して録画する

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 画面をスワイプ(フリック)して「ビデオ」撮影画面を表示
- 3 [📷]を押す
録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。
- 4 [📷]を押す
録画終了音が鳴り、録画が終了します。

■ 音量キーで録画する

- ・「音量キー設定」(▶P.63)を「シャッター」に設定する必要があります。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 画面をスワイプ(フリック)して「ビデオ」撮影画面を表示
- 3 音量キーを押す
録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。
- 4 音量キーを押す
録画終了音が鳴り、録画が終了します。

memo

- ◎ 動画撮影時は、送話口(マイク)を指などでふさがないようにしてください。
- ◎ 動画撮影時のディスプレイの明るさは、「画面設定」の「明るさのレベル」(▶P.86)で調節した明るさとは異なる場合があります。
- ◎ 動画撮影中に撮影ボタン([📷])をタップすると静止画を撮影できます。
- ◎ 「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」に設定している場合も「タッチ撮影」、カメラキー／音量キーでの撮影ができます。「4Kビデオ」や「タイムシフトビデオ」で「タッチ撮影」をする場合は、各アプリで「タッチ撮影」をオンに設定します。
- ◎ 「4Kビデオ」で動画を撮影する場合は、映像のゆがみを避けるため「電子式手ブレ補正」(▶P.63)を「スタンダード」に設定してください。
- ◎ 「自動撮影(録画中)」(▶P.63)を「スマイルシャッター」に設定した場合、動画撮影中に笑顔を検出して静止画が撮影されてもシャッター音は鳴りません。

クイック起動の設定を変更する

クイック起動でカメラを起動したときの動作を変更できます。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [⚙]→[その他の設定]→[クイック起動]
- 3 [起動のみ]／[起動&静止画撮影]／[起動&動画撮影]／[OFF]

memo

- ◎ クイック起動でカメラを起動したときの撮影モードは、自動的に「プレミアムおまかせオート」または「ビデオ」になります。

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

- 1 ホーム画面で[📷]→[ツール]→[SATCH]
初回起動時は、アンケートなどが表示されます。
内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 2 [QR／バーコードを読み取る]

memo

- ◎ SATCHではQR・バーコードリーダー以外にも、AR(Augmented Reality)を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCHアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

アルバムを利用する

静止画や動画を閲覧・再生できます。

画像／動画を表示する

- 1 ホーム画面で[📷]→[アルバム]
アルバム内の画像／動画データが時系列で一覧表示されます。
表示を拡大／縮小するには画面を右／左にフリックするか、ピンチ(▶P.24)します。

memo

- ◎ 保存されている画像の枚数により、画面にすべての画像を読み込むのに時間がかかる場合があります。
- ◎ 画面右上に[🔍]が表示された場合は、GoogleCast対応機器で画像や動画を再生できます。「🔍」をタップして、画面の指示に従って接続します。Google Cast対応機器で再生するには、あらかじめGoogleCast対応機器と同一のWi-Fi®ネットワークに接続しておきます(▶P.81)。

画像／動画を共有する

オンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth®やメール添付で送信したり、microSDメモリーカードにコピー／移動することができます。

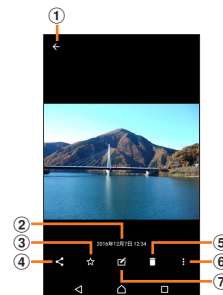
- 1 ホーム画面で[📷]→[アルバム]
- 2 送信する画像／動画をロングタッチ
選択した画像／動画をもう一度タップすると解除できます。
- 3 [🔗]→送信方法などを選択

memo

- ◎ 画像再生画面や動画再生画面からも共有できます。
- ◎ DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。
- ◎ ファイル形式によっては、本製品で閲覧・再生できない場合があります。

画像を再生する

- 1 ホーム画面で[📷]→[アルバム]
画像一覧画面が表示されます。
- 2 画像をタップ
画像再生画面が表示されます。
画像再生画面で画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューのアイコンなどが表示されます。



《画像再生画面》

- 1 画像の一覧に戻る
・写真再生画面で上／下方向にフリックしても、画像一覧画面に戻ります。
- 2 画像の撮影日時
位置情報が保存された写真の場合は国名や地名が表示され、[📍]→[地図]に表示)と操作すると、地図上に写真が表示されます。
- 3 お気に入りに登録／解除

- ④ 共有メニューアイコン
- ⑤ 画像を削除
- ⑥ オプションメニューアイコン
- ⑦ 画像を操作
 - ・ : 写真を編集
 - ・ : タイムシフト連写ファイルを操作

memo

◎ サウンドフォトファイルを表示した場合は、音声も再生されます。

スライドショーを開始する

- 1 画像再生画面→→[スライドショー]
スライドショーを停止するには、画面をタップしてください。

画像をトリミングする

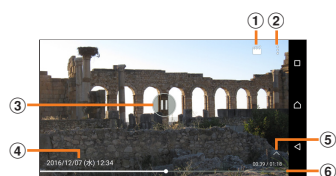
- 1 画像再生画面→→[画像編集]
- 2 →[トリミング]→トリミング枠を調整
トリミング枠を中央または外側に向かってドラッグするとサイズを変更できます。
「トリミング」をタップして比率を選択すると、枠の比率を固定できます。
トリミング枠の内側に触れたままドラッグすると、別の場所に移動できます。
- 3 →[保存]
画像がトリミングされ、保存されます。

画像を登録する

- 1 画像再生画面→→[画像を設定]
- 2 画像の登録先を選択
連絡先に登録する場合は、登録する連絡先を選択します。
「壁紙」(アルバム)を選択した場合は、登録する画面を選択します。
「壁紙」(フォト)を選択した場合は手順4に進みます。
- 3 アプリを選択
- 4 画像として登録する部分を設定
- 5 [保存]／[壁紙を設定]
「壁紙」(フォト)を選択した場合は、登録する画面を選択します。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で→[アルバム]
- 2 動画をタップ
プレビュー画面が表示されます。
- 3



《動画再生画面》

- ① 動画を編集
- ② オプションメニューアイコン
- ③ 再生／一時停止
- ④ 動画ファイル名／撮影日時
- ⑤ 操作パネルの表示切替
早送りなどの操作アイコンやリピート再生の設定アイコンを表示／非表示にします。
- ⑥ プログレスバー
バー上をタップしたり、マーカーを左右にドラッグして再生位置を変更できます。

ミュージックを利用する

ミュージックを使用すると、音楽やプレイリストなどを視聴することができます。

楽曲データを再生する

- ・ 楽曲再生中にmicroSDメモ리카ードのマウント(読み書き可能状態)の解除(▶P.87)は行わないでください。

例: マイライブラリーから選択する場合

- 1 ホーム画面で→[ミュージック]
- 2 →[カテゴリ]を選択
「曲」を選択した場合は、楽曲一覧画面が表示されます。
「アーティスト」「アルバム」などを選択した場合は、アーティスト名やアルバム名などを選択して楽曲一覧画面を表示します。
- 3 再生する楽曲を選択
画面下部にある楽曲操作パネルの曲名やジャケット画像をタップすると、楽曲再生画面を表示できます。

memo

- ◎ をタップするとホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生することができます。楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で→[ミュージック]と操作するか、ステータスバーを下にスライドして再生中の曲名をタップします。
- ◎ ハイレゾ・オーディオ音源は、ハイレゾ・オーディオ対応機器を接続することでハイレゾ・オーディオとして再生できます。
- ◎ 通常の楽曲データをハイレゾ・オーディオ相当で再現するには、→[設定]→[オーディオ設定]→[DSEE HX]のと操作します。ハイレゾ・オーディオ対応ヘッドホンを使用した場合のみ再現されます。
- ◎ ミュージックのホーム画面でをタップすると、自動的にシャッフル再生(クイック再生)ができます。クイック再生は、→[設定]→[クイック再生]と操作して設定します。
- ◎ 画面右上にが表示された場合は、GoogleCast対応機器で音楽を再生できます。をタップして、画面の指示に従って接続します。Google Cast対応機器で再生するには、あらかじめGoogleCast対応機器と同一のWi-Fi®ネットワークに接続しておきます(▶P.81)。
- ◎ ファイル形式によっては、本製品で再生できない場合があります。

楽曲再生画面のメニューを利用する

- 1 楽曲再生画面→→項目を操作
ジャケット画像をタップしても、メニューを表示できます。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetooth®やメール添付などで送信することができます。

- 1 楽曲一覧画面→送信する楽曲をロングタッチ→[共有]
- 2 アプリを選択
以降の操作は、選択したアプリにより異なります。

memo

◎ DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

楽曲を着信音として使用する

- 1 楽曲一覧画面→着信音として使用する楽曲をロングタッチ→[着信音に設定]
楽曲の再生／一時停止中でも設定できます。

プレイリストを再生する

- 1 ホーム画面で→[ミュージック]
- 2 →[プレイリスト]
- 3 プレイリストを選択→楽曲を選択
タップした楽曲から再生されます。

テレビ

放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できます。フルセグは地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。「フルセグ」／「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

テレビをご利用になる前に

■ テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を使用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- テレビ画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中はテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気をとられ、交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- 電池残量が不足していると、テレビを起動できない場合があります。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

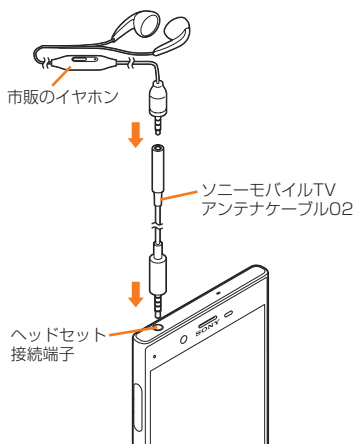
- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど

その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
・室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ TVアンテナについて

本製品でテレビを視聴するには、付属のソニーモバイルTVアンテナケーブルQ2をご使用ください。

テレビの音声をスピーカーから出力する場合には、本製品にソニーモバイルTVアンテナケーブルQ2のみを接続してください。市販のイヤホンなどから出力する場合は、ソニーモバイルTVアンテナケーブルQ2にイヤホンを接続してください。イヤホンを接続するときは、ソニーモバイルTVアンテナケーブルQ2の接続端子に対してまっすぐに、奥までしっかりと差し込んでください。



テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、チャンネル設定を行います。

1 ホーム画面で[設定]→[テレビ]→[OK]

2 登録する地方、都道府県、地域を選択

受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

3 [OK]→[OK]

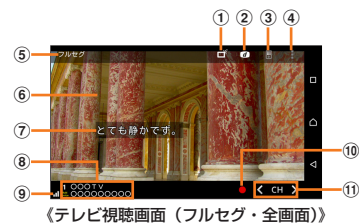
テレビ視聴画面が表示されます。

テレビを見る

1 ホーム画面で[設定]→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。
映像をタップすると、アイコンや番組情報などが表示されます。

■ テレビ視聴画面



《テレビ視聴画面（フルセグ・全画面）》



《テレビ視聴画面（フルセグ・データ放送あり）》

- フルセグ／ワンセグ切替アイコン
- データ放送アイコン
- リモコンボタン
- オプションメニューアイコン
- 視聴中の放送サービス（フルセグ／ワンセグ）
- 映像
- 字幕
- チャンネル、放送局名、番組情報
- 受信レベル
- 録画アイコン
- チャンネル選局キー

チャンネル選局、チャンネルリスト表示など、チャンネルを操作するキーが表示されます。

12 データ放送

データ放送コンテンツが表示されます。ワンセグの視聴画面では、縦画面のみ表示されます。

13 データ放送用リモコン

フォーカス移動、戻る、フォーカス選択など、データ放送中に操作するキーが表示されます。

memo

- フルセグの縦画面ではデータ放送用リモコンが表示され、チャンネルリストや番組情報を表示することもできます。
- ワンセグの縦画面でデータ放送の領域をロングタッチ→[データ放送全画面表示]と操作すると、データ放送が全画面表示になります。
- チャンネル選局キーや録画アイコンを表示するには、映像をタップしてください。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- テレビを視聴中に音声着信があった場合、通話を開始するとテレビは中止され、通話終了後に再開します。
- テレビ視聴中にホーム画面などの別の画面に切り替えると、ステータスバーに視聴中のアイコンが表示されます。

■ テレビ視聴中の操作

縦／横表示切替

本製品の向きを縦／横に変えると、自動的に画面表示が縦／横に切り替わります。

- あらかじめ「機器が回転したときの表示」を「画面の表示も回転」に設定する必要があります（▶P.31「縦／横画面表示を自動で切り替える」）。

音量調節

音量キーを押します。

チャンネル切替

次のいずれかの操作で切り替えます。

- ・チャンネル選局キーをタップする。
- ・テレビ視聴画面の映像を左右にフリックする。
- ・テレビ視聴画面の映像をロングタッチして表示されるチャンネルリストからチャンネルを選択する。

テレビを終了する

1 テレビ視聴画面→

- ・をタップしてホーム画面に戻っても、テレビは終了しません。テレビを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、さまざまな情報を見ることができます。

データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、データ通信料がかかります。

テレビの設定をする

テレビ視聴画面、データ放送の設定などを行うことができます。

テレビの操作メニューを利用する

1 テレビ視聴画面→

2	番組	番組表	番組表を表示します(▶P.68)。
		番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
		番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を表示します。
	録画ファイルリスト		録画した番組の一覧を表示します(▶P.68)。
	録画／視聴予約		録画／視聴の予約や、予約失敗一覧を表示します。
	テレビリンク		テレビリンクのリスト画面を表示します。 データ放送によってはテレビリンクが表示されるものがあり、登録することで関連サイトに接続できます。*1
	エリア切替		放送エリアの登録や変更をします。
	字幕／音声／映像設定		字幕表示のオン／オフや表示位置、主／副音声の設定をします。*2
設定	文字スーパー設定		フルセグの文字スーパー表示のオン／オフや、言語の設定をします。
	データ放送設定		位置情報や端末情報の利用、放送局メモリーの削除や郵便番号を設定します。
	オフタイマー		テレビ視聴を終了するタイマーの設定をします。
	受信機のデバイスID		受信機のデバイスIDを表示します。
	ご利用にあたって		ご利用にあたっての情報を表示します。

*1 テレビリンクには有効期限が設定されているものがあります。
*2 字幕表示位置はワンセグの横画面でのみ、音声種別は副音声を送信している番組を視聴中にのみ設定できます。

放送エリアを登録・変更する

- ・お使いの地域(放送エリア)によって視聴できるチャンネルは異なります。

■ 放送エリアを登録する

放送エリアは10件まで登録できます。

1 テレビ視聴画面→

2 [エリア切替]→未登録の項目をロングタッチ

3 [エリア情報設定]→地方、都道府県、地域を選択

受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

4 [OK]

■ 放送エリアを変更する

1 テレビ視聴画面→

2 [エリア切替]

3 登録されているエリアを選択

選択したエリアのチャンネルに切り替わります。

 memo

◎手順3で登録されているエリアをロングタッチすると、詳細表示やエリア情報設定、チャンネル更新、エリア名変更、設定削除ができます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。

1 テレビ視聴画面→映像をロングタッチ

チャンネルリストが表示されます。

2 リモコン番号を変更する放送局をタップ→映像をロングタッチ

3 設定するリモコン番号をロングタッチ

4 [はい]

別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、[チャンネル上書き登録]→[はい]と操作します。

 memo

◎設定した放送局を削除するには、手順2で削除する放送局をロングタッチ→[チャンネル削除]→[はい]と操作します。

視聴中のテレビ番組を録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

- ・データ放送の録画は、ワンセグのみです。

1 テレビ視聴画面→

録画が開始されます。

2 テレビ視聴画面→

3 [録画終了]／[現在の番組終了時に録画終了]

「現在の番組終了時に録画終了」をタップすると、番組の終了に合わせて録画を終了できます。

 memo

- ◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- ◎録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- ◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。
- ◎ワンセグ録画の場合、保存できる最大ファイルサイズは2GB、連続録画が可能な時間は約24時間です。
- フルセグ録画の場合、保存できる最大ファイルサイズは198GB、連続録画が可能な時間は約24時間です(microSDメモリーカード(200GB)の場合)。
- 保存できる件数は、ワンセグとフルセグを合わせて99件までです。
- ◎録画データはmicroSDメモリーカードに保存されます。microSDメモリーカードを取り付けていない場合は録画できません。
- ◎録画中に他のアプリからmicroSDメモリーカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画したテレビ番組を再生する

1 テレビ視聴画面→→[録画ファイルリスト]

録画ファイル一覧画面が表示されます。

2 再生する番組をタップ

 memo

◎番組をロングタッチすると選択状態となり、タイトル変更や削除、全件選択、プロパティの表示ができます。

番組表を利用する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表から視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- ・視聴や予約ができるのは地上デジタルテレビ放送の番組のみです。
- ・「auテレビ.Gガイドプレミアム(月額200円、税抜)」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- ・auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要です。au IDについて詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

1 テレビ視聴画面→→[番組]→[番組表]

番組表画面が表示されます。
初めて起動したときは、チュートリアルや登録画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 「Gガイド番組表」タブをタップ→番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

 memo

- ◎ホーム画面で→[auサービス]→[auテレビ.Gガイド]と操作してもauテレビ.Gガイドを起動できます。
- ◎番組表画面→と操作すると、番組表のメニュー画面からヘルプを確認したり、設定を変更したりすることができます。

おサイフケータイ

おサイフケータイとは

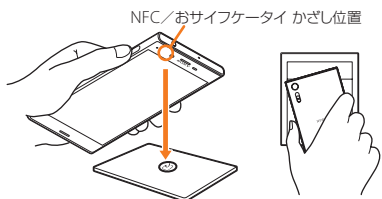
おサイフケータイとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®を含む非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意」(▶P.114)をあわせてご参照ください。

おサイフケータイのご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイのロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイをご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイをロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ対応アプリをアンインストールするときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してからアンインストールしてください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイの修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイがご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ対応アプリの起動中は、おサイフケータイによるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー/ライターとデータをやりとりする

NFC/おサイフケータイ かざし位置をリーダー/ライターにかざすだけでFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータをやりとりできます。



- NFC/おサイフケータイ かざし位置をリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- NFC/おサイフケータイ かざし位置はリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- NFC/おサイフケータイ かざし位置をリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- NFC/おサイフケータイ かざし位置とリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、NFC/おサイフケータイ かざし位置の付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

- ◎おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本体の電源を入れることでご利用になります。
- ◎「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定している場合はご利用いただけません(▶P.69)。

おサイフケータイを設定する

おサイフケータイのロックや、NFCのReader/Writer、P2P機能のオン/オフを設定します。

1 ホーム画面で[設定]→[もっと見る]

2 [NFC/おサイフケータイ 設定]

NFC/おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

3	NFC/おサイフケータイ かざし位置について	NFC/おサイフケータイ かざし位置を説明しています。
	NFC/おサイフケータイ ロック	▶P.69「おサイフケータイの機能をロックする」
	Reader/Writer, P2P	▶P.69「Reader/Writer, P2P機能をオンにする」
	Android Beam	
	タップ&ペイ	サービスで利用する決済カードを設定します。

memo

- ◎「おサイフケータイ」アプリの「ロック設定」や、「NFCメニュー」アプリの「NFCロック」からもNFC/おサイフケータイ 設定画面を表示することができます。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ対応サービスの利用を制限できます。

- ・おサイフケータイのロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 NFC/おサイフケータイ 設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロック]

2 ロックNo.を入力→[次へ]

おサイフケータイの機能がロックされ、ステータスバーにが表示されます。

NFC/おサイフケータイ ロックを解除する

1 NFC/おサイフケータイ 設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロック]

2 ロックNo.を入力→[次へ]

「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除されます。

memo

- ◎「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後に「NFC/おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ◎「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
- ◎ロックNo.はau ICカードに保存され、本製品から取り外してもau ICカード内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。
- ◎ロックNo.を変更するには、NFC/おサイフケータイ 設定画面→→[NFC/おサイフケータイ ロックNo.変更]→現在のロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。
- ◎ロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。ロックNo.を再設定するには、NFC/おサイフケータイ 設定画面→→[NFC/おサイフケータイ ロックNo.初期化]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。
- ◎本製品を紛失してしまった場合は、「Lookout for au」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「auお客さまサポートアプリを利用する」(▶P.72)をご参照ください。

Reader/Writer, P2P機能をオンにする

1 ホーム画面で[設定]→[もっと見る]

2 [NFC/おサイフケータイ 設定]

3 [Reader/Writer, P2P]の→[OK]

NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーにが表示されます。

memo

- 「Reader/Writer, P2P」をオンするとAndroid Beamもオンになります。Android Beamをオンすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
- 非接触ICカード機能は、NFCのReader/Writer, P2P機能のオン/オフにかかわらず利用できます。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

Android Beamでデータを送信／受信する

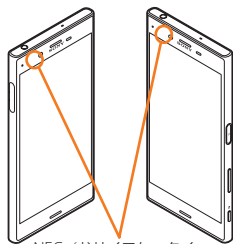
NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroid Beamを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- ・データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください(▶P.69「Reader/Writer, P2P機能をオンにする」)。
- ・すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

データを受信する

1 送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う

2 送信側の機器と、NFC／おサイフケータイ かざし位置を向かい合わせる



NFC／おサイフケータイ
かざし位置

データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーにが表示されることがあります。ステータスバーを下にスライド→「ビームが完了しました」と操作すると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

データを送信する

例：電話帳(顔写真なし)を送信する場合

1 ホーム画面で[]→[連絡先]

2 連絡先を選択

3 受信側の機器と、NFC／おサイフケータイ かざし位置を向かい合わせる

表示されている画面が小さくなり、「画面をタップしてビーム」と表示されます。

4 小さくなった画面をタップ

連絡先の登録データが送信されます。

memo

- アプリケーションによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応したアプリの一覧表示やNFCロックなど、各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[]→[ツール]→[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示されます。初めて起動したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリを選択

アプリによっては、ダウンロードや初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

memo

- 決済するカードを選択するには、NFCメニュー画面→[]→[決済カード設定]と操作し、画面の指示に従い設定します。

FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面で[]→[お買いもの]→[おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。

初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

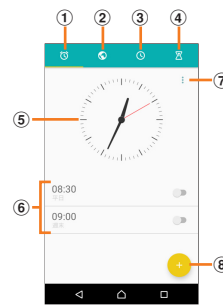
2 利用したいサービスを選択

サービスに対応したアプリをダウンロードするか、またはサービス紹介サイトに移動して、画面の指示に従って操作してください。

時計を利用する

アラームを設定できるほか、世界時計を表示させたり、ストップウォッチやタイマーを使用できます。

1 ホーム画面で[]→[ツール]→[時計]



《アラーム画面》

① アラーム画面を表示

② 世界時計を表示

③ ストップウォッチを表示

④ タイマーを表示

⑤ 時計表示

タップすると日付と時刻の設定画面が表示されます(▶P.90)。

⑥ アラーム設定一覧

⑦ オプションメニューアイコン

⑧ アラームの追加

アラームを設定する

1 アラーム画面→[]

2	時間	時間を設定します。
	繰り返し	アラームを使用する曜日を設定します。
	アラームテキスト	アラーム鳴動中に表示されるテキストを入力して設定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
	アラームの音量	バー上をタップしたり、スライダを左右にドラッグして音量レベルを調節します。
	徐々に音量変更	小さい音量から徐々に「アラームの音量」で設定した音量になるように設定します。
	スヌーズの間隔	アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
	バイブレーション	アラーム時刻に振動するかどうかを設定します。
	サイドキーの動作	アラーム鳴動中に音量キー/  を押したときの動作を設定します。
	自動消音時間	アラーム鳴動が自動で止まる時間を設定します。

3 [保存]

アラーム画面に戻ります。

アラーム画面に設定したアラームが追加され、ステータスバーにが表示されます。

アラームをオフにする

1 アラーム画面→オフにするアラームの[]

アラームがオフになります。

memo

- アラーム画面→オフにするアラームをロングタッチ→[アラームをOFFにする]と操作してもアラームをオフにできます。

アラームを削除する

1 アラーム画面→削除するアラームをロングタッチ

2 [アラームを削除]→[はい]

memo

◎複数のアラームを削除する場合は、アラーム画面→[]→[アラームを削除]→削除するアラームにチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。

■ アラームを止める

1 アラーム鳴動中の画面で[スヌーズ]／[]を右までドラッグ

「スヌーズ」ではアラームを止めた後、「スヌーズの間隔」で設定した時間の間隔で再度鳴ります。

memo

◎アラーム鳴動中の画面が表示されない場合は、通知パネルをタップすると画面が表示されます。

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

・利用方法、最新のお知らせについては、「auサービスTOP」アプリをご参照ください。

memo

◎ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で[]→[auサービス]→[サービスTOP]

auサービスTOPのトップ画面が表示されます。

- ・auサービスTOPのご利用にはau IDのログインが必要です。
- ・au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、auホームページに掲載の「設定ガイド Android 7.0 対応版」をご参照ください。
- ・初めて起動したときは、送信情報の概要画面などが表示されます。
- ・画面の指示に従って各種情報の設定を行うと、アプリホーム画面で各種情報を受け取ることができます。
- ・アプリホーム画面にはニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントチャ、au WALLET情報のほか、auサービスの特典情報などが表示されます。
- ・設定内容はサイドメニュー^{※1}の「設定」から変更できます。auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。

※1 サイドメニューを表示するには画面左下の「MENU」をタップしてください。

2 [MENU]

auサービスの主要サービスの一覧などが表示されます。

memo

- ◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- ◎アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ◎コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auスマートパスを利用する

「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。人気のアプリ・クーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。

・利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

memo

◎ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で[]→[auサービス]→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- ・auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。
- ・au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、auホームページに掲載の「設定ガイド Android 7.0 対応版」をご参照ください。
- ・初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。
- ・画面の指示に従って初期設定を行うと、各種情報を受け取ることができます。
- ・設定内容は、サイドメニュー^{※1}の「設定」から変更ができます。

※1 サイドメニューを表示するには画面左下の「メニュー」をタップしてください。

安心アクセス for Android™ を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限したりすることもできます。

・ご利用にはau IDが必要です。au IDについて詳しくは、auホームページに掲載の『設定ガイド Android 7.0 対応版』をご参照ください。

1 ホーム画面で[]→[お客さまサポート]→[安心アクセス]

初めて起動したときは、アクセス権限画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。

・ご利用になるお子様のau IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・EMA^{※1}が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報をご不適切に読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・EMA^{※1}が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報をご不適切に読み取るアプリも利用できません。 ・EMA^{※1}が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※1 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。
「機器管理機能」を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]

ウェブページが表示されます。

管理者情報を登録する

1 ホーム画面で[☎]→[お客さまサポート]→[安心アクセス]

2 [☎]→[管理者登録]

画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

以下の手順でお客さまのスマートフォンから利用することも可能です。

1 ホーム画面で[☎]→[お客さまサポート]→[安心アクセス]

2 [☎]→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

4	管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
	端末情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
	フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可/制限などカスタマイズが可能です。

memo

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

auお客さまサポートアプリを利用する

データ通信量や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込・変更手続きができます。

・利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に画面左下の[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[☎]→[お客さまサポート]→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは、画面の指示に従ってID設定を行ってください。
- ・利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2	今月のデータ通信量	利用したデータ通信量が確認できます。 ・トップ画面では今月のデータ通信量を表示しています。
	ご請求金額	ご請求金額が確認できます。 ・トップ画面では今月のご請求金額を表示しています。
	ご利用料金	月々の利用状況などを簡単に確認できます。
	au WALLET・ポイント	au WALLETの残高・ポイントが確認できます。
	ご契約内容の確認	auの端末の契約内容を確認できます。
	各種変更・お手続き	サービス申し込みや契約内容の変更ができます。
	困った時・わからない時	操作ガイドや迷惑メールフィルターの設定方法・紛失や故障時の手続き方法などが確認できます。

memo

◎ auお客さまサポートのトップ画面→[MENU]と操作すると、各画面へのメニュー一覧が表示されます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制^{*1}のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧に説明する「スマホ訪問サポート^{*2}」(8,500円～14,500円/回、税抜)^{*3}や、初心者の方にもわかりやすい「使い方ガイド本^{*4}」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

・ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)でご確認ください。

^{*1} 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

^{*2} 訪問先はお客様のご契約住所に限りです。また、別途交通費がかかる地域がございます。

^{*3} コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。

^{*4} 4本のプレゼントは1回限りとなります。

memo

◎ 「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」(▶P.72)、「リモートサポートを利用する」(▶P.73)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.72)をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

お客さまセンターから遠隔操作で本製品の位置検索・ロックを行う場合は、「auスマートサポート」「auスマートパス」「故障紛失サポート」のいずれかへの加入が必要です。

memo

◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

◎ ご利用の際には「機器管理機能」(▶P.88)の「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。

◎ 位置情報へのアクセスなどの確認画面が表示される場合には「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- ・Lookout for auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、位置検索をご利用いただけません。
- ・サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ・ご契約いただいているau Nano IC Card O4情報と利用開始設定時のau Nano IC Card O4情報が一致している端末の検索ができます。

Lookout for auを設定する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1 ホーム画面で[☎]→[お客さまサポート]→[Lookout for au]

2 メールアドレスとパスワードを入力→[保護を開始]

リモートサポートを利用する

ご利用にあたっては「auスマートサポート」「auスマートパス」「故障紛失サポート」のいずれかへの加入が必要です。

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、
☎0077-7-1111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

※ リモートサポートをご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 ホーム画面で[☰]→[お客さまサポート]→[リモートサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障受付を利用する

「故障かな？」と思ったときのトラブル診断をはじめ、簡単操作で故障紛失サポートセンターへの電話相談、インターネットでの交換申し込み、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面で[☰]→[お客さまサポート]→[故障受付]

トップメニュー画面が表示されます。

- 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2	トラブル診断	お客様ご自身で診断することができます。質問に答えていくと、トラブルの対処方法が見つかります。調子が悪いと思ったら、まずは診断！
	オンライン交換受付	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
	故障相談受付	簡単操作で、故障相談窓口となる「故障紛失サポートセンター」へお電話をおつなぎします。
	データ移行アプリ	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。

memo

◎「MENU」をタップするとサイドメニューが開きます。トップメニュー画面の各機能へのアクセスに加え、本製品の機能の診断などいくつかのメニューを提供しています。

◎各機能の利用中にトップメニュー画面に戻るときは、サイドメニューの「トップ」をタップしてください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[☰]→[お客さまサポート]

2 [au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作し、設定してください。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、アプリやゲームなどをダウンロード、インストールできます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となることがありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にデータ通信を行うものがあります。データ通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でデータ通信を切断するには、ホーム画面で[☰]→[設定]→[データ使用]→[モバイルデータ通信]の[●]→注意画面の内容を確認して[OK]と操作します。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリによっては、microSDメモリカードを挿入していないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリを検索してインストールする

1 ホーム画面で[☰]→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。
利用規約の同意画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリを検索→インストールするアプリをタップ

表示内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後の再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。
過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面→[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作して、Google Playのヘルプをご覧ください。

提供元不明のアプリをダウンロードする

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

お使いの本製品と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[☰]→[設定]→[ロック画面とセキュリティ]

2 「提供元不明のアプリ」の[●]

3 表示される内容を確認して[OK]

■ ダウンロードしたアプリを表示する

1 ホーム画面で[☰]→[設定]→[アプリ]

2 アプリを選択

アプリを管理する

アプリの情報を表示して、確認やアンインストール、設定の変更などを行ったりできます。

- 1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]
[E]→[システムを表示]と操作すると、すべてのアプリを表示できます。
- 2 アプリをタップ
各項目をタップして確認および設定を行います。

アプリを強制終了する

- 1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]
- 2 強制終了するアプリをタップ
- 3 [強制終了]→[OK]

アプリをアンインストールする

アプリをアンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

• アプリによってはアンインストールできない場合があります。

- 1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]
- 2 アプリをタップ
- 3 [アンインストール]→[OK]
アプリがアンインストールされます。

memo

- ◎ アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]→データを消去するアプリをタップ→[ストレージ]→[データを削除]→[OK]と操作します。
- ◎ アプリのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]→キャッシュを消去するアプリをタップ→[ストレージ]→[キャッシュを削除]と操作します。

アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化することができます。無効化したアプリはアプリ画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

• アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。再度有効化することで正しく動作します。

- 1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[アプリ]
- 2 無効化するアプリをタップ
- 3 [無効にする]→[アプリを無効にする]
再度有効化するには「有効にする」をタップします。

ファイル管理

内部ストレージ	76
microSDメモリカードを利用する	76
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	76
パソコンとデータのやりとりをする	77
USB Type-Cケーブルでパソコンと接続する	77
ファイルをコピーする	78
Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する	78
メディアサーバーを設定する	78
メモリを管理する	78
メモリの使用量を確認する	78
メモリをフォーマットする	78

内部ストレージ

本製品では、内部ストレージとmicroSDメモリーカードにデータを保存できます。

- アプリによっては、データの保存先としてmicroSDメモリーカード／内部ストレージのどちらかを選択できます。
- 内部ストレージからデータを確認したり、コピーしたりすることができます。操作について詳しくは、「ファイルをコピーする」(▶P.78)をご参照ください。

microSDメモリーカードを利用する

microSDメモリーカード(microSDHC／microSDXCメモリーカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリーカードに控えておくことができます。

- microSDメモリーカードのマウント中(読み書き可能状態)は、ステータスバーにが表示されます。

memo

- ◎ microSDメモリーカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.78)をご参照ください。
- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリーカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください(▶P.78)。
- ◎ アプリにより、microSDメモリーカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリーカードを挿入してご利用ください。

保護データについて

- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリーカードへ移動／コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

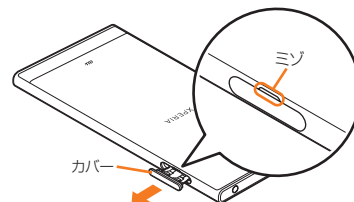
- microSDメモリーカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品にmicroSDメモリーカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本製品のmicroSDメモリーカード挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなどmicroSDメモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品では市販の2GBまでのmicroSDメモリーカード、32GBまでのmicroSDHCメモリーカード、256GBまでのmicroSDXCメモリーカードに対応しています(2017年1月現在)。
- 本製品はmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリーカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリーカードにつきましては、各microSDメモリーカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。
- microSDXCメモリーカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリーカードを差し込むと、microSDXCメモリーカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCメモリーカードを再度利用するためには、SDXC対応機器でmicroSDXCメモリーカードの初期化を行う必要があります(microSDXCメモリーカードのデータはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード(microSDHCメモリーカードやmicroSDメモリーカードなど)をご利用ください。

microSDメモリーカードを取り付ける／取り外す

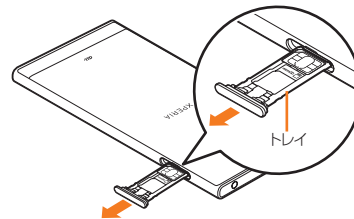
microSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

microSDメモリーカードを取り付ける

- 1 ミゾに指先(爪)をかけて、microSDメモリーカード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを矢印の方向に引き出す

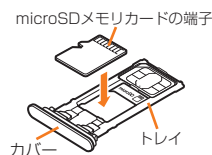


- 2 本体からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



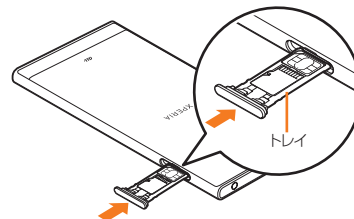
- 3 microSDメモリーカードの端子面を上にしてトレイにはめ込む

microSDメモリーカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

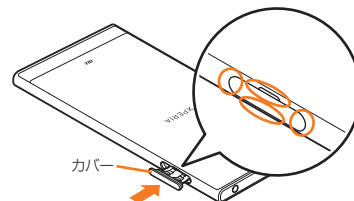


- 4 本製品を水平にして、トレイごと本体に差し込んでまっすぐ押し込む

トレイの差し込む方向にご注意ください。



- 5 トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認する

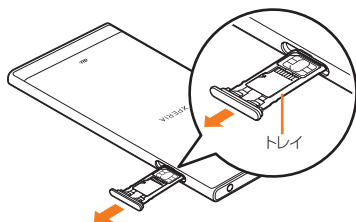


memo

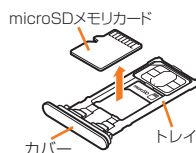
- ◎ microSDメモリーカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリーカードの端子部には触れないでください。

microSDメモ리카ードを取り外す

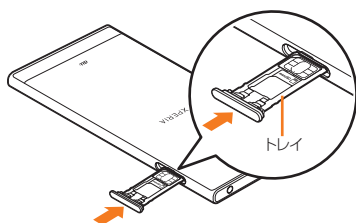
- 1 ミゾに指先(爪)をかけて、microSDメモ리카ード／au Nano IC Card 04挿入口のカバーを引き出す
- 2 本体からトレイをまっすぐに引き出して取り外す



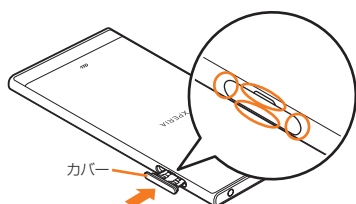
- 3 トレイからmicroSDメモ리카ードを取り出す



- 4 本製品を水平にして、トレイを本体に差し込んでまっすぐ押し込む
トレイの差し込む方向にご注意ください。



- 5 トレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認する



memo

◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンとデータのやりとりをする

パソコンを接続すると、本体の内部ストレージおよびmicroSDメモ리카ードのデータをパソコンとやりとりできます。

- ・USB Type-Cケーブル(市販品)を利用してパソコンに接続する方法を説明します。

memo

- ◎ステータスバーが表示されない状態(フルスクリーン)でアプリが起動している場合は、パソコン側でmicroSDメモ리카ードがマウント(読み書き可能状態)されないことがあります。
- ◎一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されていない場合があります。
- ◎パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境(OS)によって異なる場合があります。

USB Type-Cケーブルでパソコンと接続する

■ 本体メモリやmicroSDメモ리카ード内のデータをパソコンで操作する

- ・以下のオペレーティングシステム(OS)に対応しています。
 - ・ Microsoft Windows 10
 - ・ Microsoft Windows 8.1
 - ・ Microsoft Windows 7
 - ・ Microsoft Windows Vista
- ・ Macで操作するには「Xperia Companion」をダウンロードする必要があります。対応機種や推奨システムなどについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/software/xperia-companion/>
- ・ データ転送中にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続

パソコンに本製品のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
本製品上にソフトウェアのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」または「キャンセル」をタップしてください。
本製品上に「USB接続の用途」画面が表示されます。

2 [ファイルを転送する]

3 パソコンにポータブルデバイスとして本製品が表示されていることを確認

本製品の内部ストレージおよびmicroSDメモ리카ードにアクセスできるようになります。

memo

- ◎画像や音楽などのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されていない場合があります。
- ◎USB接続モードを変更するには、ステータスバーを下にスライド→USB接続モードの通知をタップし、USB接続モードを選択します。

USB Type-Cケーブルを安全に取り外す

1 データ転送中でないことを確認

2 USB Type-Cケーブル(市販品)を取り外す

ファイルをコピーする

microSDメモ리카ードにコピーする

- 1 ホーム画面で[設定]→[ストレージとメモリ]
- 2 画面上部のイラストをタップ→[内部共有ストレージ]→[ファイルビューアー]
- 3 フォルダを選択→コピーするファイルをロングタッチ→[:]→[コピー...]
- 4 [SDカード]
前回保存したフォルダなどが表示されている場合は、「[設定]」をタップしてください。
- 5 任意の場所で[コピー]

microSDメモ리카ードからコピーする

- 1 ホーム画面で[設定]→[ストレージとメモリ]
- 2 画面上部のイラストをタップ→[SDカード]
- 3 フォルダを選択→コピーするファイルをロングタッチ→[:]→[コピー...]
- 4 [XXXX(XXXXは製品名)]
前回保存したフォルダなどが表示されている場合は、「[設定]」をタップしてください。
- 5 任意の場所で[コピー]

Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する

Wi-Fi®機能を利用して、他のクライアント(DLNA: Digital Living Network Alliance)機器と本製品のメディアファイルを共有し再生できます。
操作の前にあらかじめ他のクライアント機器と同一のWi-Fi®ネットワークに接続しておきます。

メディアサーバーを設定する

- 1 ホーム画面で[設定]→[機器接続]
- 2 [メディアサーバー]

メディアサーバー設定画面が表示されます。

3	サーバー名の変更	クライアント機器上で見える本製品(サーバー)の名称を変更できます。
	メディア共有	クライアント機器からWi-Fi®経由で本製品に接続できるように設定します。
	アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
	登録された機器	本製品に登録されたクライアント機器を管理します。



memo

◎メディアサーバー設定画面→[設定]→[Wi-Fi設定]と操作すると、Wi-Fi®接続を設定できます。
◎「アルバム」/「ミュージック」アプリからもメディアサーバーを設定することができます。

メモリを管理する

メモリの使用量を確認する

本製品の内部ストレージ、microSDメモ리카ード、USBストレージ*1の容量を確認できます。

*1 USBストレージとは、市販のUSBホストケーブルを使って本製品に接続されたUSBメモリやUSBカードリーダーのことです。

- 1 ホーム画面で[設定]→[ストレージとメモリ]
- 2 画面上部のイラストをタップ
[設定]→[高度な設定]→[ストレージ]と操作しても表示できます。



memo

◎microSDメモ리카ードを認識していない場合は、microSDメモ리카ードを挿入したまま、ホーム画面で[設定]→[ストレージとメモリ]→画面上部のイラストをタップ→[SDカード]→[マウント]と操作してください。

メモリをフォーマットする

microSDメモ리카ード、USBストレージ*1を初期化できます。

・フォーマットを行うと、microSDメモ리카ードやUSBストレージに保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。

・USBストレージをフォーマットするときは、あらかじめ、市販のUSBホストケーブルを使ってUSBメモリやUSBカードリーダーを本製品に接続しておきます。

*1 USBストレージとは、市販のUSBホストケーブルを使って本製品に接続されたUSBメモリやUSBカードリーダーのことです。

- 1 ホーム画面で[設定]→[ストレージとメモリ]
- 2 画面上部のイラストをタップ
- 3 [SDカード] / [USBドライブ]
- 4 [設定]→[ストレージの設定]→[フォーマット]→[削除してフォーマット]

データ通信

Bluetooth®機能	80
Bluetooth®機能をオンにする	80
Bluetooth®機器を登録する.....	80
Bluetooth®機器と接続する.....	80
Bluetooth®機器の接続を解除する	80
Bluetooth®でデータを送受信する	80
無線LAN(Wi-Fi®)機能	81
無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする	81
Wi-Fi®ネットワークに接続する	81
Wi-Fi®ネットワークを切断する	81
テザリング機能を利用する	81
テザリングについて	81
USBテザリング機能をオンにする	81
Wi-Fi®テザリング機能をオンにする	81
Wi-Fi®テザリングの設定を変更する	82
Bluetooth®テザリング機能をオンにする	82

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。

memo

- ◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎本製品で対応しているBluetooth®のプロファイルについては、「主な仕様」(▶P.107)をご参照ください。
- ◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎USB Type-Cケーブル(市販品)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなる場合があります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

1 ホーム画面で[]→[設定]→[Bluetooth]

2 []

ステータスバーに (接続待機中のアイコン)が表示され、本製品が、他のBluetooth®機器から検出可能になります。

memo

- ◎Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声は自動的に流れなくなります。

Bluetooth®機器を登録する

本製品とBluetooth®機器を接続するには、ペア設定(登録)が必要です。

- ・あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

1 ホーム画面で[]→[設定]→[Bluetooth]

Bluetooth®設定画面が表示され、「使用可能な機器」欄に検出されたBluetooth®機器名が一覧表示されます。

2 ペア設定を行うBluetooth®機器名を選択

ペア設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。

3 [ペア設定する]

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4～16桁の数字)を入力します。

「ペアリングされた機器」欄にペア設定されたBluetooth®機器が表示されます。

memo

- ◎Bluetooth®機器と接続中は、機器の検索を実行できない場合があります。
- ◎セキュアシンプルペアリング(SSP)機能に対応したBluetooth®機器とペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。
- ◎接続するBluetooth®機器名が表示されていないときは、Bluetooth®設定画面→[]→[検索]と操作して、機器を再検索します。
- ◎ペア設定を解除するには、Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名の→[切断]と操作します。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

Bluetooth®機器と接続する

1 Bluetooth®設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続するBluetooth®機器名をタップ

機器と接続中は、ステータスバーにが表示されます。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth®設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名をタップ

2 [OK]

再接続するときは、機器名をタップします。

Bluetooth®でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

Bluetooth®でデータを受信する

1 相手のBluetooth®機器からデータを送信

ステータスバーにが表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [着信ファイル]→[受信する]

Bluetooth®でデータを送信する

1 各機能の共有メニューで[Bluetooth]→送信するBluetooth®機器を選択

無線LAN(Wi-Fi®)機能

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする

1 ホーム画面で[設定]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動します。
Wi-Fi®接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®がオンのときでもデータ通信を利用できます。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークが切断された場合には、自動的に4G(LTE/WiMAX 2+)ネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用になる場合は、データ通信料が発生しますのでご注意ください。
- ◎ Wi-Fi®を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。
利用可能なWi-Fi®ネットワークが表示されます。
オープンネットワークは📶で、セキュリティで保護されている場合は🔒で表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択

セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)を入力→[接続]と操作します。
接続が完了すると、ステータスバーに🔒が表示されます。

memo

- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
- ◎ アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、認証に問題がある旨や接続が制限されているなどのメッセージが表示されます。
- ◎ Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを変更]と操作すると、パスワードを編集できます。
- ◎ Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]と操作すると、手動でWi-Fi®ネットワークを追加できます。

Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する

1 Wi-Fi®設定画面→[更新]

更新	利用可能なWi-Fi®ネットワークを再検索できます。
その他の機能	証明書をインストールしたり、Wi-Fi Direct®機能やWPS対応機器を利用できます。

memo

- ◎ Wi-Fi®設定画面→[更新]と操作すると、保存済みのWi-Fi®ネットワークを表示したり、オープンネットワーク検出時に通知するかどうかやスリープ時にWi-Fi®接続をオフにするかどうかを設定します。また、MACアドレスやIPアドレスを確認できます。

Wi-Fi®ネットワークを切断する

1 Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [設定を削除]

memo

- ◎ 切断すると、再接続のときにセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。

memo

- ◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能をオンにする

本製品をUSB対応のパソコンと接続し、モデムとして利用することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

- ・ USB Type-Cケーブル(市販品)を利用してパソコンに接続する方法を説明します。

1 ホーム画面で[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続

パソコンに本製品のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
本製品上にソフトウェアのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」または「キャンセル」をタップしてください。
本製品上に「USB接続の用途」画面が表示されたら、「キャンセル」をタップしてください。

3 「USBテザリング」の[注意事項]→注意事項画面の内容を確認して[OK]

初めて本機能を利用したときは、パソコンに本製品のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。

memo

- ◎ USBテザリングに必要なパソコンのオペレーティングシステム(OS)は以下の通りです。
 - ・ Microsoft Windows 10
 - ・ Microsoft Windows 8.1
 - ・ Microsoft Windows 7
 - ・ Microsoft Windows Vista

Wi-Fi®テザリング機能をオンにする

本製品を無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントとして利用し、複数の無線LAN(Wi-Fi®)対応機器をインターネットに同時に接続することができます。

1 ホーム画面で[設定]→[もっと見る]→[テザリング]

2 「Wi-Fiテザリング」の[注意事項]→注意事項画面の内容を確認して[OK]

memo

- ◎ Wi-Fi®ネットワークに接続しているときに、Wi-Fi®テザリングを開始するとWi-Fi®接続は切断されますが、Wi-Fi®テザリングを終了すると自動的に接続されます。また、Wi-Fi®機能を利用してDLNA機器と本製品を接続しているときにも、Wi-Fi®テザリングを開始すると自動的に切断されます。
- ◎ 手順2で「ワンタッチテザリング」→注意事項画面の内容を確認して[OK]と操作すると、NFCを利用して無線LAN(Wi-Fi®)対応機器を接続できます。

Wi-Fi®テザリングの設定を変更する

初期状態で設定されているネットワーク名(SSID)やセキュリティの設定、パスワードを変更できます。

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング設定]→[Wi-Fiテザリング設定]
- 3 設定するWi-Fi®ネットワークのネットワーク名(SSID)を入力
初期状態では本製品のデバイス名が設定されています。
- 4 セキュリティタイプを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 5 [保存]

memo

◎初期状態ではパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。

Bluetooth®テザリング機能をオンにする

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[もっと見る]→[テザリング]
- 2 [Bluetoothテザリング]の[]→注意事項画面の内容を確認して[OK]

機能設定

設定メニューを表示する	84
auの各サービスの設定をする	84
無線とネットワークの設定をする	85
テーマを設定する	85
画面の設定をする	86
通知の設定をする	86
音の設定をする	86
アプリの設定をする	87
ストレージとメモリに関する設定をする	87
バッテリーに関する設定をする	87
ロック画面とセキュリティの設定をする	88
通話に関する設定をする	89
位置情報の設定をする	89
アカウントと同期の設定をする	89
バックアップとリセットの設定をする	90
Xperia™の紹介とヒントを確認する	90
日付と時刻の設定をする	90
言語と入力に関する設定をする	90
ユーザー補助の設定をする	91
端末情報に関する設定をする	91

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などができます。

設定メニューを起動する

1 ホーム画面で[設定]→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。



◎ 2本の指でステータスバーを下にスライド→[設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	ページ
au設定		
au設定メニュー	au ID設定など、auの各サービスの設定をします。	P.84
auお客さまサポート	auお客さまサポートに接続します。電話をかけたり、メッセージ(SMS)を送信することもできます。	P.72
無線とネットワーク		
Wi-Fi	Wi-Fi®を設定します。	P.81
Bluetooth	Bluetooth®を設定します。	P.80
データ使用	データ使用量を確認したり、モバイルデータ通信に関する設定をしたりできます。	P.85
機器接続	パソコンや他の機器に接続するときの設定などをします。	P.85
もっと見る	機内モードやテザリング、VPNなどの通信に関する設定をします。	P.85
テーマと壁紙		
テーマ	ホーム画面やロック画面の壁紙などを統一したイメージに設定したり、テーマをダウンロードすることができます。	P.85
壁紙	ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。	—
機器		
画面設定	画面の明るさやスリープなど、画面表示に関する設定をします。	P.86
通知	通知の表示に関する設定をします。	P.86
音設定	着信音や通知音の変更など音に関する設定をします。	P.86
アプリ	アプリの確認や設定をします。	P.87
ストレージとメモリ	ストレージとメモリの最適化やデータ転送、アプリのアンインストールを行い、本製品の動作改善をしたり、内部ストレージの空き容量を確保できます。	P.87
バッテリー	電池残量などの確認や、電池の消費を抑える設定、電池の寿命を延ばす設定をします。	P.87
ロック画面とセキュリティ	画面ロックの設定などセキュリティに関する設定をします。	P.88
通話設定	お留守番サービスや着信転送サービスなどネットワークサービスの設定や、伝言メモなど通話に関する設定をします。	P.89
位置情報	Wi-Fi®やGPS機能などを使った位置情報に関する設定をします。	P.89
アカウントとサービス		
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する設定をします。	P.89
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。	—
バックアップとリセット	バックアップの設定やネットワーク設定のリセット、データの初期化を行います。	P.90
システム		
Xperia™の紹介とヒント	本製品の機能紹介の確認や、本製品のカスタマイズ、データ保護の設定などを行います。	P.90
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などをします。	P.90
言語と入力	表示言語の設定やキーボードの設定など、言語と文字入力に関する設定をします。	P.90
ユーザー補助	通話終了の操作や、ユーザー補助サービスを設定します。	P.91
端末情報	電話番号や電池状態などの情報を確認したり、ソフトウェア更新を行います。	P.91



◎ 本製品の利用状況によっては、「au設定」の上に設定中の機能をお知らせする項目などが表示される場合があります。

auの各サービスの設定をする

1 設定メニュー画面→[au設定メニュー]

au ID	▶P.21「au IDの設定をする」
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
シンクコール	▶P.38「シンクコールを設定する」
ステータスバーの連絡先表示	通知パネルに表示する連絡先の設定ができます。
au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするために使います。
au Wi-Fi接続ツール	▶P.73「au Wi-Fi接続ツールを利用する」
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをauスマートパスに預けたり、microSDメモリカードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
スマホとタブレットを連携する auシェアリンク	スマートフォンとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマートフォンへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマートフォンをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
法的情報	法的情報を表示します。

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面

2	Wi-Fi	▶P.81「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
	Bluetooth	▶P.80「Bluetooth®機能」
	データ使用	▶P.85「データ使用に関する設定をする」
機器接続	スクリーンミラーリング※1	スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、本製品の画面を表示します。
	キャスト	Google Cast対応機器に本製品の画面を表示します。
	メディアサーバー	▶P.78「Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する」
	画面点灯を維持	外部機器接続中に本製品の画面を点灯し続けるように設定します。
	DUALSHOCK™4	ワイヤレスコントローラー(DUALSHOCK™4)で本製品を操作できるように設定します。
	USB接続設定	ソフトウェアをインストール: 本製品のコンテンツをパソコンから管理するソフトウェアのインストール確認画面を、パソコン接続時に表示するかどうかを設定します。 USB機器を検出: 本製品に取り付けたUSB機器を認識させます。 USB機器の接続について: USB機器の接続のしかたを確認できます。
	印刷	プリントサービスのアプリをインストールして、本製品から印刷できるように設定します。
もっと見る	機内モード	▶P.85「機内モードをオンにする」
	テザリング	▶P.81「テザリング機能を利用する」
	VPN	▶P.85「VPNを利用する」
	モバイルネットワーク	▶P.99「海外利用に関する設定を行う」 ・通常はモバイルネットワーク設定画面の「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にするとデータ通信が行えなくなる場合があります。
	NFC/おサイフケータイ 設定	▶P.69「おサイフケータイを設定する」

※1 Wi-Fi CERTIFIED Miracast™ 準拠
使用環境によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。
Wi-Fi® 機能のアンテナ部付近を手でおおくと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

データ使用に関する設定をする

データ使用量を確認したり、モバイルデータ通信に関する設定をしたりできます。

1 設定メニュー画面→[データ使用]

2	使用量	「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量が表示されます。
	データセーバー	アプリのバックグラウンドでのデータ通信を制限し、データ使用量を抑制するかどうかを設定します。
	モバイルデータ通信	モバイルデータ通信を有効/無効に設定します。 ・初期状態では「モバイルデータ通信」はオンに設定されています。
	モバイルデータ使用量	「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量をグラフで確認できます。
	請求期間	データの請求期間(測定期間)を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりします。
	Wi-Fiデータ使用量	Wi-Fi®データ使用量を確認できます。
	ネットワーク制限	特定のWi-Fi®ネットワークの利用を制限するように設定します。

memo

- ◎データセーバーでデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順2で[データセーバー]→[データ通信を制限しないアプリ]→設定するアプリの[]と操作します。
- ◎「モバイルデータ通信」の[]→[OK]と操作すると、データ通信がオフになり、Eメールの送受信などができなくなります。

機内モードをオンにする

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、NFCのReader/Writer、P2P機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面→[もっと見る]→「機内モード」の[]

ステータスバーに[]が表示されます。

memo

- ◎2本の指でステータスバーを下にスライド→[機内モード]と操作しても、オン/オフを切り替えることができます。
- ◎機内モードがオンの場合でもWi-Fi®、Bluetooth®、NFCのReader/Writer、P2P機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

VPNを利用する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

本製品にVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、下記のホームページをご参照ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

■ VPNを設定する

1 設定メニュー画面→[もっと見る]→[VPN]

2 []

注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください。

3 VPN設定の各項目を設定

4 [保存]

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

memo

- ◎VPNを編集するには、手順2でVPNの[]→各項目を入力/設定→[保存]と操作します。
- ◎VPNを削除するには、手順2でVPNの[]→[設定を削除]と操作します。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[もっと見る]→[VPN]

VPN設定画面に、設定したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 [接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに[]が表示されます。
VPNの追加時にユーザー名やパスワードを入力していない場合は、必要な認証情報を入力→[接続]と操作してください。

■ VPNを切断する

1 設定メニュー画面→[もっと見る]→[VPN]

2 接続中のVPNをタップ→[切断]

テーマを設定する

ホーム画面やロック画面の壁紙、設定画面のバックグラウンドカラーなどを、統一したイメージに変更します。また、お好みのテーマをダウンロードして追加することもできます。

1 設定メニュー画面→[テーマ]

2 設定したいテーマを選択

3 [テーマを設定]→[OK]

memo

- ◎手順2で「さらにテーマを取得」をタップすると、テーマをダウンロードして追加することができます。

画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2	明るさのレベル	画面の明るさレベルを調整します。
	明るさの自動調節	「明るさのレベル」で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。
	スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
	スマートバックライト	本製品を手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でも画面のバックライトを消灯しないように設定します。
	高画質モード	静止画や動画を鮮明に高画質で表示するように設定します。 ※1 X-Reality for mobile: 模様や輪郭を強調し、きめ細やかな質感や鮮鋭感を再現します。 ダイナミックモード: 色を強調することで、メリハリのある鮮やかな画像になります。
	ホワイトバランス	▶P.86「ホワイトバランスを調整する」
	フォント変更	フォントを変更します。 ・設定を変更すると、本製品が再起動します。
	フォントサイズ	画面に表示される文字サイズを設定します。
	表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
	システムアイコン	ステータスバーに表示するアイコンを選択できます。
	スクリーンセーバー	充電中の画面消灯時に表示するスクリーンセーバーの種類を設定します。
	機器が回転したときの表示	▶P.31「縦／横画面表示を自動で切り替える」
	電源ボタンを2回押してカメラ起動	画面ロックを解除せずに [カメラ] を2回押して「カメラ」アプリを起動できるようにするかどうかを設定します。
	カバーの選択	市販のカバーをご使用になる場合、お使いのカバーに応じて画面の明るさを補正するか、画面を暗くします。
	タップして起動	画面中央部をダブルタップして、スリープモードを解除できるようにするかどうかを設定します。
	手ぶくろモード	タッチ感度を上げて、手袋をしている状態でもタッチ操作ができるように設定します。 ・手ぶくろモードをオンにして手袋で画面に触れると、触れた箇所にリングが表示されます。 ・手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。

※1 静止画の画質改善処理は「アルバム」アプリでの表示に限ります。

ホワイトバランスを調整する

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[ホワイトバランス]

2 スライダを左右にドラッグ

「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前の設定を確認することができます。

3 [完了]

memo

◎ 手順2で [戻る] → [初期値に戻す] → [完了] と操作すると、初期状態に戻ります。

通知の設定をする

アプリや機能ごとに通知の表示方法を設定できます。また、通知LEDの動作や、ロック画面での通知に関する設定を変更することもできます。

アプリの通知を設定する

1 設定メニュー画面→[通知]

[設定] → [システムを表示] と操作すると、すべてのアプリを表示できます。画面上部の「すべてのアプリ」をタップすると、表示するアプリの条件を選択できます。

2 設定したいアプリをタップ

画面を上下にドラッグし、画面右端に表示されたスクロールバーを上下にドラッグすると、インデックス文字がポップアップ表示されてアプリを検索できます。

3	すべてブロック	すべての通知動作を行わないように設定します。
	鳴動なし	通知アイコンによる通知動作のみを行うように設定します。
	ロック画面※1	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。
	重要な通知	通知の鳴動制限機能※2を「重要な通知のみ」に設定したとき、通知を表示するかどうかを設定します。

※1 画面ロックの解除方法を「パターン」/「PIN」/「パスワード」に設定している場合にのみ表示されます。

※2 クイック設定パネル(▶P.30)のクイック設定ツールから設定できます。ご利用になる場合は、あらかじめ「編集」をタップして「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定してください。

memo

◎ 設定できる項目は、本製品の設定状況やアプリ／機能により異なります。

◎ 手順2で [設定] → [アプリの設定をリセット] と操作すると、アプリの無効化や標準アプリの設定、バックグラウンドデータの制限などをリセットできます。

通知の設定を変更する

1 設定メニュー画面→[通知]→[通知]

2	通知LEDでお知らせ	不在着信などを通知LEDの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
	ロック画面の通知	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。 ※1
	ロック画面における通知表示の維持	表示する通知があるとき、ロック画面に通知内容を表示し続けるかどうかを設定します。

※1 「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。

音の設定をする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2	オーディオ設定	DSEE HX ClearAudio+ サウンドエフェクト ダイナミックノーマライザー	圧縮された音楽データの再生時にハイレゾ・オーディオ相当で再現するかどうかを設定します。ハイレゾ・オーディオ対応ヘッドホンを使用した場合のみ再現されます。 ソニーが推奨する音楽のためのサウンド設定で、デジタル信号処理技術の設定をワンタッチで最適化します。 サウンドエフェクトの設定をします。 音量レベルの異なる複数の楽曲をシャッフル再生しても、同程度の音量で再生されるように設定します。
	アクセサリ設定	自動最適化 ノイズキャンセラー LDAC再生品質 マイク感度	接続したヘッドホンと聴覚の特性を解析して音質を最適化します。 ノイズキャンセラー機能を有効にして周囲の騒音を減らすことができます。ノイズキャンセリングヘッドホンを接続すると設定が可能になります。 LDAC対応機器を使用して高音質オーディオを再生するように設定します。LDAC対応機器と接続すると設定が可能になります。 マイク感度を設定します。
	メディアの音量	アラームの音量	▶P.86「各種音量を調節する」
	着信音の音量	着信時バイブレーション	着信時に振動(バイブレーション)をさせるかどうかを設定します。
	通知の鳴動制限	重要な通知の選択 自動ルール 通知表示のブロック	通知の鳴動制限機能※1を「重要な通知のみ」に設定したときにお知らせする重要な通知の種類を設定します。 特定の曜日・時刻や「カレンダー」アプリで登録した予定の日時に、自動的に通知の鳴動制限機能※1を起動するためのルールを設定します。 通知の鳴動制限機能※1を「サイレント」に設定したときに、ポップアップ表示や画面のバックライトの点灯、通知LEDの点灯／点滅などの通知動作を制限するかどうかを設定します。
	着信音	通知音	着信音を設定します。 通知音を設定します。
	アラーム音	その他の音とバイブレーション	アラーム音を設定します。 ダイヤルキー操作音／画面ロック音／タッチ操作音／タップ操作時のパイプを設定します。

※1 クイック設定パネル(▶P.30)のクイック設定ツールから設定できます。ご利用になる場合は、あらかじめ「編集」をタップして「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定してください。

memo

◎ マナーモードの設定については、「マナーモードを設定する」(▶P.31)をご参照ください。

◎ ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、設定メニュー画面→[言語と入力]→[画面上のキーボード]と操作し、各キーボードを選択して表示される設定画面から行います。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「メディアの音量」/「アラームの音量」/「着信音の音量」のスライダを左右にドラッグ

音量を下げるにはスライダを左に、上げるには右にドラッグします。



memo

- ◎「音設定」でアラームの音量を設定していても、「時計」アプリで設定している「アラームの音量」(▶P.70)が優先されます。

アプリの設定をする

1 設定メニュー画面→[アプリ]

[]→[システムを表示]と操作すると、すべてのアプリを表示できます。画面上部の「すべてのアプリ」をタップすると、表示するアプリの条件を選択できます。

2 管理したいアプリをタップ

画面を上下にドラッグし、画面右端に表示されたスクロールバーを上下にドラッグすると、インデックス文字がポップアップ表示されてアプリを検索できます。

3	アンインストール／無効にする	▶P.74「アプリをアンインストールする」 ▶P.74「アプリを無効化する」
	強制終了	▶P.74「アプリを強制終了する」
	ストレージ	データやキャッシュを削除します。
	データ使用	データ使用量を確認します。
	許可	アクセス権限の設定を変更します。
	通知	通知の設定を変更します。
	標準で開く	標準アプリの設定をクリアします。
	電池使用量	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認します。
	メモリー	メモリー使用量を確認します。



memo

- ◎手順2で[]をタップすると、アプリの権限や標準アプリなどを設定できます。
- ◎手順2で[]→[アプリの設定をリセット]と操作すると、アプリの無効化や標準アプリの設定、バックグラウンドデータの制限などをリセットできます。
- ◎アプリや使用状況によって、表示される項目が異なる場合や、項目が選択できない場合などがあります。

ホームアプリを切り替える

1 設定メニュー画面→[アプリ]

2 []→[ホームアプリ]

3	auベーシックホーム	ホーム画面をauベーシックホームに設定します。
	Xperia™ ホーム	▶P.24「ホーム画面を利用する」
	シンプルホーム	▶P.26「シンプルホームに切り替える」

ストレージとメモリに関する設定をする

ストレージとメモリの最適化やデータ転送、アプリのアンインストールを行い、本製品の動作改善をしたり、内部ストレージの空き容量を確保したりできます。

1 設定メニュー画面→[ストレージとメモリ]

2	ストレージの使用状況	ストレージの使用状況が表示されます。タップすると、ストレージの使用状況の詳細を確認したり、microSDメモリカード／USBストレージの初期化(フォーマット)をしたりできます(▶P.87)。
	スマートクリーナー	使用頻度に応じて、自動でストレージとメモリーを最適化するかどうかを設定します。
	データの転送*1	内部ストレージのデータをmicroSDメモリカードへ転送します。
	アプリをアンインストール	アンインストールするアプリを選択します。

*1 内部ストレージ内の特定のフォルダに格納されているデータのみがmicroSDメモリカードに転送されます。



memo

- ◎スマートクリーナーでキャッシュを削除しないアプリを設定するには、手順2で[]→[高度な設定]→[キャッシュを保持]→「アプリ」タブをタップ→設定するアプリにチェックを入れます。

ストレージの使用状況を表示する

内部ストレージやmicroSDメモリカード、USBストレージの容量を確認したり、microSDメモリカードやUSBストレージを初期化(フォーマット)したりできます。

1 設定メニュー画面→[ストレージとメモリ]

2 画面上部のイラストをタップ

[]→[高度な設定]→[ストレージ]と操作しても表示できます。

3	XX.XXGB使用中 (合計32.00GB)	内部ストレージの使用容量および合計容量が表示されます。
---	---------------------------	-----------------------------

内部共有ストレージ*1	内部ストレージの合計容量および使用容量が表示されます。タップすると機能やデータごとの使用容量などを確認できます。
SDカード*1	microSDメモリカードの合計容量および使用容量が表示されます。タップするとデータ一覧画面が表示され、保存されているデータを確認できます。
USBドライブ*1	USBストレージの合計容量および使用容量が表示されます。タップするとデータ一覧画面が表示され、保存されているデータを確認できます。
SDカードへデータ転送*1*2	内部ストレージのデータをmicroSDメモリカードへ転送します。

*1 microSDメモリカードやUSBストレージの認識状態によって表示が変わります。

*2 内部ストレージ内の特定のフォルダに格納されているデータのみがmicroSDメモリカードに転送されます。



memo

- ◎USBストレージは自動で認識されません。本製品に取り付けてから、ホーム画面で[]→[設定]→[機器接続]→[USB接続設定]→[USB機器を検出]と操作してください。
- ◎microSDメモリカード／USBストレージを安全に取り外すには、手順3で[SDカード]／[USBドライブ]の「」をタップします。再度認識させる場合は[SDカード]／[USBドライブ]→[マウント]と操作します。
- ◎microSDメモリカード／USBストレージのフォーマットを行うには、手順3で[SDカード]／[USBドライブ]→[]→[ストレージの設定]→[フォーマット]→[削除してフォーマット]と操作します。フォーマットを行うと保存されている内容がすべて消去されますのでご注意ください。

メモリの使用状況を確認する

本製品にインストールされているアプリの平均メモリー使用状況などを確認できます。

1 設定メニュー画面→[ストレージとメモリ]

2 []→[高度な設定]→[メモリー]

3	平均メモリー使用量	指定した期間内の平均メモリー使用状況が表示されます。
	アプリのメモリー使用状況	指定した期間内のアプリ／機能ごとのメモリー使用状況を確認します。



memo

- ◎期間を変更するには画面上部の「3時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」をタップします。

バッテリーに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[バッテリー]

2	電池使用量を表示	電池残量と残りの待受時間(見込み)が表示されます。タップすると、電池残量と前回のフル充電から電池を使用したアプリ／機能を確認できます。
	STAMINAモード	本製品の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。 「電池残量XX%で自動的に有効」を選択すると、指定した電池残量になったときにSTAMINAモードを有効にするように設定できます。「」をタップすると、有効にする電池残量を指定できます。 「節電レベル」を選択すると、制限のレベルを設定できます。 - STAMINAモードの設定に連動して、「電池残量と残り待ち受け時間(見込み)」に残りの待受時間の目安が表示されます。
	緊急省電力モード	▶P.32「緊急省電力モードを利用する」
	いたわり充電	▶P.20「電池の寿命を延ばすには(いたわり充電)」



memo

- ◎アプリごとの電池消費を抑えるために、端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします(電池の最適化)。電池の最適化の設定を変更するには、手順2で[]→[電池の最適化]→「アプリ」／「その他すべて」タブをタップ→設定するアプリにチェックを入れます。
- ◎手順2で[]→「アプリ」の電池消費についてと操作すると、使用していないアプリ、またはスリープモード中に電池を消費するアプリの動作を管理して、電池の消費を抑えることができます。

ロック画面とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]

2	画面のロック	▶P.88「画面ロックの解除方法を設定する」
	指紋設定	▶P.32「指紋認証機能を利用する」
	Smart Lock	画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合に、持ち運び検知機能や登録した場所／機器／顔／音声でロックを解除できるように設定します。
	ロック画面メッセージ	ロック画面に表示するメッセージを入力します。
	時計	ロック画面の時計を変更します。
	通知の設定	▶P.86「通知の設定を変更する」
	機器を暗号化	内部ストレージはお買い上げ時に暗号化されています。「画面のロック」で端末の再起動時に「パターン」／「PIN」／「パスワード」を利用するように設定した場合、電源を入れるたびに設定した画面ロックの解除方法で暗号化解除が必要になります。
	SIMカードロック設定※1	▶P.88「SIMカードロックを設定する」
	パスワードの表示	PIN／パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
	機器管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
	提供元不明のアプリ	▶P.73「提供元不明のアプリをダウンロードする」
	ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ユーザー認証情報	本製品に保存されているユーザー認証情報を管理します。
	機器メモリーかSDカードからインストール	暗号化された証明書をインストールします。
	認証情報ストレージのデータ削除	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。
	信頼できるエージェント	信頼できるエージェントを表示するかどうかを設定します。
	画面のピン留め	画面をピン留めできるようにするかどうかを設定します。オンに設定すると、最近使用したアプリのサムネイルに📌が表示されます(▶P.29)。
	使用履歴へアクセスするアプリ	使用履歴を読み取るアプリに、使用履歴へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

※1 au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は表示されません。

※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

画面ロックの解除方法を設定する

電源を入れたり、スリープ状態から復帰するたびにパターン／PIN／パスワードを入力しないと画面ロックを解除できないようにすることで、セキュリティを強化できます。

1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]→[画面のロック]

2 [パターン]／[PIN]／[パスワード]

「設定しない」を選択すると画面ロックは無効になります。

3 画面の指示に従って設定

設定が完了すると、設定メニューの「ロック画面とセキュリティ」に戻ります。

4 必要に応じて「画面のロック」の[🔒]

5	パターンの表示※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
	自動ロック	画面のバックライトが消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
	電源キーですぐにロック	[🔒]を押して画面のバックライトを消灯したとき、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。

※1 「パターン」に設定したときのみ表示されます。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定した後に、[🔒]を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯してから「自動ロック」の設定時間が経過すると、画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 [🔒]を押して、画面のバックライトを点灯

2 ロック画面で画面を上／左にスワイプ(フリック)→画面ロックの解除方法を入力

memo

◎ロック画面で画面を上／左にスワイプ(フリック)→[緊急／情報]と操作すると、緊急通報をかけることができます。
◎「パターン」／「PIN」／「パスワード」を設定して忘れた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]

3 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

memo

◎SIMカードロックを解除するには、手順2で再度[SIMカードをロック]→SIMカードのPINコードを入力→[OK]と操作します。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」を設定しているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

通話に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

2	着信転送・お留守番サービス	▶P.94「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」 ▶P.95「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」
	割込通話	▶P.97「割込通話サービスを利用する(オプションサービス)」
	ガイドの言語を変更する	▶P.97「英語ガイドランスへ切り替える」 ▶P.97「日本語ガイドランスへ切り替える」
	番号通知リクエストサービス	▶P.95「番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)」
	迷惑電話撃退サービス	▶P.98「迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)」
	オプションサービス申込	auお客さまサポートのオプションサービスのページに接続します。
	シンクコール設定	▶P.38「シンクコールを設定する」
	スマート着信操作	着信中に、画面をタッチせずに応答、着信拒否、消音の操作をするかどうかを設定します。
	通話アカウント	インターネット通話を設定します。
	伝言メモ	▶P.38「伝言メモを利用する」
	応答拒否メッセージ	着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信するときのメッセージを編集・設定します。
	プレフィックス設定	電話をかけるときに電話番号の先頭に付加できるプレフィックス番号を登録します。
	着信拒否設定	電話帳(連絡先)に登録していない電話番号、非通知の電話番号、公衆電話、通知不可能の電話番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。 また、電話番号を指定して電話の着信やメッセージ(SMS)の受信を拒否できます。 ▶P.38「通話履歴の電話番号を着信拒否に設定する」
	発信者番号通知	▶P.95「発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)」

位置情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報]

2 [位置情報]→[位置情報の精度を確認する]→[同意する]

位置情報の精度を改善するかどうかの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3	モード	位置情報を特定するモードを設定します。
	位置情報サービス	Googleロケーション履歴の設定や確認などを行ったり、アプリに位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定したりします。
	最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリが表示されます。

memo

- 手順2で[位置情報]→[スキャン]と操作すると、位置情報の精度を向上させるために、システムのアプリやサービスにWi-Fiネットワーク/Bluetooth®機器の検出を許可するかどうかを設定できます。
- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位(GPS)は、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品(携帯電話やデータ検出機など)は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ・建物の中や直下
- ・かばんや箱の中
- ・密集した樹木の中や下
- ・自動車、電車などの室内
- ・本製品の周囲に障害物(人や物)がある場合
- ・地下やトンネル、地中、水中
- ・ビル街や住宅密集地
- ・高圧線の近く
- ・大雨、雪などの悪天候

アカウントと同期の設定をする

自動で同期する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailやその他のオンラインサービスなどの自動同期を設定します。

- ・同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 [アカウントと同期]→[データの自動同期]→[OK]

手動で同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→アカウントの種類を選択

2 必要に応じて同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

同期を中止する

1 同期中(🔄が表示中)に[同期を中止]

2 [同期をキャンセル]

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種類を選択

3 画面の指示に従って操作

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→アカウントの種類を選択→必要に応じて削除したいアカウントを選択→[アカウントを削除]

2 [アカウントを削除]

memo

○auアカウントは削除できません。削除するには本製品をリセットする必要があります。

バックアップとリセットの設定をする

1 設定メニュー画面→[バックアップとリセット]

2	データのバックアップ	アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
	バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
	ネットワーク設定のリセット	ネットワーク設定をすべてリセットします。
	データの初期化	▶P.90「本製品をリセットする」

本製品をリセットする

本製品をリセットすると、ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本製品は初期状態に戻ります。

- ・必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。
- ・充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。

1 設定メニュー画面→[バックアップとリセット]→[データの初期化]→[携帯電話をリセット]

必要に応じて画面ロックの解除方法(「パターン」/「PIN」/「パスワード」)を入力します。

2 [すべて削除]

「すべて削除」をタップすると本製品は自動的に再起動します。
本製品の再起動または初期化中は、そのままお待ちください。

memo

◎ NFC / おサイフケータイ ロックのロックNo.とICカード内データは、本製品をリセットしても削除されません。

Xperia™の紹介とヒントを確認する

1 設定メニュー画面→[Xperia™の紹介とヒント]

2	Xperia™の紹介※1	基本機能の確認※2	AndroidとXperia™の基本機能を確認します。
		コンテンツの転送	以前に使用していた機器から連絡先や画像、音楽などのコンテンツを本製品にコピーします。
		新機能※2	最新のアプリ／機能について確認します。
		機器をカスタマイズ	テーマや壁紙、ロック画面の時計、着信音、通知音をカスタマイズします。
		データを保護	▶P.32「指紋認証機能を利用する」 ▶P.90「バックアップとリセットの設定をする」
		Xperia™を仕事で使用する	Wi-Fi®やEメールのアカウント、VPNなどを設定します。
		Xperia™サービス	Xperia™サービスを利用するためのサインインを行います。
		おすすめのアプリ	おすすめのアプリなどを確認・取得・購入します。
	Xperia™のヒント		本製品に関する便利な機能を知りたい、以前に表示されたヒントを確認※3したりします。

※1 「表示」をタップするとXperia™の紹介画面が表示され、項目を選択できます。以前の携帯電話の選択画面が表示された場合は、携帯電話の種類を選択してください。

※2 選択した以前の携帯電話の種類により表示される項目は異なります。携帯電話の種類を変更するには、Xperia™の紹介画面で「[設定]」→「[携帯電話を選択]」と操作します。

※3 「表示」をタップするとヒントを確認できます。ただし、ヒントが一度も表示されていない場合は「表示」をタップできません。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2	日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
	タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
	日付設定	日付を設定します。
	時刻設定	時刻を設定します。
	タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示	24時間表示にするかどうかを設定します。

memo

- ◎ 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、「タイムゾーンの選択」でタイムゾーンを設定してください。

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[言語と入力]

2	言語	▶P.90「言語の表示を切り替える」
	画面上のキーボード	POBox Plus Google 音声入力 ▶P.34「文字入力の設定をする」
	キーボードを管理	キーボードを切り替える(▶P.33)とき、キーボードの変更画面に表示するキーボードを設定します。
	物理キーボード	画面上のキーボードの表示 本製品にキーボードを接続して文字を入力するとき、ソフトウェアキーボードも表示するかどうかを設定します。 キーボードショートカットヘルパー 本製品に接続したキーボードで利用できるショートカットを表示します。
	スペルチェッカー	スペルチェックを行うかどうかを設定します。
	単語リスト	スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加できます。
	テキスト読み上げの出力	Google テキスト読み上げエンジン 言語やGoogle テキスト読み上げエンジンの設定、音声データのインストールを行います。 音声の速度 テキストを読み上げる速度を設定します。 音の高さ テキストを読み上げる音の高さを設定します。 読み上げ速度のリセット 「音声の速度」の設定を通常の速度にリセットします。 音声の高さをリセット 「音の高さ」の設定を標準の高さにリセットします。 サンプルを再生 音声合成の短いサンプルを再生します。 標準の言語のステータス テキスト読み上げに対応している言語が表示されます。
	ポインタースピード	マウスやトラックパッド使用時のポインタースピードを設定します。

言語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面→[言語と入力]→[言語]

2 [言語を追加]→使用する言語を選択→必要に応じて国・地域を選択

3 使用する言語の「＝」を最上段(「1」の位置)までドラッグ

memo

◎ 間違った地域／言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、下記のFAQをご参照ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2	TalkBack	ユーザー補助サービス(TalkBack)を設定します。
	スイッチアクセス	タップやロングタッチなどの各操作にキーを割り当てることができます。
	Lookout for au	Lookout for auのセーフブラウジング機能を有効にするかどうかを設定します。
	字幕	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定したりします。
	モノラル音声	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
	拡大操作	画面を3回タップして拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	フォントサイズ	文字サイズを設定します。
	表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
	大きなマウスポインター	マウス使用時のポインターを大きくするかどうかを設定します。
	高コントラストテキスト※1	背景色に対して文字色をくっきり表示する設定をします。
	色反転※1	画面の色を反転させるかどうかを設定します。
	色補正※1	色が区別しにくい場合に色補正します。
	満充電時に音を鳴らす	充電完了時に音で通知するかどうかを設定します。
	パスワードの音声出力	パスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
	テキスト読み上げの出力	▶P.90「言語と入力に関する設定をする」
	マウスポインターが停止したらクリック	マウス使用時にポインターが停止したらクリック操作を行うようにするかどうかを設定します。
	電源ボタンで通話を終了※2	[) を押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	ショートカット	ユーザー補助機能をすばやく有効にするかどうかを設定します。
	長押し感知までの時間	ロングタッチを感知するまでの時間を設定します。

※1 試験的な機能のため、適切に機能しない場合があります。

※2 通話中にスリープモードになった場合は、[) または音量キーの上／下を押してスリープモードを解除してから [) を押すと通話を終了できます。

memo

TalkBackのタッチガイド機能について

- ◎TalkBackをオンにするとタッチガイド機能もオンになります。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
- ◎タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。
項目を選択する場合は一度タップしてからダブルタップし、スライドをする場合は2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。
- ◎タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]→「タッチガイド」の[) →[OK]と操作します。

端末情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2	アプリケーション更新	アプリの更新確認をしたり、更新があるときに更新通知を表示するかどうかを設定したりできます。
	ソフトウェア更新	▶P.104「ソフトウェアを更新する」
	機器の状態	自分の電話番号や電池の状態、電池残量などを確認できます。
	法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
	認証	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認証番号を含む)について確認できます。
	使用情報	本製品の使用情報を送信するかどうかを設定します。
	モデル番号	バージョンや各番号などを確認できます。
	Android™バージョン	
	Androidセキュリティパッチレベル	
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	94
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス).....	94
着信転送サービスを利用する(標準サービス).....	94
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス).....	95
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス).....	95
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス).....	95
三者通話サービスを利用する(オプションサービス).....	97
割込通話サービスを利用する(オプションサービス).....	97
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス).....	98
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス).....	98
海外利用	99
au世界サービスについて.....	99
海外でご利用になるときは.....	99
海外利用に関する設定を行う.....	99
データサービス・メッセージサービスの通信料.....	99
渡航先で電話をかける.....	99
渡航先で電話を受ける.....	100
お問い合わせ方法.....	100
サービスエリアと海外での通話料.....	100
海外で安心してご利用いただくために.....	100
海外でのご利用上のご注意.....	101

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.52
	着信お知らせサービス	P.94
	着信転送サービス	P.94
	発信番号表示サービス	P.95
	番号通知リクエストサービス	P.95
有料オプションサービス※1	お留守番サービスEX	P.95
	三者通話サービス	P.97
	割込通話サービス	P.97
	迷惑電話撃退サービス	P.98
	通話明細分計サービス	P.98

※1 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- ◎「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送(▶P.96)の設定を行ってください。
※有料オプションサービスにご契約されていない場合にも設定を行ってください。
- ◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- ◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.95)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- ◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など、一般に転送先として望ましくないとされる番号には転送できません。
- ◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.95)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話通信事業者でも転送できない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]→[転送]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 2 転送時間や転送先電話番号を設定→[OK]
転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

memo

- ◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができません。
- ◎海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]→[転送]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 2 転送先電話番号を設定→[OK]

memo

- ◎話中転送と割込通話サービス(▶P.97)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- ◎海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話を転送します。

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]→[転送]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 2 転送先電話番号を設定→[OK]

memo

- ◎海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]→[転送]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 2 転送先電話番号を設定→[OK]

memo

- ◎フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

- 2 ご利用の本製品の電話番号を入力

- 3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。

- 4 ガイドンスに従って操作

memo

- ◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の携帯電話に表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由が表示されます。

表示	説明
「非通知」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→「発信者番号通知」の[☑]

memo

- ◎ 電話をかけるときに、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をオンにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知」をオフに設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
- ◎ 海外では、電話番号が通知されない場合があります。
- ◎ 海外では、「発信者番号通知」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービスEX(▶P.95)、着信転送サービス(▶P.94)、割込通話サービス(▶P.97)、三者通話サービス(▶P.97)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.98)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス]の[☑]

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(au世界サービスエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス]の[●]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」(▶P.85)をオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品のご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.95)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	99件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.96)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面で[☎]→[●]→[1][4][1]→[●]

2 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]→[お留守番サービス]

「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

2 転送時間を設定→[OK]

転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

memo

- ◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]→[お留守番サービス]

「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

2 [OK]

memo

- ◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]→[お留守番サービス]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

- 2 [OK]

memo

◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]→[お留守番サービス]
「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

- 2 [OK]

memo

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、お客様が本製品から設定した応答メッセージで応答します(▶P.96「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2へ進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。

- [1]: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
- [2]: 録音した伝言を「至急扱い」にする
- [9]: 録音した伝言を消去して、取り消す
- [*]: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面で[☎]→[☎]→[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[📞]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

memo

◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

- ◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[☎]→[☎]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージを再生する]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

- [1]: 同じ伝言をもう一度聞く
 - [4]: 5秒間巻き戻して聞き直す
 - [5]: 伝言を一時停止(20秒間)※1
 - [6]: 5秒間早送りして聞く
 - [7]: 再生済みの伝言をすべて消去する
 - [9]: 伝言を消去
 - [0]: 伝言再生中の操作方法を聞く
 - [#]: 次の伝言を聞く
 - [*]: 前の伝言を聞く
- ※1 「📞」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [📞]

memo

- ◎ ホーム画面で[☎]→[☎]→[1][4][1][7]→[📞]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- ◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.96)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や、現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[OK]

ホーム画面で[☎]→[☎]→[1][4][1][4]→[📞]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

- 2 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

- 2 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

- 2 [3]→応答メッセージを確認→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

- 2 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

memo

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.96)をご参照ください。

1 ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][6][1][0]→[🔴]

2 ガイダンスを確認→[🔴]

memo

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][6][1][1]→[🔴]

2 ガイダンスを確認→[🔴]

memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュボタンを使用します。プッシュボタンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[📶]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[英語ガイダンス]→[OK]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][1][9][1]→[🔴]と操作しても切り替えることができます。

2 [🔴]

memo

- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[📶]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[日本語ガイダンス]→[OK]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][1][9][0]→[🔴]と操作しても切り替えることができます。

2 [🔴]

memo

- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例: Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[通話を追加]→[🌐]→Bさんの電話番号を入力

通話中に連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [🔴]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出しします。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「🔴」をタップするとAさんとの通話に戻ります。

Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、画面に表示された保留中の相手をタップします。

4 [結合]

3人で通話できます。

「🔴」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であつた場合には、割り込みはできません。
- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。
- 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。
- ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[📶]→[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話]の[🔴]

ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][5][1]→[🔴]と操作しても開始できます。

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.95)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.98)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99)をオンに設定してください。

割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話]の[●]。
ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][5][0]→[🔴]と操作しても停止できます。

memo

- ◎ 4G (LTE/WiMAX 2+) データ通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99) をオンに設定してください。

割込通話を受ける

例: Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる
- 2 「🔴」を「🔴」(右)までドラッグ
- 3 [保留する]／[終了する]
「保留する」を選択した場合はAさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。画面に表示された保留中の相手をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

- ◎ 一方の通話を保留中に、通話中の相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][4][2]→[🔴]
ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[迷惑電話撃退サービス]→[+]→[最終着信の相手を追加]→[OK]と操作しても登録できます。

■ 指定の電話番号を登録する

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[迷惑電話撃退サービス]
- 2 [+]→[番号を追加]→撃退する電話番号を入力→[OK]

memo

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみ、受信拒否リストへの登録ができます。登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず、通常の接続となる場合があります。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ SMS

登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][4][4][9]→[🔴]

■ 指定の電話番号を削除／編集する

- 1 ホーム画面で[☎]→[設定]→[通話設定]→[迷惑電話撃退サービス]
- 2 削除／編集する電話番号をロングタッチ→[削除]／[編集]→[OK]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面で[📶]→[🌐]→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[🔴]
- 2 [🔴]

memo

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
- ◎ 海外では、VoLTE利用中のみご利用いただけます。「ローミング時にVoLTEを有効」(▶P.99) をオンに設定してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

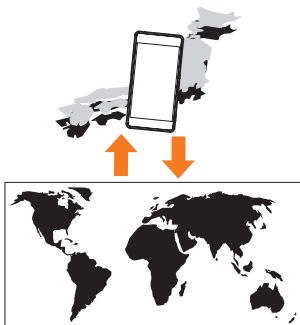
au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- ・各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

■ ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます
- 2 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます
- 3 データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.99)を有効に設定します



海外でご利用になるときは

海外でご利用になるときは、海外利用に関する各種設定を行ってください。新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、利用できるネットワークを検出して自動的に切り替えるように設定されています。

- ・渡航先においては、の表示のある場合にデータ通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS)のみご利用になれます。

データ通信を利用する

- 1 ホーム画面で→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]
- 2 「データローミング」の

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[もっと見る]→[モバイルネットワーク]
- 2 「ローミング時にVoLTEを有効」の

memo

◎LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEをご利用になれません。

データサービス・メッセージサービスの通信料

■ データサービス・メッセージサービスの通信料

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円/KB	100円/通	無料

■ 世界データ定額

定額対象の国・地域で利用料980円をお支払いいただくと日本でのデータ定額サービス等のデータ通信が24時間ご利用いただけます。世界データ定額ご利用の通信量は、各種データ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。

世界データ定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/re/sekai-data/>

memo

- ◎海外でご利用になった場合の料金です。
- ◎お客様がご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

■ 海外ダブル定額

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。

海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/charge/packet-discount/kaigai-double-teigaku/ite/>

memo

- ◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
- ◎渡航先でのデータ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00~23:59)の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面で→
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 国番号を入力
- 4 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の例外があります)。
- 5 相手の電話番号を入力→

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

- 1 ホーム画面で→
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 「1」(国番号)を入力
- 4 「123」(市外局番)を入力→「456XXXX」(相手の電話番号)を入力→

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

- 1 ホーム画面で→
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 「1」(国番号)を入力
- 4 「123」(市外局番)を入力→「456XXXX」(相手の電話番号)を入力→

memo

- ◎電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎一部の特番など、渡航先ではかけられない電話番号があります。
- ◎国・地域、および最新情報についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
国番号
<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料(▶P.100)がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間:24時間

1 ホーム画面で【】→【】

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→【】

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

渡航先別電話番号等の詳しい情報はauホームページの「海外からの問い合わせ番号」をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/inquiry/>

memo

- ◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- ◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- ◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/re/au-sekai-ryokin/>

memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- ◎ 国・地域によっては、【】をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- ・ 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.100)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・ 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.88)をご参照ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ・ ご利用料金は国・地域によって異なります。
- ・ 海外における通話料・データ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ・ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- ・ 国・地域によっては、【】をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- ・ 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- ・ 国・地域によっては、「」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- ・ 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- ・ 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- ・ 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのデータ通信料に関する注意

- ・ 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- ・ 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- ・ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ・ SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- ・ 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

- ・ 渡航先での通話料・データ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ・ 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- ・ 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ・ 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとながりがやすくなる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・ サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- ・ 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- ・ 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・ au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- ・ 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- ・ 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- ・ 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、海外では使うことができます。
- ・ 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

付録.....	104
ソフトウェアを更新する	104
故障とお考えになる前に	104
アフターサービスについて	105
SIMロック解除	106
周辺機器	106
主な仕様	107
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	107
名前から引く索引.....	108
目的から引く索引.....	111

ソフトウェア更新やアフターサービス、周辺機器、主な仕様についてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

ソフトウェアを更新する

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、課金が発生します。
 - ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
 - 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
 - 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
 - ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(連絡先、メール、静止画、楽曲データなど)は変更されませんが、更新内容によってはお客様が設定した情報が初期化される場合があります。お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
 - ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
 - ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本製品内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
 - au世界サービスをご利用の際は、モバイルネットワーク(海外GSM/UMTS/LTE接続)でのソフトウェア更新のダウンロードはできません。
- ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新中にできない操作について
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新をダウンロードできます。

- ホーム画面で[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]**
- [更新]**
ソフトウェア更新が検索されます。
- ダウンロードするソフトウェアをタップ**
以降は画面の指示に従って操作してください。

最新のソフトウェアを自動ダウンロードする

ソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーにが表示されます。

- 自動ダウンロードするために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

- ホーム画面で[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]**
- [設定]**
- [自動更新を許可]→[常に自動的に更新する]／[Wi-Fi経由でのみ自動的に更新する]**
メッセージが表示されたら、内容をご確認のうえ「同意する」をタップしてください。



◎手順2の設定画面では、自動インストール時間の設定や通知の設定もできます。

パソコンに接続して更新する

あらかじめパソコンに「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェアをインストールする必要があります。
ソフトウェアのインストール方法などについては、下記のホームページをご参照ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに、「故障受付」アプリ(▶P.73)にて「トラブル診断」を行ってください。
「トラブル診断」を利用するには、ホーム画面で→[お客さまサポート]→[故障受付]→[トラブル診断]と操作します。

こんなときは	ご確認ください	参照
 を押しても電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.20
	 を1秒以上長押ししていますか？	P.20
	ディスプレイに電池残量が少ないことを示すアイコンが表示されたり、通知LEDが赤色で点滅していませんか？	P.20
	何も動作しない場合、電池残量が十分ではない可能性があります。その場合はしばらく充電してください。	P.20
電源が勝手に切れる	内蔵電池は充電されていますか？	P.20
本製品起動時の画面表示中に電源が切れる	内蔵電池は充電されていますか？	P.20
画面が動かなくなり、電源が切れない	 と音量キーの上を同時に約8秒間押し、連続して3回振動した後に指を離し、強制終了してください。	P.20
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.20
	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
	電話番号が間違っていないですか？ (市外局番から入力していますか？)	P.36
	電話番号入力後、  をタップしていますか？	P.36
電話がかかってこない	「機内モード」が設定されていませんか？	P.85
	電波は十分に届いていますか？	P.29
	サービスエリア外にいませんか？	P.29
	電源は入っていますか？	P.20
 (圏外)が表示される	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.85
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.94
	サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか？	P.29
Wi-Fi®がつかない	内蔵アンテナ部付近を手でおおっていませんか？	P.18
	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
キー/タッチパネルの操作ができない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.29
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.81
	電源は入っていますか？	P.20
	「画面のロック」が設定されていませんか？	P.88
タッチパネルで意図した通りに操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.20
	 を押して画面のバックライトを点灯させてください。	—
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.24
	爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたまま操作したりしていませんか？	P.24
充電ができない(通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない)	ロック画面で上/左にスワイプ(フリック)しても画面ロックを解除できない場合は、TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている可能性があります。TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている場合は、2本の指で画面を上/左にスワイプ(フリック)してください。	P.91
	指定の充電用機器(別売)は正しく取り付けられていますか？	P.20
いたわり充電が開始されない	充電の習慣に規則性を見つけれない場合は学習が完了しないため、いたわり充電は開始されません。	P.20
満充電にならない	いたわり充電中に充電用機器(別売)を取り外すと、満充電されない場合があります。満充電にするには、ホーム画面で  →[設定]→[バッテリー]→[いたわり充電]→  と操作していたわり充電をオフにし、通常の充電に切り替えてください。	P.20
充電が完了しない	本製品の温度が上昇している、または低温になっていませんか？	P.20
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.20
	通知LEDが緑色に点灯するまで、充電してください。	P.11
	内蔵電池が寿命となっていないですか？  (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.29
電話が勝手に応答する	伝言メモが設定されていませんか？	P.38
電話をかけたときに受話口から「ブツ、ブツ、ブツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか？ 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	P.29

こんなときは	ご確認ください	参照
画面のバックライトがすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.86
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？ 近接／照度センサーをふさいだり、近接／照度センサーの上にシールなどを貼っていませんか？ 本製品の温度が上昇していませんか？ 本製品の温度が上昇するとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。	P.86 P.18 －
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？ 受話口を耳でふさいでいませんか？ 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.36 P.18
テレビが映らない、映像が止まる、音声は止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ 放送エリアが間違っていますか？	P.67 P.68 P.67
「アルバム」アプリで表示／再生できない	本製品で対応可能なファイル形式ですか？ ファイル形式によっては、本製品で表示／再生できない場合があります。	－
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモ리카ードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
「SIMカードが挿入されていません」と表示される	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
連絡先の登録ができない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 非通知で電話を受けた場合は、連絡先に登録することができません。	－
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントを設定しましたか？	P.53
microSDメモ리카ードを認識しない	microSDメモ리카ードは正しく取り付けられていますか？ microSDメモ리카ードのマウントが解除されていますか？	P.76 P.87
USB Type-Cケーブル(市販品)などで接続した外部機器が認識されない	外部機器を取り付け直してから、[USB機器を検出]→[OK]と操作してください。ただし、機器によっては検出されない場合があります。	P.85
Bluetooth®対応機器と接続できない／検索しても見つからない	接続するBluetooth®対応機器を検出可能の設定にしてからペア設定をしてください。	P.80
アプリが正しく動作しない	アプリの権限を許可していますか？ 許可をしないアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。	P.30、 P.87
本製品の動作が不安定	お買い上げ後に本製品へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード(初期状態に近い状態で起動させる機能)で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 セーフモードを起動するには、電源を切った状態で[○] (1秒以上長押し)→XPERIAロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。 電源が入った状態でセーフモードを起動するには、[○] (1秒以上長押し)→「電源を切る」をロングタッチ→[OK]と操作してください。 セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップしたうえでセーフモードをご利用ください。 ・アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してご利用ください。	－

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページのauお客さまサポート「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/trouble/>

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理したうえで交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本体以外の同梱品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのXperia™ XZ本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
- ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。⑤地震、風水害などの天災および火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
 6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 7. 出張による修理対応はお受けできません。
 8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPiItまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート	
			会員	非会員
交換用携帯電話機 お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	下記、「交換用携帯電話機 お届けサービス (会員)ご負担金」の 表を参照	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、 紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料(3年間保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額はすべて税抜

交換用携帯電話機お届けサービス(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円/ 長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円/ 長期ご利用特典※1 6,000円
WEB割引※2/代用機なし割引※3の両方を適用	4,000円/ 長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円/ 長期ご利用特典※1 5,000円
代用機なし割引※3のみを適用	4,500円/ 長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円/ 長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※1 3年目(25ヶ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引: auホームページから交換用携帯電話機お届けサービスを申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

WEB割引の場合は代用機の貸し出しはできませんので、自動的に代用機なし割引があわせて適用されます。
※3 代用機なし割引: 交換用携帯電話機お届けサービスのご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色※1)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※1 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau Nano IC Card 04の再発行を伴う場合は、別途au Nano IC Card 04再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ・ SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- ・ 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ SIMロック解除後の設定については、ホーム画面で[☰]→[設定]→[端末情報]→[機器の状態]→[SIMのステータス]→[SIMカードステータス]と操作してください。
- ・ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

■ ソニーモバイルTVアンテナケーブル02(02SOHSA)

■ ソニーモバイル卓上ホルダ02(02SOPUA)(別売)※1

■ TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)

■ 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)※2

■ 共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)※2

■ MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)

■ auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)

※1 アタッチメントは52Bを取り付けてお使いください。

※2 ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

主な仕様

ディスプレイ		約5.2インチ、トリルミナス®ディスプレイ for mobile 約1.677万色 1.080×1.920ドット
質量		約161g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約72mm×146mm×8.1mm
内蔵メモリ容量		ROM:約32GB RAM:約3GB
外部メモリ		microSD 2GBまで対応 microSDHC 32GBまで対応 microSDXC 256GBまで対応 (2017年1月現在)
撮像素子(種類)		カメラ:裏面照射積層型CMOS フロントカメラ:裏面照射積層型CMOS
カメラ画素数		カメラ:有効画素数 約2,300万画素 フロントカメラ:有効画素数 約1,320万画素
連続通話時間	国内	約1,630分
	海外(GSM)	約710分
連続待受時間	国内	約660時間
	海外(GSM)	約690時間
充電時間		TypeC共通ACアダプタQ1(別売)使用時:約160分 共通DCアダプタQ3(別売)使用時*1:約500分
連続フルセグ視聴時間		約7時間50分
連続ワンセグ視聴時間		約9時間10分
連続テザリング時間		約500分
Wi-Fi®テザリング最大接続数		10台
ネットワーク環境		無線LAN(Wi-Fi®)機能IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz)
Bluetooth®機能	通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.4.2に準拠
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 1
	通信距離*2	見通しの良い状態で約10m以内
	対応Bluetooth®プロファイル*3	HSP、HFP、PBAP*4、A2DP、AVRCP、SPP、OPP、HID、PAN、HOGP、MAP、DUN*5、GATT
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2,400MHz~2,483.5MHz)

- ※1 ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※4 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。
※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたってはauホームページをご参照ください。

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間・連続フルセグ視聴時間・連続ワンセグ視聴時間・連続テザリング時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以上になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SOV34の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.178W/kg*2、身体に装着した場合のSARの最大値は0.405W/kg*2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- auのホームページ:
<http://www.au.kddi.com/>
- ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

名前から引く索引

記号／数字／アルファベット

ACアダプタ	20
Android Beam	70
au ID 設定	21
au Nano IC Card 04	18, 19
取り付け	19
取り外し	19
au Wi-Fi接続ツール	73
auお客さまサポートアプリ	72
au国際電話サービス	37
auサービスTOP	71
auスマートサポート	72
auスマートパス	71
au設定メニュー	84
au位置情報サービス	84
auかんたん設定	84
au災害対策・緊急速報メール	84
au通信品質レポート機能	84
歩きスマホ注意アプリ	84
ステータスバーの連絡先表示	84
スマホとタブレットを連携するauシェアリンク	84
データお預かり設定	84
データを移行する	84
法的情報	84
auのネットワークサービス	94
英語ガイダンス	97
遠隔操作サービス	94, 97
応答メッセージ	96
お留守番サービスEX	95
お留守番サービス総合案内	95
圏外転送	94, 96
三者通話サービス	97
蓄積停止	97
蓄積停止解除	97
着信お知らせサービス	94
着信転送サービス	94
通話明細分計サービス	98
伝言お知らせ	96
伝言の録音	96
日本語ガイダンス	97
発信番号表示サービス	95
番号通知リクエストサービス	95
フル転送	94, 96
ボイスメール	96
ボイスメールの録音	96
無応答転送	94, 95
迷惑電話撃退サービス	98
留守伝言再生	96
話中転送	94, 95
割込通話応答	98
割込通話サービス	97
Bluetooth®	80
起動	80
周波数帯	80
接続	80
接続解除	80
注意事項	80
パスキー	80
ペア設定	80
Bluetooth®アンテナ	18
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能の注意事項	14
Chrome	56
画像ダウンロード	57
設定	57
タブ	56
テキスト検索	56
テキストコピー	57
ブックマーク	57
履歴	57
履歴削除	57
リンク	57
DLNA	78
メディアサーバー	78
Eメール	40
Eメールアドレスの変更	50
Eメール設定	48
検索	44
作成	42
受信	43
送信	42
送信予約	42

デコレーションメール	43
添付	42
表示モード切り替え	40
フォルダ作成	46
フォルダロック	47
復元	50
振分け条件	46
迷惑メールフィルター	51
Gmail	54
作成	54
受信	54
受信トレイ画面	54
送信	54
転送	54
返信	54
Google	84
Google Play	73
Googleアカウントのセットアップ	21
Google音声検索	30
GPSアンテナ	18
Lookout for au	72
LTE NET	56
LTE NET for DATA	56
microSDメモリーカード	76
著作権保護されたデータ	76
取扱上のご注意	76
取り付け	76
取り外し	77
NFC	
Android Beam	70
NFCメニュー	70
NFC／おサイフケータイ ロック	69
Reader/Writer, P2P	69
設定	69
NFC／おサイフケータイ かざし位置	18, 69
PCメール	53
Cc/Bccを追加	54
更新	54
削除	54
作成	54
受信	54
設定	53
送信	54
転送	54
返信	54
メールアカウントを設定	53
PINコード	14
PINロック解除コード	14
QR・バーコードリーダー	65
RGB-C-IRセンサー	18
SAR	107
SIMカードロック設定	88
SIM PINの変更	88
SIMロック解除	106
SMS	52
作成	52
受信	52
設定	53
送信	52
TVアンテナ	67
USB Type-Cケーブル	
接続	77
取り外し	77
USB Type-C接続端子	78
VPN設定	85
Wi-Fi®	81
起動	81
接続	81
切断	81
設定	81
メディアサーバー	78
Wi-Fi®アンテナ	18
Xperia™の紹介とヒント	90
Xperia™の紹介	90
Xperia™のヒント	90

あ

アイコン	29
ステータスアイコン	29
通知アイコン	29
アカウントと同期	89
削除	89
自動同期	89
手動同期	89
追加	89

同期の中止	89
アフターサービス	105
アプリ	27, 73, 87
アプリ画面	27
アプリの種類	27
アンインストール	28, 74
インストール	73
管理	74
強制終了	74
許可	87
ストレージ	87
通知	87
提供元不明のアプリ	73
データ使用	87
電池使用量	87
並べ替え	28
標準で開く	87
無効化	74
メモリー	87
アプリ画面	27
アプリ選択画面	31
アプリの権限	30
アプリの設定	87
アラームの設定	70
アルバム	65
画像再生	65
共有	65
スライドショー	66
動画再生	66
登録	66
トリミング	66
表示	65
暗証番号	14
安心アクセス	71
安全上のご注意	8
いたわり充電	20
位置情報	89
位置情報サービス	89
最近の位置情報リクエスト	89
モード	89
インターネット	56
ご利用データ通信料	56
データ通信	56
ウィジェット	25
削除	25
追加	25
英語ガイダンス	97
おサイフケータイ	69
NFC／おサイフケータイ ロック	69
ご利用上の注意	69
設定	69
音設定	86
アクセサリ設定	86
アラーム音	86
オーディオ設定	86
その他の音とバイブレーション	86
着信音	86
着信時バイブレーション	86
通知音	86
通知の鳴動制限	86
音声検索	30
音量キー	18
音量設定	86

か

海外利用	99
VoLTEを有効	99
お問い合わせ方法	100
サービスエリア	100
注意事項	101
通信料	99
通話料	100
データサービス・メッセージサービス	99
データ通信	99
各部の名称	18
壁紙	25
カメラ	62
解像度	62
顔検出	64
カメラアプリ	63
起動	62
クイック起動	62, 65
ご利用上の注意	62
撮影画面	62
撮影モード	62

サムネイル.....	62
静止画撮影.....	64
設定.....	63
タッチ撮影.....	64, 65
動画録画.....	65
ハンドシャッター.....	64
カメラキー.....	18
カメラレンズ.....	18
画面設定.....	86
明るさの自動調節.....	86
明るさのレベル.....	86
カバーの選択.....	86
高画質モード.....	86
システムアイコン.....	86
スクリーンセーバー.....	86
スマートバックライト.....	86
スリープ.....	86
タップして起動.....	86
手ぶくろモード.....	86
電源ボタンを2回押してカメラ起動.....	86
表示サイズ.....	86
フォントサイズ.....	86
フォント変更.....	86
画面ロック.....	20, 88
画面ロック解除.....	20, 88
自動ロック.....	88
電源キーですぐにロック.....	88
パターンの表示.....	88
画面ロックキー.....	18
キーアイコン操作.....	24
機器が回転したときの表示.....	31
機器接続.....	85
DUALSHOCK™4.....	85
USB接続設定.....	85
印刷.....	85
画面点灯を維持.....	85
キャスト.....	85
スクリーンミラーリング.....	85
機内モード.....	85
緊急省電力モード.....	32
近接／照度センサー.....	18
クイック設定パネル.....	30
携帯電話機の比吸収率.....	107
携帯電話をリセット.....	90
言語と入力.....	90
画面上のキーボード.....	90
スペルチェッカー.....	90
単語リスト.....	90
テキスト読み上げの出力.....	90
物理キーボード.....	90
ポインターの速度.....	90
言語表示切替.....	90
検索.....	30
国際電話.....	37, 99
故障受付.....	73
故障とお考えになる前に.....	104
故障紛失サポート.....	105

さ	
再起動.....	20
最近使用したアプリ.....	28
自分の連絡先.....	38
指紋センサー.....	18
指紋認証機能.....	32
登録.....	32
認証.....	32
充電.....	20
ACアダプタを使う.....	20
周辺機器.....	106
修理.....	105
受話口.....	18
仕様.....	107
ショートカット.....	25
削除.....	25
追加.....	25
初期設定.....	21
au ID 設定.....	21
Googleアカウント.....	21
シンクコール.....	38
シンクコール設定.....	38
シンプルホーム.....	26
アプリ.....	26
アプリの並べ替え.....	26
アプリの変更.....	26
シンプル設定.....	26

短縮.....	26
ホーム切替.....	27
マイアプリ.....	26
ズームキー.....	18
スクリーンショット.....	31
スクリーンミラーリング.....	85
ステータスバー.....	29
ストレージ.....	76
ストレージとメモリ.....	87
アプリをアンインストール.....	87
ストレージ.....	87
ストレージの使用状況.....	87
スマートクリーナー.....	87
データの転送.....	87
メモリ.....	87
スピーカー.....	18
セーフモード.....	105
セカンドマイク.....	18
設定メニュー.....	84
送話口.....	18
ソフトウェア更新.....	104
自動ダウンロード.....	104
ダウンロード.....	104
注意事項.....	104
パソコンに接続.....	104

た	
タッチパネル.....	18, 24
タッチパネル操作.....	24
スライド.....	24
スワイプ.....	24
タップ.....	24
ダブルタップ.....	24
ドラッグ.....	24
ピンチ.....	24
フリック.....	24
ロングタッチ.....	24
縦横表示切替.....	31
端末情報.....	91
Androidセキュリティパッチレベル.....	91
Android™バージョン.....	91
アプリケーション更新.....	91
カーネルバージョン.....	91
機器の状態.....	91
使用情報.....	91
認証.....	91
ビルド番号.....	91
ベースバンドバージョン.....	91
法的情報.....	91
モデル番号.....	91
地上デジタルテレビ放送.....	67
着信音設定.....	60, 66, 86
着信履歴.....	36
通知.....	86
通知LEDでお知らせ.....	86
ロック画面における通知表示の維持.....	86
ロック画面の通知.....	86
通知LED.....	18, 30
通知パネル.....	29
通話音量.....	36
通話設定.....	89
応答拒否メッセージ.....	89
オプションサービス申込.....	89
スマート着信操作.....	89
着信拒否設定.....	89
通話アカウント.....	89
プレフィックス設定.....	89
通話履歴.....	36
ディスプレイ.....	18
データ.....	78
コピー.....	90
初期化.....	90
複数選択.....	31
データ使用.....	85
Wi-Fiデータ使用量.....	85
使用量.....	85
請求期間.....	85
データセーバー.....	85
ネットワーク制限.....	85
モバイルデータ使用量.....	85
モバイルデータ通信.....	85
データ通信料についてのご注意.....	14
テーマ.....	25, 85
テザリング.....	81
Bluetooth®テザリング.....	82

USBテザリング.....	81
Wi-Fi®テザリング.....	81
テレビ.....	67
TVアンテナケーブル.....	67
ご利用上の注意.....	67
終了.....	68
初期設定.....	67
設定.....	68
データ放送.....	68
テレビ視聴画面.....	67
テレビを見る.....	67
番組表.....	68
放送エリア.....	68
リモコン番号.....	68
録画.....	68
録画番組再生.....	68
電源キー.....	18
電源を入れる／切る.....	20
伝言メモ.....	38
電話.....	36
応答.....	37
国際電話.....	37
スピーカー.....	36
着信.....	37
着信拒否.....	37
着信拒否設定.....	89
伝言メモ.....	37
発信.....	36
番号指定拒否.....	38
ハンズフリー.....	36
マイクオフ.....	36
メッセージ(SMS)送信.....	38
時計.....	70
取り扱い上のご注意.....	10

な	
内蔵アンテナ.....	18
日本語ガイドンス.....	97

は	
バックアップとリセット.....	90
自動復元.....	90
データのバックアップ.....	90
ネットワーク設定のリセット.....	90
バックアップアカウント.....	90
発信履歴.....	36
バッテリー.....	87
STAMINAモード.....	87
電池使用量を表示.....	87
電池の最適化.....	87
日付と時刻.....	90
24時間表示.....	90
時刻設定.....	90
タイムゾーンの選択.....	90
タイムゾーンを自動設定.....	90
日付設定.....	90
日付と時刻を自動設定.....	90
表記方法.....	1
フライト.....	18
フォルダ.....	25, 28
アイコン移動.....	25, 28
削除.....	25
追加.....	25, 28
名称変更.....	25, 28
不在着信履歴.....	36
ブックマーク.....	57
登録.....	57
開く.....	57
フラッシュ.....	18
フルセグ.....	67
フロントカメラ.....	18
分割画面.....	32
ヘッドセット接続端子.....	18
ボイスパーティー.....	36
防水／防塵性能に関するご注意.....	12
ホーム画面.....	24
アイコン移動.....	25
アプリキー.....	24
ウィジェット.....	25
壁紙.....	25
ショートカット.....	25
設定.....	25
フォルダ.....	25
ホーム画面位置.....	24

ホーム画面の切り替え	87
auベータシックホーム	87
ホワイトバランス	86

ま

マイク	18
マイクオフ	36
マナーモード	31
ミュージック	66
共有	66
再生	66
着信音に設定	66
バックグラウンド再生	66
メール	40
Eメール	40
Gmail	40, 54
PCメール	40, 53
SMS	40, 52
メディアファイル共有	78
メニュー表示	31
メモリ	78
フォーマット	78
文字入力	33
Google音声入力	33
PCキーボード	33
POBox Plus	90
POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド	33
キーボードの選択	33
切り取り	34
コピー	34
設定	34
ソフトウェアキーボード	33
手書き入力	33
テンキー	33
トグル入力	34
入力方法	33
貼り付け	34
プラグインアプリ(拡張機能)	33, 34
フリック入力	34
編集メニュー	34
ユーザー辞書	34
連絡先引用2.3	34
もっと見る	85

や

ユーザー補助	91
Lookout for au	91
TalkBack	91
色反転	91
色補正	91
大きなマウスポインター	91
拡大操作	91
画面の自動回転	91
高コントラストテキスト	91
字幕	91
ショートカット	91
スイッチアクセス	91
電源ボタンで通話を終了	91
長押し感知までの時間	91
パスワードの音声出力	91
表示サイズ	91
フォントサイズ	91
マウスポインターが停止したらクリック	91
満充電時に音を鳴らす	91
モノラル音声	91

ら

リセット	90
リモートサポート	73
レーザーAFセンサー	18
連絡先	60
Bluetooth®送信	60
インポート	61
エクスポート	61
お気に入り登録	61
画像設定	60
削除	61
自分の連絡先	38
着信音設定	60
電話をかける	60
登録	60
メール送信	60
メール添付	60

リンク	60
連絡先一覧画面	60
連絡先詳細画面	60
連絡先フィルター	61
ロックNo.	14
ロック画面とセキュリティ	88
Smart Lock	88
画面のピン留め	88
機器管理機能	88
機器メモリーかSDカードからインストール	88
機器を暗号化	88
自動ロック	88
使用履歴へアクセスするアプリ	88
信頼できるエージェント	88
信頼できる認証情報	88
ストレージのタイプ	88
電源キーですぐにロック	88
時計	88
認証情報ストレージのデータ削除	88
パスワードの表示	88
パターンの表示	88
ユーザー認証情報	88
ロック画面メッセージ	88

わ

ワンセグ	67
------------	----

目的から引く索引

Wi-Fi®を利用する

Wi-Fi®機能をオンにする	81
Wi-Fi®ネットワークに接続する	81
Wi-Fi®を切断する	81
Wi-Fi®を利用する	81

インターネットにアクセスする

Chromeを利用する	56
データ通信を利用する	56
テザリング機能を利用する	81

海外で利用する

海外で利用する	99
盗難・紛失したら	100

確認する

microSDメモリカードについて確認する	76
PINコードについて確認する	14
アイコンの意味を確認する	29
アフターサービスについて確認する	105
安全上の注意事項を確認する	8
各種暗証番号について確認する	14
各部の名称と機能を確認する	18
自分の電話番号を確認する	38、91
充電のしかたを確認する	20
ホーム画面を確認する	24
本書について確認する	1
本製品の主な仕様を確認する	107
メモリの空き容量を確認する	87

カメラで撮影する

静止画を撮影する	64
動画を録画する	65

基本操作を覚える

アプリ画面を利用する	27
ウィジェットを利用する	25
キーアイコン操作を覚える	24
機能を設定する	84
ショートカットを利用する	25
タッチパネルの使いかた	24
ホーム画面から機能を起動する	24
文字入力の方法を覚える	33
よく使う操作	31

困ったときは

故障とお考えになる前に	104
-------------	-----

ご利用の準備をする

au IDの設定をする	21
au Nano IC Card O4を取り付ける・取り外す	19
Googleアカウントをセットアップする	21
microSDメモリカードを取り付ける・取り外す	76
PCメールのアカウントを設定する	53
PINコードを変更する	88
画面ロックの解除方法を設定する	88
指紋認証機能を利用する	32
充電する	20
初期設定を行う	21
テレビの初期設定をする	67
電源を入れる／切る	20

情報を調べる

Chromeを利用する	56
Google Playを利用する	73
テレビを見る	67

設定をする

auのネットワークサービスを利用する	94
アラームを設定する	70
壁紙を設定／変更する	25
機能を設定する	84
シンプルホームに切り替える	26
マナーモードを設定する	31

データや情報を保護する

microSDメモリカードにデータをコピーする	78
microSDメモリカードに連絡先をエクスポート・インポートする	61
おサイフケータイの機能をロックする	69

データを交換する

Bluetooth®機能を利用する	80
-------------------	----

データを表示／再生する

アルバムを利用する	65
画像を再生する	65
楽曲を再生する	66
スライドショーで再生する	66
動画を再生する	66

電話を受ける

お留守番サービスEXで留守応答する	95
着信転送サービスで電話を転送する	94
電話番号が通知されない電話を拒否する	95
電話を受ける	37
渡航先で電話を受ける	100

電話をかける

海外へ電話をかける	37
通話中にマイクをオフにする	36
通話中の相手の声を大きくする	36
通話履歴を利用して電話をかける	36
電話をかける	36
連絡先から電話をかける	60

登録する

バックアップしたEメールを復元する	50
ブックマークにウェブページを登録する	57
連絡先に電話番号などを登録する	60

非常時に備える

auお客さまサポートアプリを利用する	72
PINコードを変更する	88
画面ロックの解除方法を設定する	88
指紋認証機能を利用する	32

メールを受け取る

Eメールを受信する	43
Gmailを受信する	54
PCメールを受信する	54
SMSを受信する	52

メールを送る

Eメールを送信する	42
Gmailを送信する	54
PCメールを送信する	54
SMSを送信する	52

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The SOV34 Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User Guide.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.81 W/kg*, when worn on the body is 0.35 W/kg* and when WiFi hotspot mode is 0.64 W/kg. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate accessory and worn on the body. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID PY7-22041R. Additional information on SAR can be found on the Mobile Manufacturers Forum EMF website at <http://www.emfexplained.info/>.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SOV34 has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Nonionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

The highest SAR value for this model phone tested by Sony for use at the ear is 0.85 W/kg (10g).

In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value is 0.81 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When your phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Mobile Communications Inc. accessory and worn on the body. Use of the phone other than as tested may impact SAR and result in non-compliance with such RF exposure limits. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported. For more information about SAR and radio frequency exposure go to: www.sonymobile.com.

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.



Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices or disable the radio transmitting functionality of the device where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.



Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.



Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications Inc. branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15cm (6 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

Driving

Some vehicle manufactures forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". KDDI/Sony Mobile Communications Inc. does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, KDDI/Sony Mobile Communications Inc. does not warrant or represent that the device will be impervious to introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony Mobile Communications Inc. branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications Inc. does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications Inc. call centre. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.



Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications Inc. call centre for information. Never use municipal waste.



Memory Card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. KDDI/Sony Mobile Communications Inc. does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SOV34



Hereby, Sony Mobile declares that the radio equipment type PM-0984-BV is in compliance with Directive: 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: <http://www.sonymobile.com.jp/product/SAR/doc/>

Manufacturer: Sony Mobile Communications Inc, 4-12-3 Higashi-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo, 140-0002, Japan

For EU product compliance: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgium

VCCIについて

本機は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社(以下「ソニーモバイル」という)及び/又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。

ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス(以下「本ライセンス」という)を許諾します。

本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。

お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。

お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。

本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取消されます。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。

本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。

本契約の準拠法は、日本法とします。

上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.

In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.

In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost.

Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ対応サービスについて

1. おサイフケータイ対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイに搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種(以下、au ICカードといいます)を利用したサービスです。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能をご利用いただけます。
2. おサイフケータイ対応サービスは、おサイフケータイ対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証し兼ねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイのFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)及びau ICカードに保存されたデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイの故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイの修理を行います。お客さまは、当社におサイフケータイの修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイをauショップもしくはPiPiitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイに搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイに搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイの紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイの紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイの機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスの契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイをかざしておサイフケータイ対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ対応サービスのご利用開始後におサイフケータイの契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイに搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ対応サービス及びNFC機能がご利用いただけなくなります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ対応サービス及びNFC機能がご利用いただけなくなります。
5. NFCを使った非接触ICカード機能(以下、NFCサービスといいます)をご利用になる場合には、NFCサービス用の容量を消費します。空き容量が不足した場合にはNFCサービスの一部がご利用頂けない場合がありますので、あらかじめご了承ください。空き容量を確保する場合は、NFCサービス対応アプリを削除する必要があります。

知的財産権について

■ 商標について



- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Setup™, Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi CERTIFIED Miracast™はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- Xperia, Xperia Loungeは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Sony, スイングパノラマ、スマイルシャッター、プレミアムおまかせオート、顔検出、X-Reality, FeliCa, トリルミナス、STAMINA, Reader, TV SideViewは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SmartAR®は、ソニー株式会社が開発した拡張現実技術で、同社の日本国内及びその他の国における登録商標または商標です。
- POBoxおよびPOBoxロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。POBoxは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- PlayStation, DUALSHOCKは、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- Google, Googleロゴ、Android, Google Play, Google Playロゴ、Gmail, Gmailロゴ、Googleマップ、Googleマップロゴ、ハングアウト、Google Calendar, Google Calendarロゴ、YouTube, YouTubeロゴ、Googleドキュメント、Google Chrome, Google Chromeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- moraおよびモラの名称、ロゴは、株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- 「DLNA」, 「DLNA」ロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Windows Vista」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Microsoft Word」は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ㏻ はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ㏼ はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ロヴィ、Rovi, Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- © 2014 Comix Communication Co., Ltd. All rights reserved.
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および／または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます(<http://www.mpegla.com>)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- 本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リパース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- その他、本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、 一人ひとりができること。

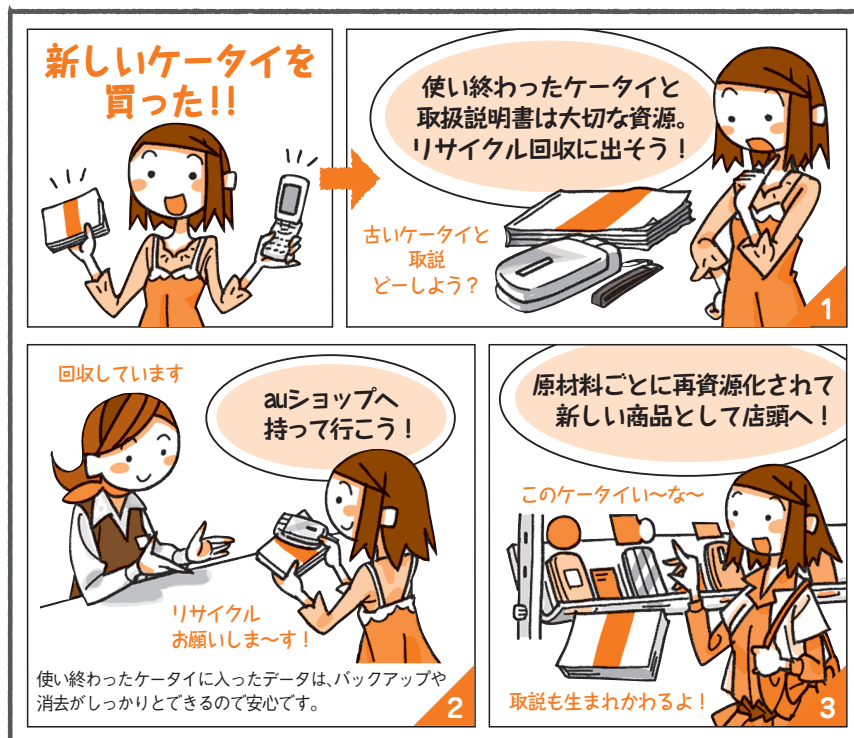
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle>

auのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

auお客さまサポート	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://cs.kddi.com	EZ ボタン>トップメニューまたは au ポータルトップ>au お客さまサポート
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「au お客さまサポート」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマホ/ケータイ）	au 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	 0077-7-111	 0120-977-033
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	 0077-7-113	〔沖縄の方は〕  0120-977-699

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。

※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマートフォン/ケータイ） / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態で充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



有害サイトから
子供を守る！



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用
するためお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・
充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店
で回収し、リサイクルを行っています。